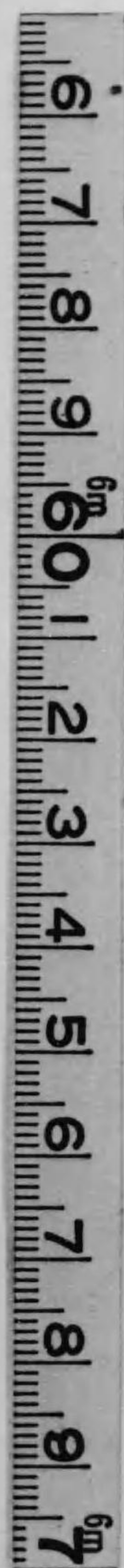


380

180



始



380-180



世界
陶磁器
圖集

農商務省商務局長鶴見左吉雄君序文
農商務省商品陳列館々長野間譽雄君序文
農商務省商品陳列館編纂
農商務省商品陳列館藏品

大正
11. 2. 20
内交

序

凡そ事物を比較研究するは即ち長を採り短を補ふ所以にして向上進歩の途一に斯處に發す。最近我國に於ける陶業の發達頗る顯著なりと雖とも其製品を斯業の後進國と稱すへき歐米の製品に比較ずるときは却て其技術に於ても工藝的價值に於ても一籌を輸するもの尠なからず是れ畢竟我が當業者研究練磨の効未だ彼に及はさるの致す所なり。辻本寫真工藝社斯處に見る所あり今回農商務省商品陳列館所藏内外陶磁器中に就き其優秀なるもの百數十點を選抜圖録して一書となし以て比較研究の資料を提供せんとす是れ誠に有益なる舉に

て其斯界を裨益すること蓋し尠少ならざるべし仍て一言を陳へ序となす

大正十年九月

農商務省商務局長 鶴見左吉雄

序

最近半世紀に於ける化學の發達に伴ひ、歐米製陶術の進歩實に著しきものあり。從來の製陶法は特殊地方の材料を傳統的方法に依つて驅使用するが故に、條件の變化に隨つて常に失敗を繰返せしを、近世に至つてゼーゲル其他の學者に依つて、科學的組織の下に經濟的に先づ救済するを得たり。是に次で企圖されたるは從來忘れられたる秘密、滅亡せる技術として考へられたる、波斯ローデアン磁器、伊太利マヂヨリカ、ヒスパノモレスク、支那磁器の如き古代陶磁の研究復活にして最近に至りて之等科學的研究に續きて藝術的考察盛んになり、波斯陶器の趣

味の應用に於てデック及モルガンは成功し、コツペンハーゲンは日本の陶器の繪付を倣ひ、ドレスデンの支那模倣、ウエツヂウツドの古代陶器の復活など、歐米製陶界の活躍見るべきものあり。かく一面に工藝史的研究の盛大になると共に、スタレフオードシヤイヤーにては半磁器の製作完成し、ルツクウツドは結晶釉を創製し、至る所に光彩釉の發明あり、遂には隧道窯の工夫となり、原料の精煉に於て將又釉藥の發明に於て、其他科學的研究の進歩殊に著しきものあり。かくて古代模倣より一步藝術的或は工藝的方面に、一大飛躍をなさんとせし時、かの歐洲大戰は突發せり。其結果歐洲全部の産業は沮止されて、其發達は特

殊方面に向けられ、頗る不具的發展をなすに至りぬ。然るに大戰の終結して平和の克復するや、是等經濟上の打撃を受けたる産業は鬱然として挽回し來り、爆藥と砲丸とに依つての流血の戦は、頭腦と機械と腕とに依つての流汗の争鬪と化せり。されど化學的經濟的發達より藝術的工藝的生産に一步を進めたる歐洲の製陶界は、又いさゝか逆行の氣味なしとせず。反之十九世紀末より同じ方向に發展し來り、大戰に依つても何等の障礙を受けざるのみならず、百尺竿頭猶一步を進めしは我が國と米國なり。されば今や斯界に於ける先進國の名は今や日米の上に冠らさるべき形容詞たらんとす。かゝる状態にあるが故に

我が工藝界の活動は、世界各國工藝界の共に注目する所、従つて我が工藝家の戒心憤闘すべきの秋なり。翻つて我製陶界を見るに、春慶支那の陶法を傳へて以來、文祿慶長の朝鮮陶法の移殖となり、柿右衛門仁清の名工を輩出し、穎川木米仁阿彌保全の天才に依つて我日本陶磁器は大成さるゝに至りしと雖も、云はゞ支那朝鮮陶法の傳統を承繼し、多少の日本化を試みしに過ぎず。最近歐米に於ける窯業化學を學ぶに及んで、製陶の上に著しき影響を受け、支那動亂の結果は彼地數百年の秘庫は開かれ、吾人が曾て夢想だも及ばざりし名品は、之を目の當りに看るの機を得たり。此所に及んで意匠技法兩面の刺戟を受けて、今や我

が新日本の陶磁器は完成さるべき機運に向ゑり。我が商品陳列館は明治初年以來、商品として内外諸國各地の陶磁器を蒐集して、其數數千點の多きに達せり。中には當時の名作逸品亦少しとせず。科學の進歩せし今日猶到底及ばざるものあり。是を半世紀後の今日より見れば亦一種の感慨なき能はず。即ち此所に其一百餘點を撰び之を斯界の參考に供せんとす。苟も陶を愛し之を業とする者心を潜め思ひを凝し觀察研究せば其間得る所少々に非らざるなり。唯に製陶家のみならず鑑賞家意匠圖案家は勿論、一般工藝家に取りても亦參考たるべきを信ず。若し此書の上梓が斯界に一片の波紋を生じ得るを得ば、吾

人の幸福なるのみならず、亦以て我國産業界の幸之に過ぎざるべし。

農商務省商品陳列館長 野間譽雄



目次

外國之部



利	天使飾皿、色繪花瓶、婦人模樣飾皿、碧釉浮彫飾皿、 黑色色繪泥燒壺、浮彫泥燒コップ	六點
利	浮彫梅模樣支那寫扇皿、支那五彩寫飾皿、草花模樣盒子、 猫置物、珈琲碗及皿	五點
西	綠流釉飾皿、輪花皿、白磁花瓶、綠釉斑花瓶、 綠釉唐草文蓋物、木葉形灰皿	六點
逸	果實浮彫皿、磁製錦手呼鈴、果實浮彫皿、珈琲茶碗及皿、 磁製珈琲茶碗及皿	五點
一 塊 太 利 匈 牙 利	玩具模樣手皿、光彩釉花瓶、婦人繪手皿、紫紺釉花瓶	四點

一和

蘭……………花鳥飾皿、唐草模様鉢、色繪草花模様飾皿、
一輪生、草花文片手付壺……………五點

一丁

抹……………色繪玻璃釉鉢、浮彫波模様花瓶、白磁水注、白濁釉繪瓶、
藍繪菊模様花瓶、三色葎カド扱……………六點

一白耳義—西班牙

……………錦手皿、浮彫飾皿……………二點

一瑞

西……………草花模様花瓶、唐草彫刻模様飾皿……………二點

一露

西……………山水模様手皿……………一點

一土耳其—瑞典

典……………綠斑釉水注、輪繫文花瓶……………二點

一葡 萄—モロツコ

……………素燒茶碗、染付鉢……………二點

一亞 米 利 加

……………支那赤繪模様皿、狐本立……………二點

一墨 其 古

……………色繪泥燒皿、色繪泥燒花瓶……………二點

一波

斯……………色繪花瓶……………一點

一亞 刺 比 亞

……………素燒壺……………一點

一印 度

……………染付色繪扁壺、色繪草花文飾皿、書模様蓋物、褐色釉耳付花瓶……………四點

一支 那

……………白磁黑繪壺、鉛釉扁壺、三彩波ニ燕模様皿、草花模様皿、染
付波模様皿、染付鉢、白磁浮彫盒子、染付筆架、朱泥水注……………九點

一安 南

……………酒器、染付筆架……………二點

一麻 尼 羅

……………素燒鉢、素燒片手壺……………二點

日 本 之 部

一東 京

……………竹本半太作花瓶、加藤友太郎作彫刻草文花瓶……………二點

一京 都

……………丹山作錦手盒子、永樂作交趾寫鉢、錦手花瓶、染付水注……………四點

一紀	伊	色繪壺、花瓶、男山燒染付花瓶	三點
一伊	勢	萬古燒赤繪水注及久須、同上皿、同上	四點
一尾	張	黑釉花瓶、瀬戶燒染付花瓶、犬山燒鐵砂釉鉢	三點
一岐	阜	美濃燒染付久須、同染付茶碗及耳付壺	三點
一攝	津	古曾部燒久須及茶碗、同茶碗	三點
一加	賀	雲鶴寫向付、和全作赤吳須久須、金桐手馬上盃	三點
一備	前	備前燒色繪花瓶、同德利、同染付德利	三點
一越	中	建水、色繪久須	二點
一播	磨	東山燒盃及壺、同染付尾上鐘形酒器	三點
一羽	前	染付蓋物、珈琲茶碗及盃	三點

一陸	中	染付久須及針	二點
一對	馬	對馬燒御本立鶴茶碗、染付梅松繪茶碗、刷毛目茶碗	四點
一土	濱	尾戶燒茶碗、宮川香山作辰砂釉花瓶	二點
一靜	代	志戶呂燒久須及小針、本郷燒染付久須	三點
一羽	和	蓮葉形煎茶碗及久須、赤膚燒急須	三點
一美	木	染付水注、同	二點
一甲	岐	染付花瓶、理平燒染付花瓶	二點
一伊	前	砥部燒片口、高取燒火入	二點
一石	賀	石州燒鶯鴉置物、三河內燒置物	二點
一熊	分	八代燒象嵌皿、練土(福山燒?)茶碗	二點

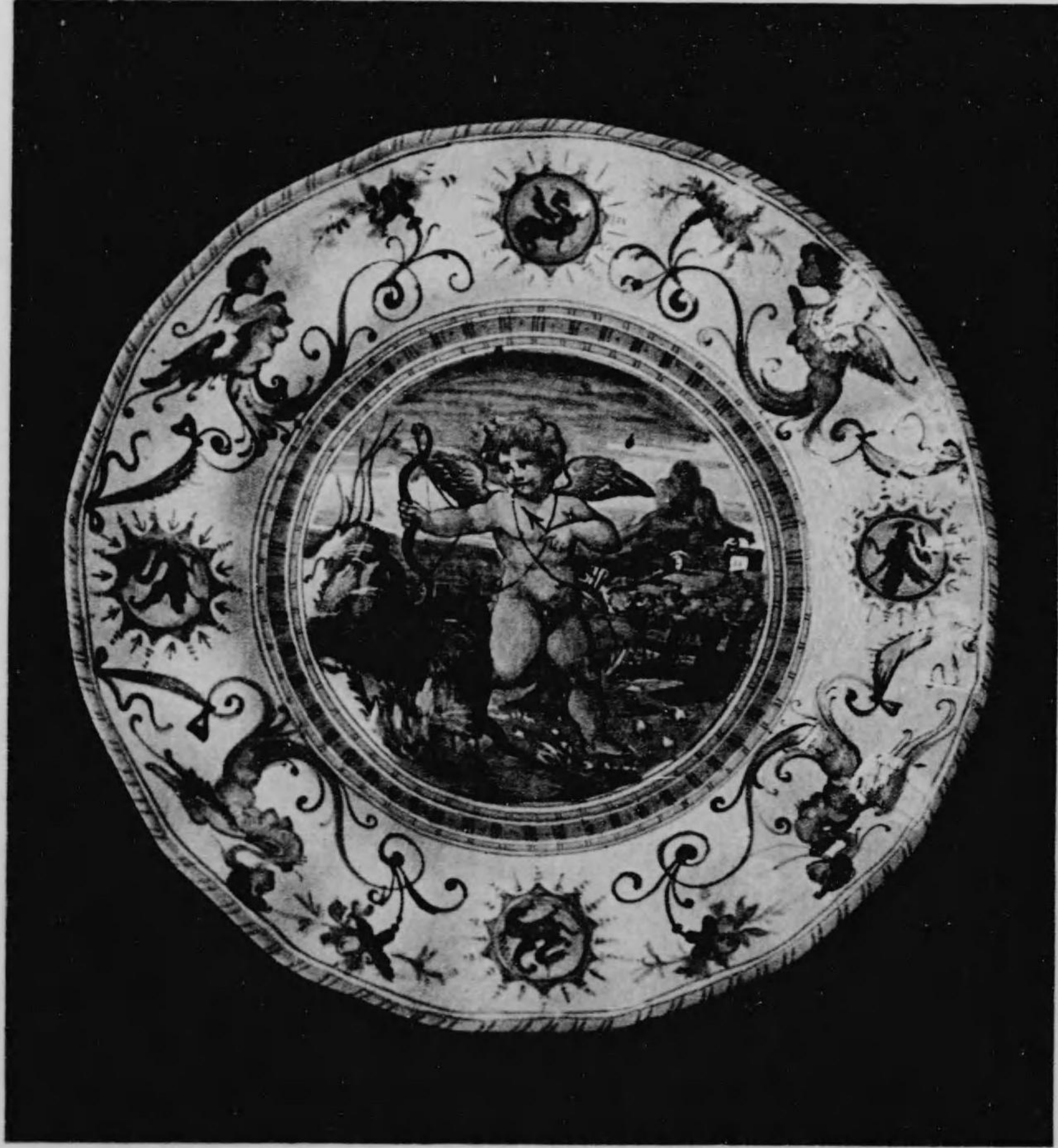
一長	州—長	崎……………	萩燒片口鉢、白釉湯吞……………	二	六
一琉	球—但	馬……………	染付花瓶水注、出石燒赤繪煎茶碗、染付煎茶碗……………	四	點
一朝		鮮……………	白磁筆筒、茶碗、染付壺、三島手茶碗……………	四	點

目次終

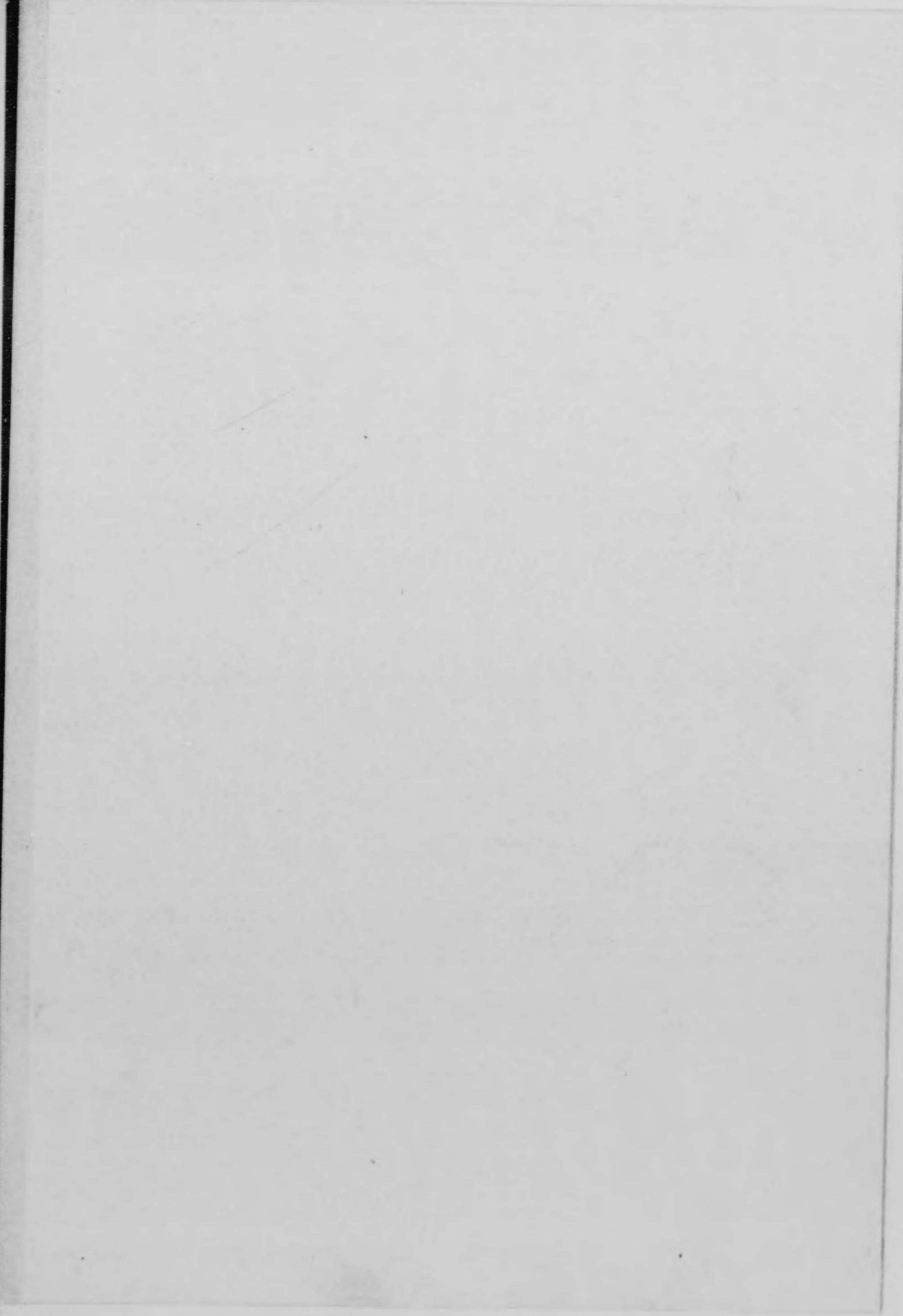
伊

太

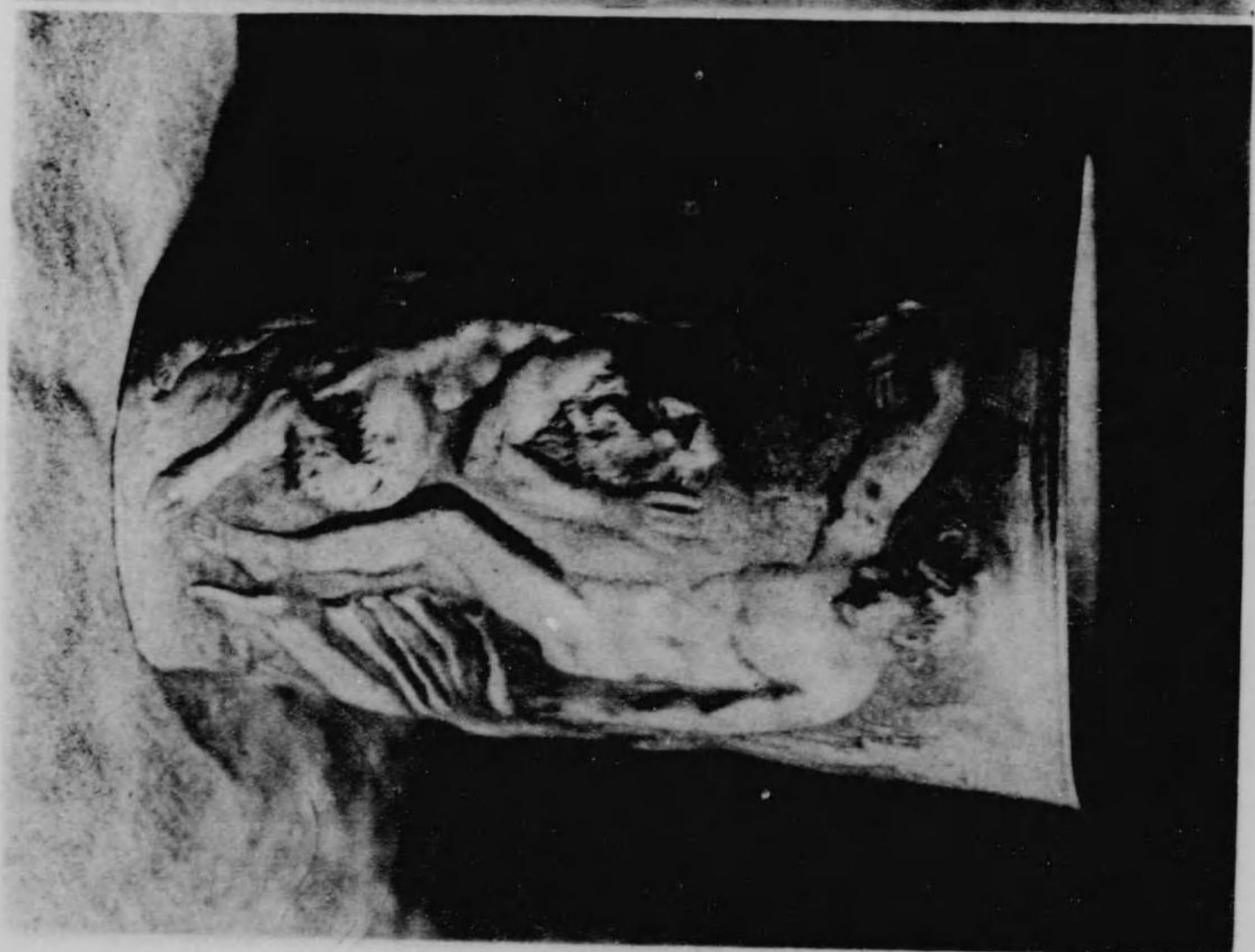
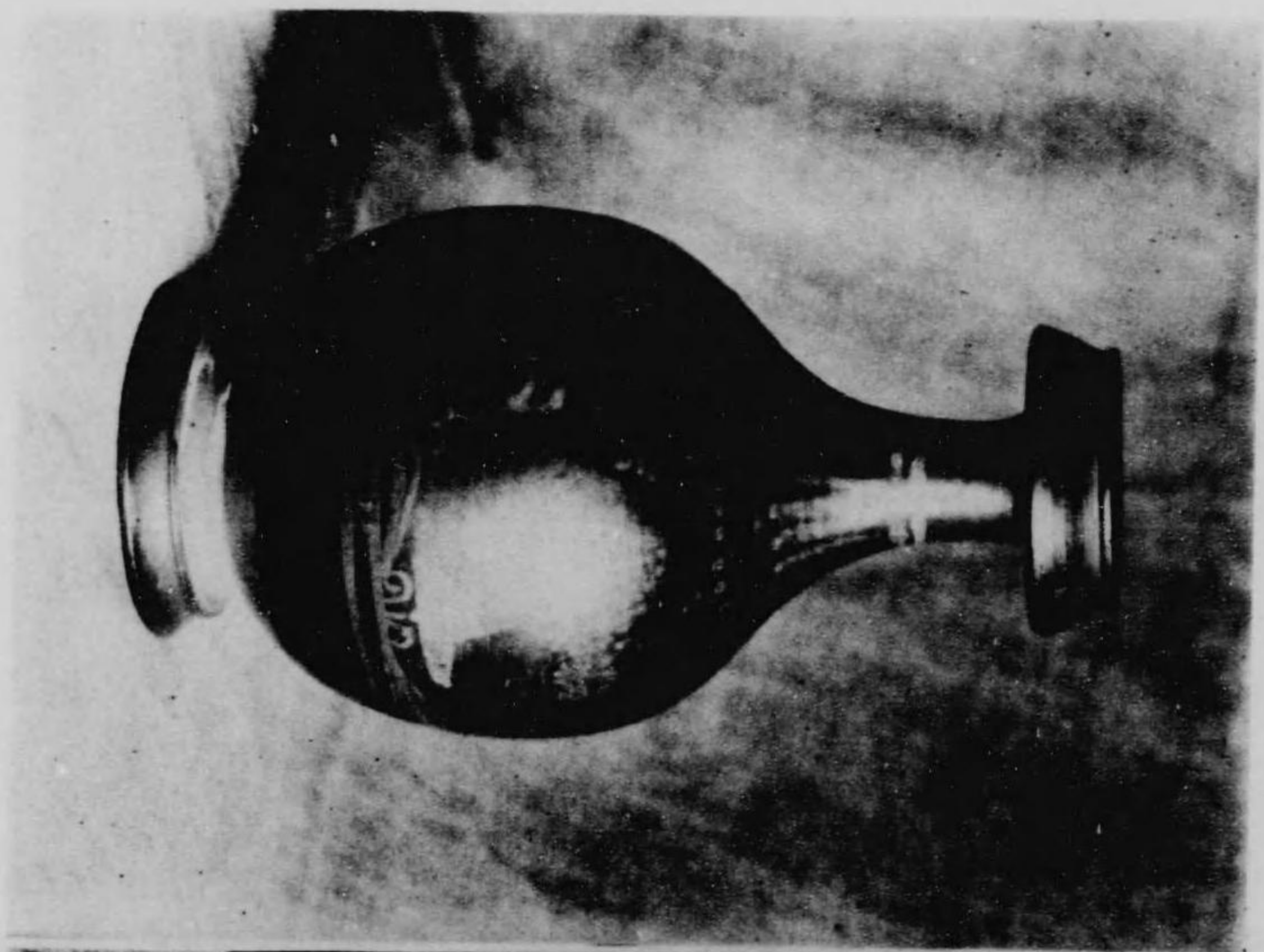
利



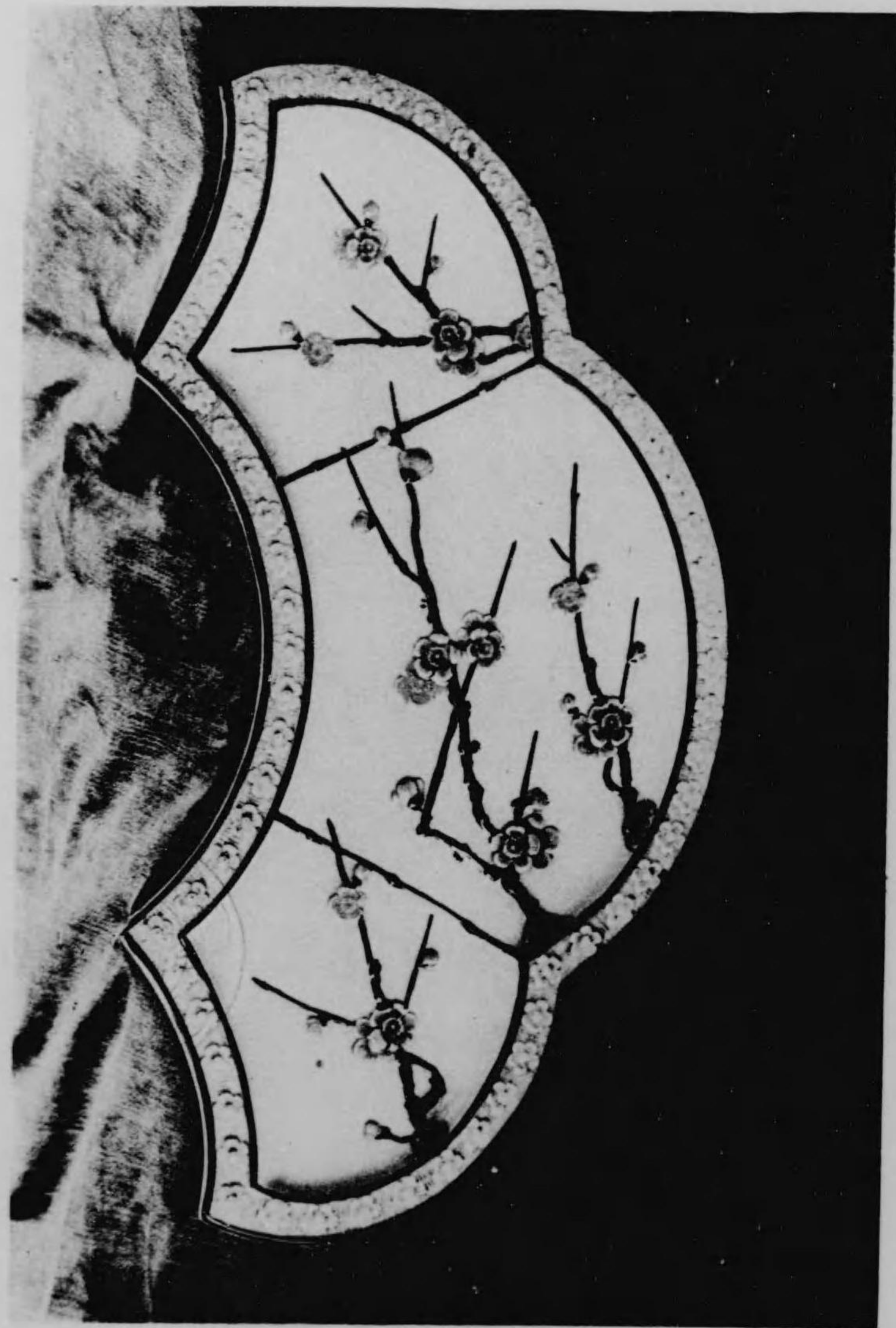
時 太 陣



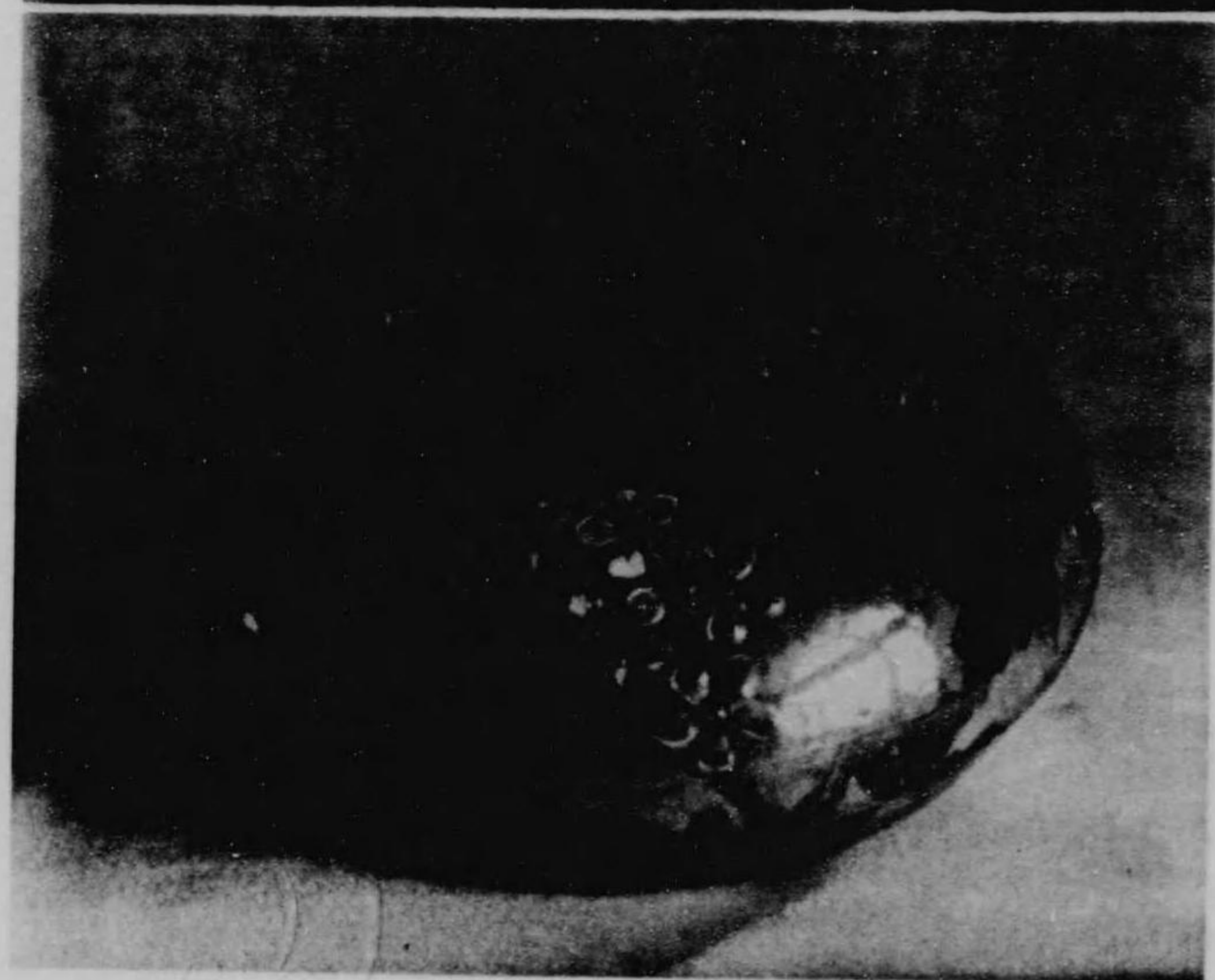


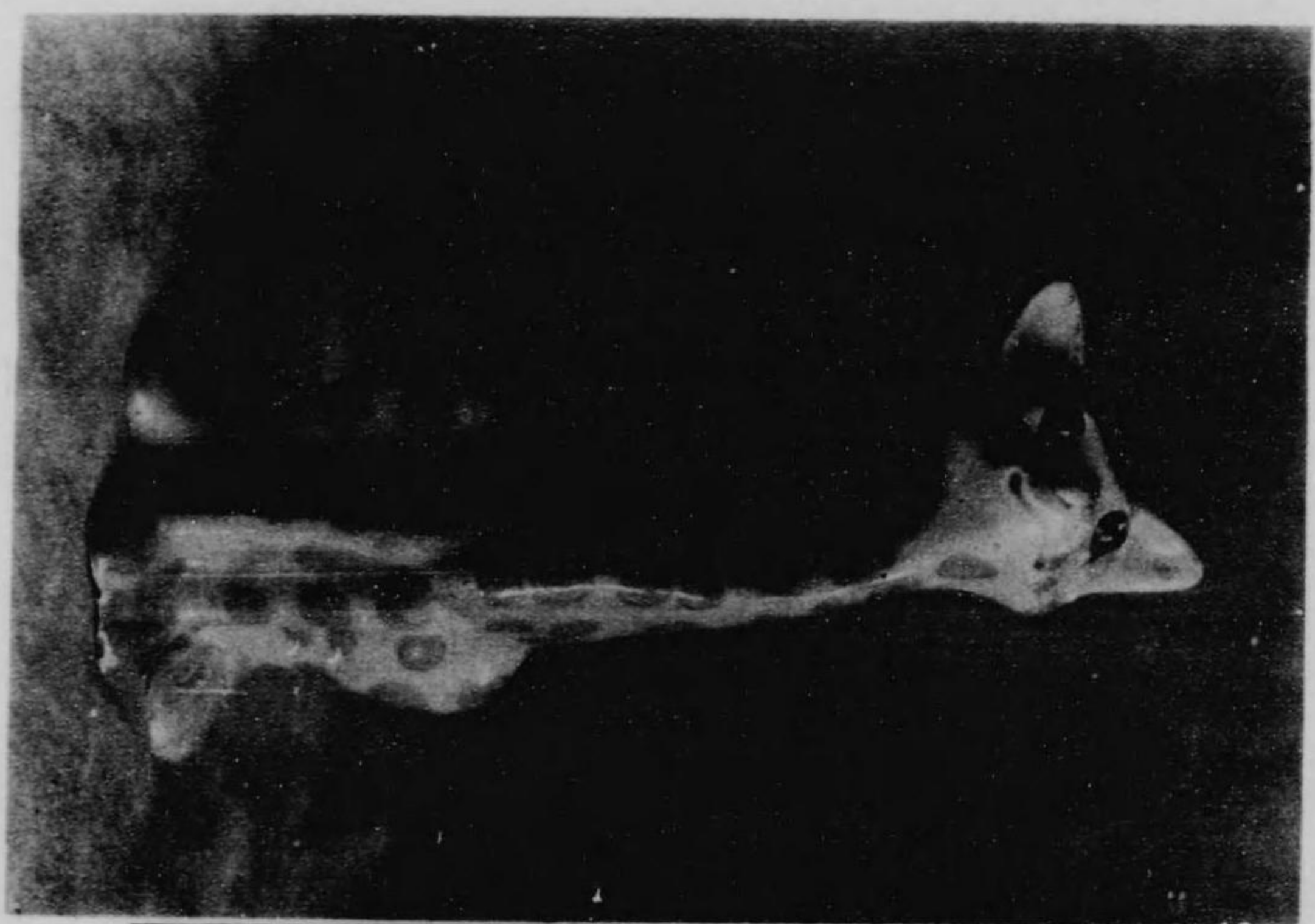


英
吉
利



英 吉 酥

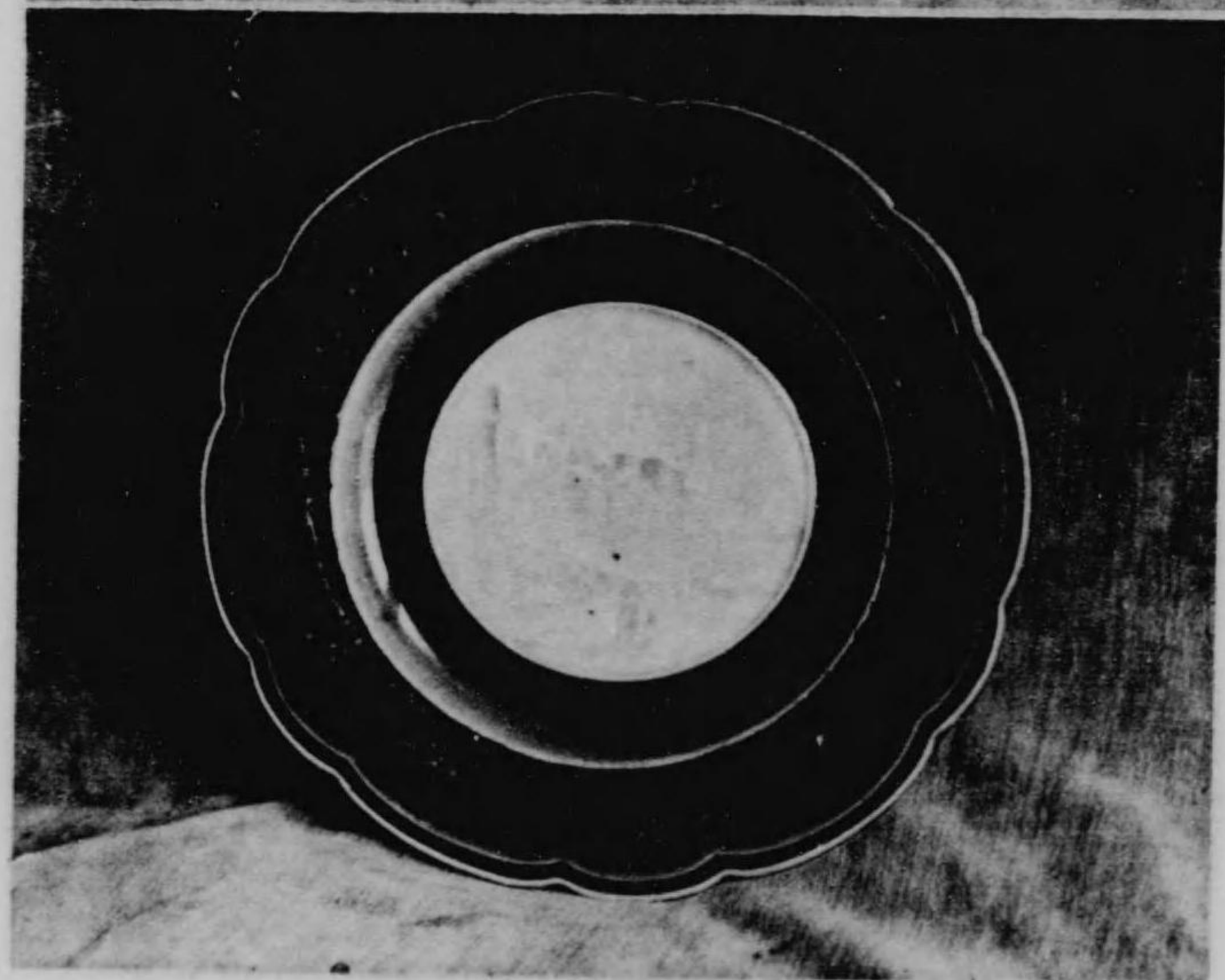
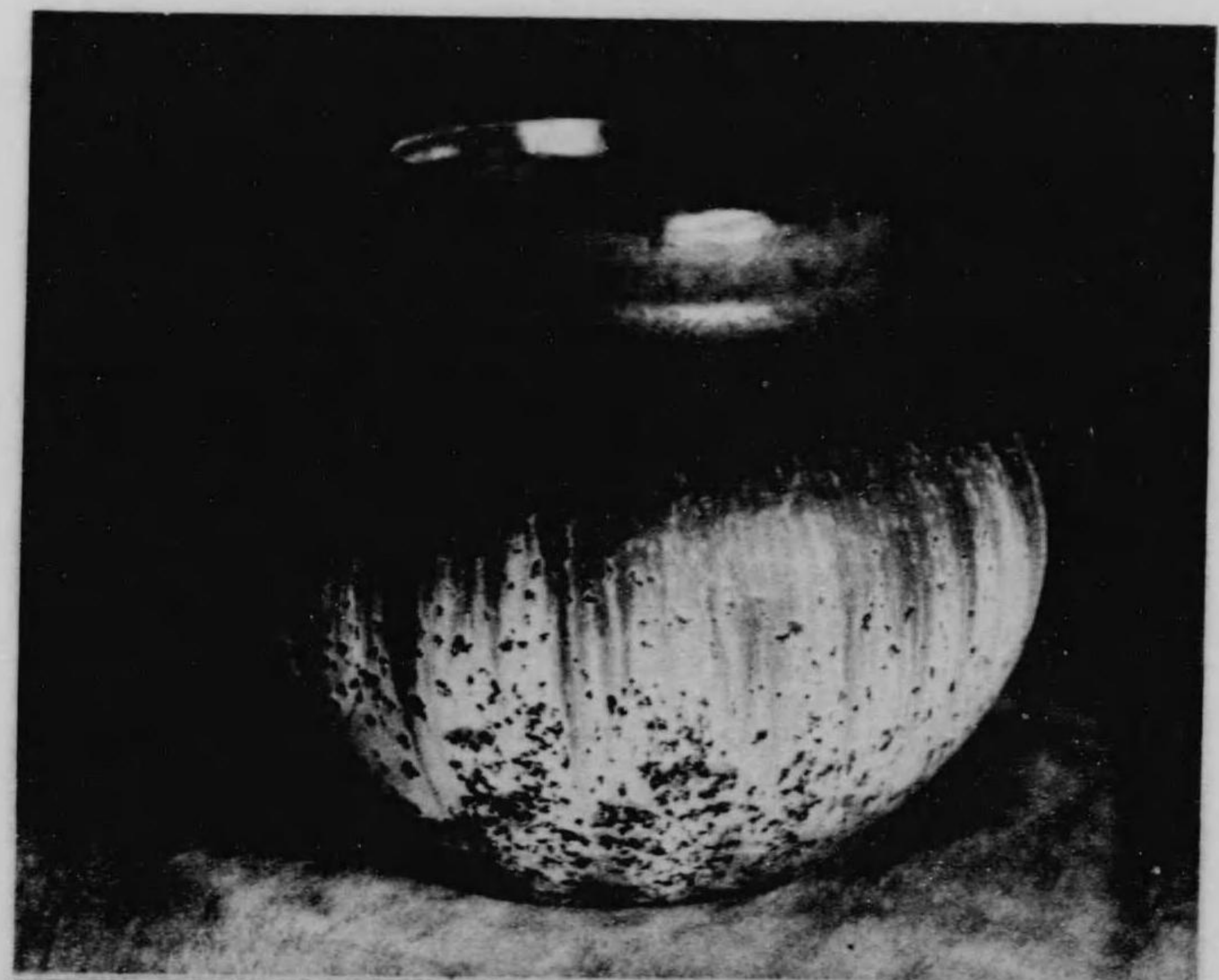




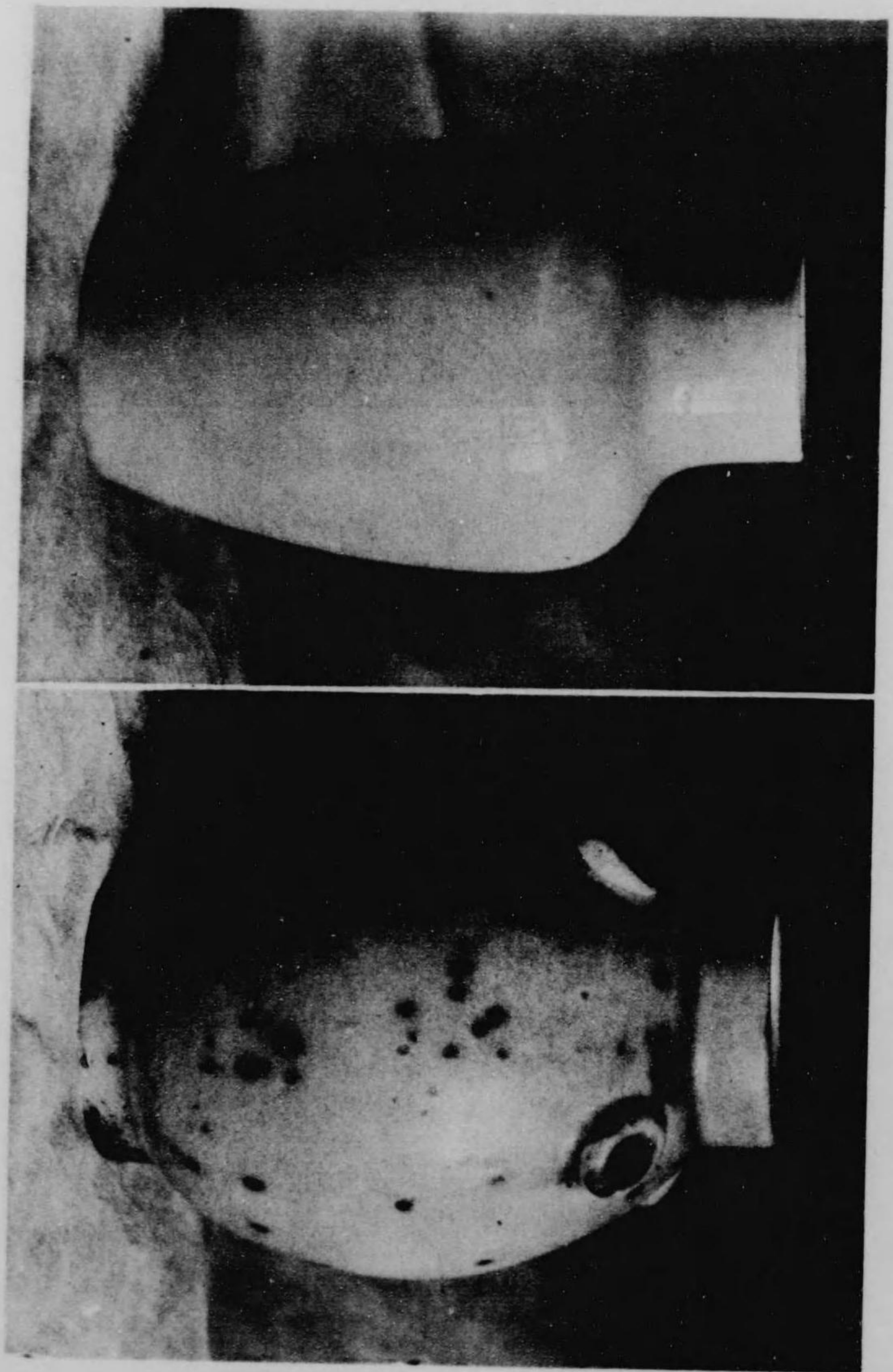
佛

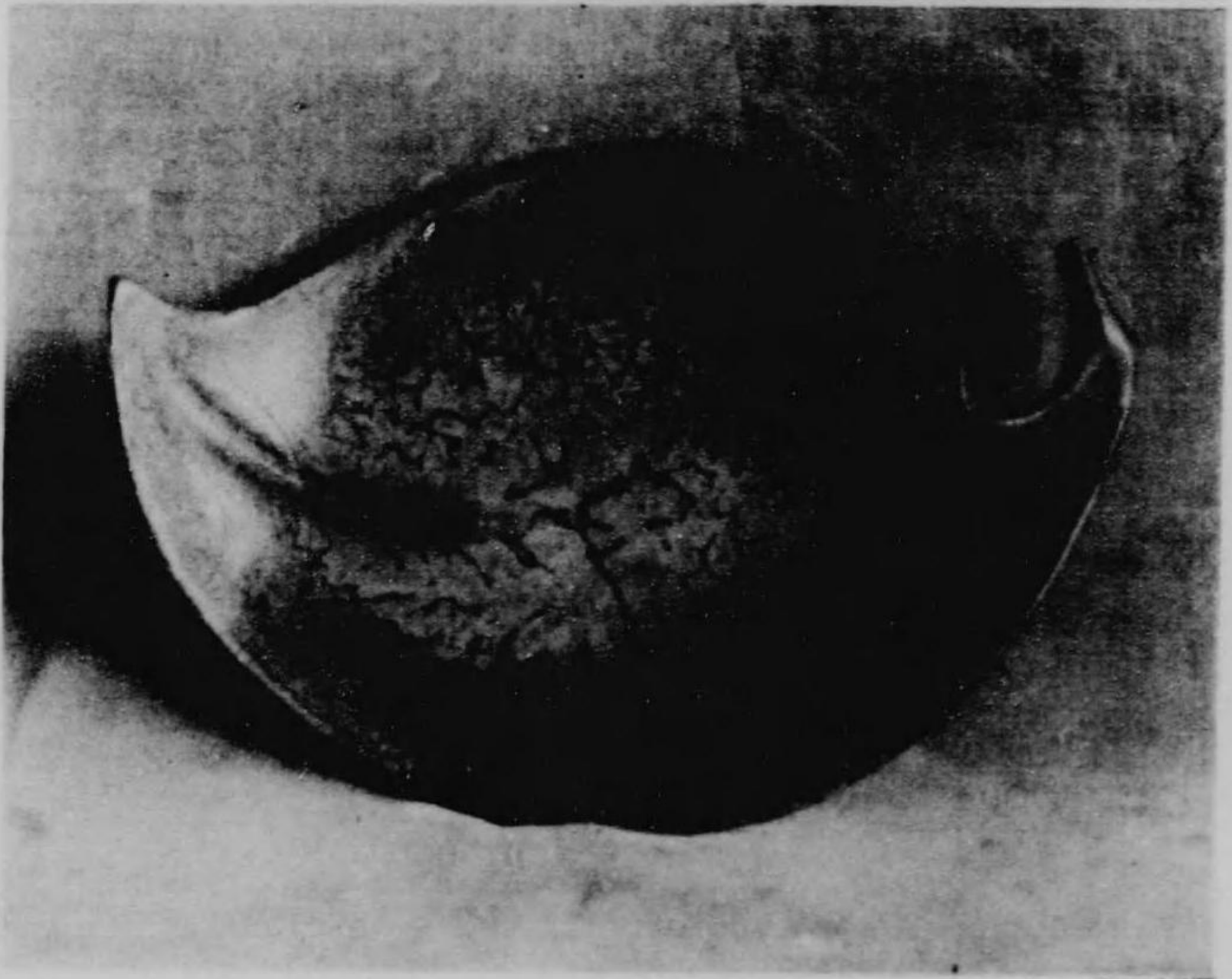
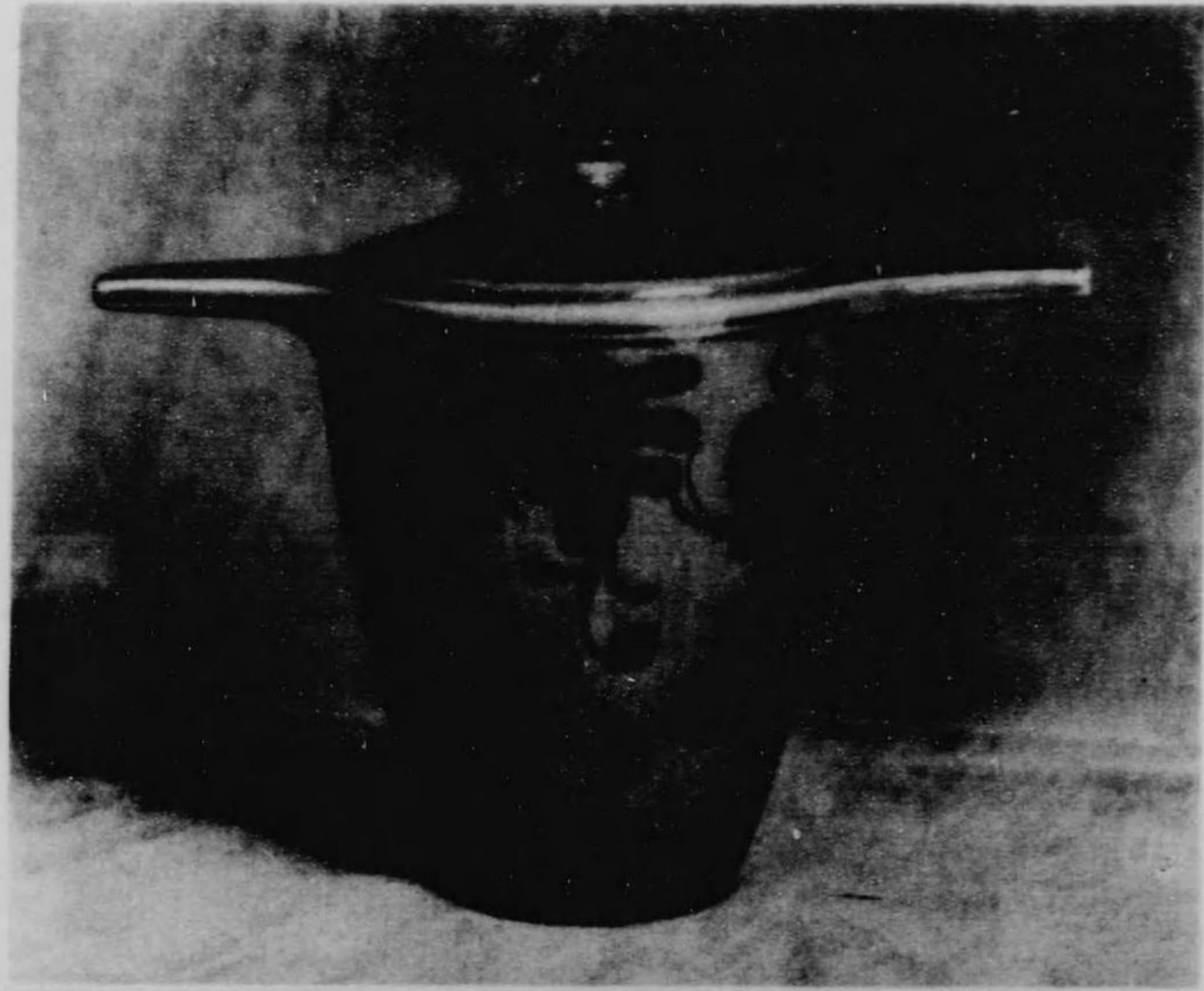
蘭

西



西 蘭 新





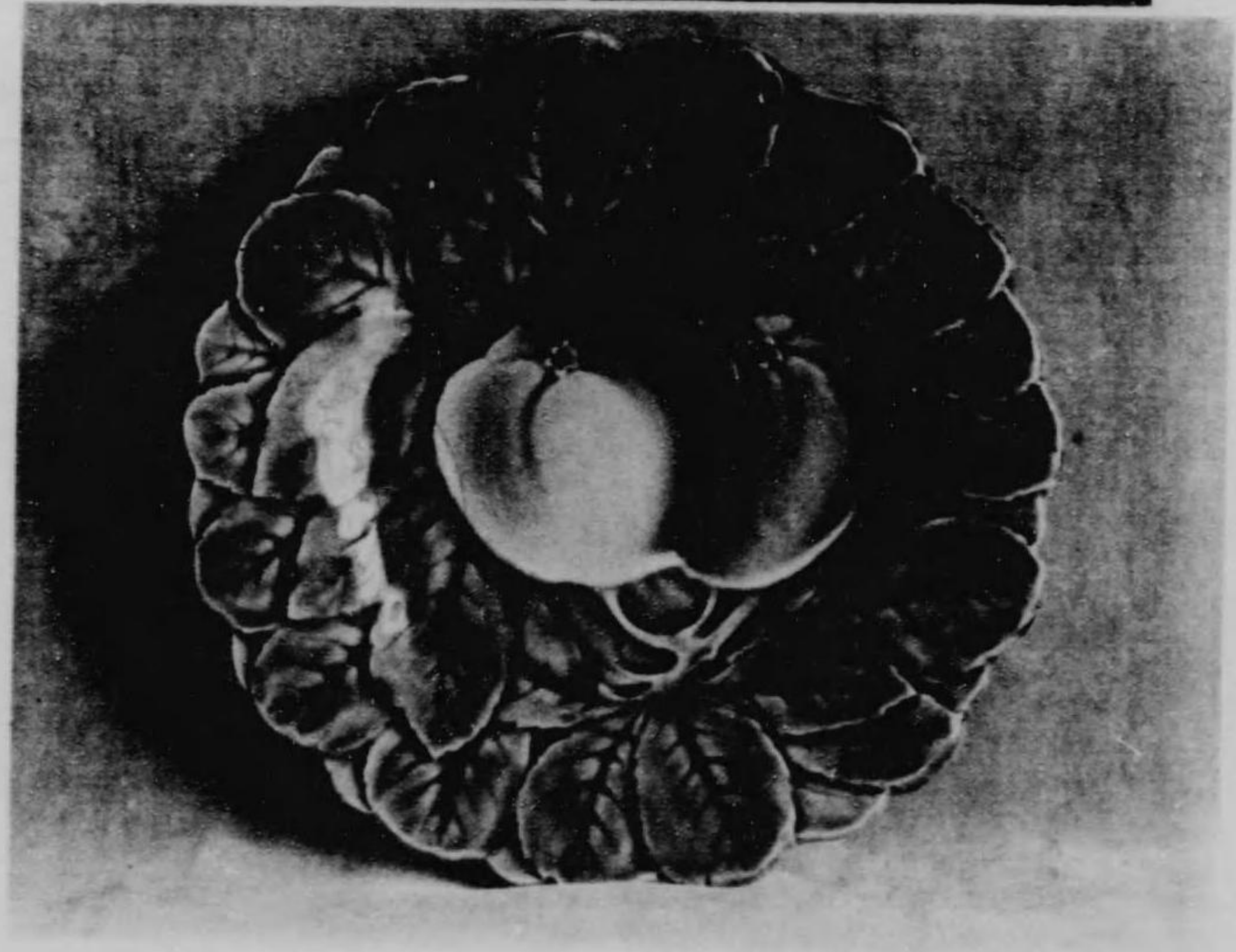
獨

逸



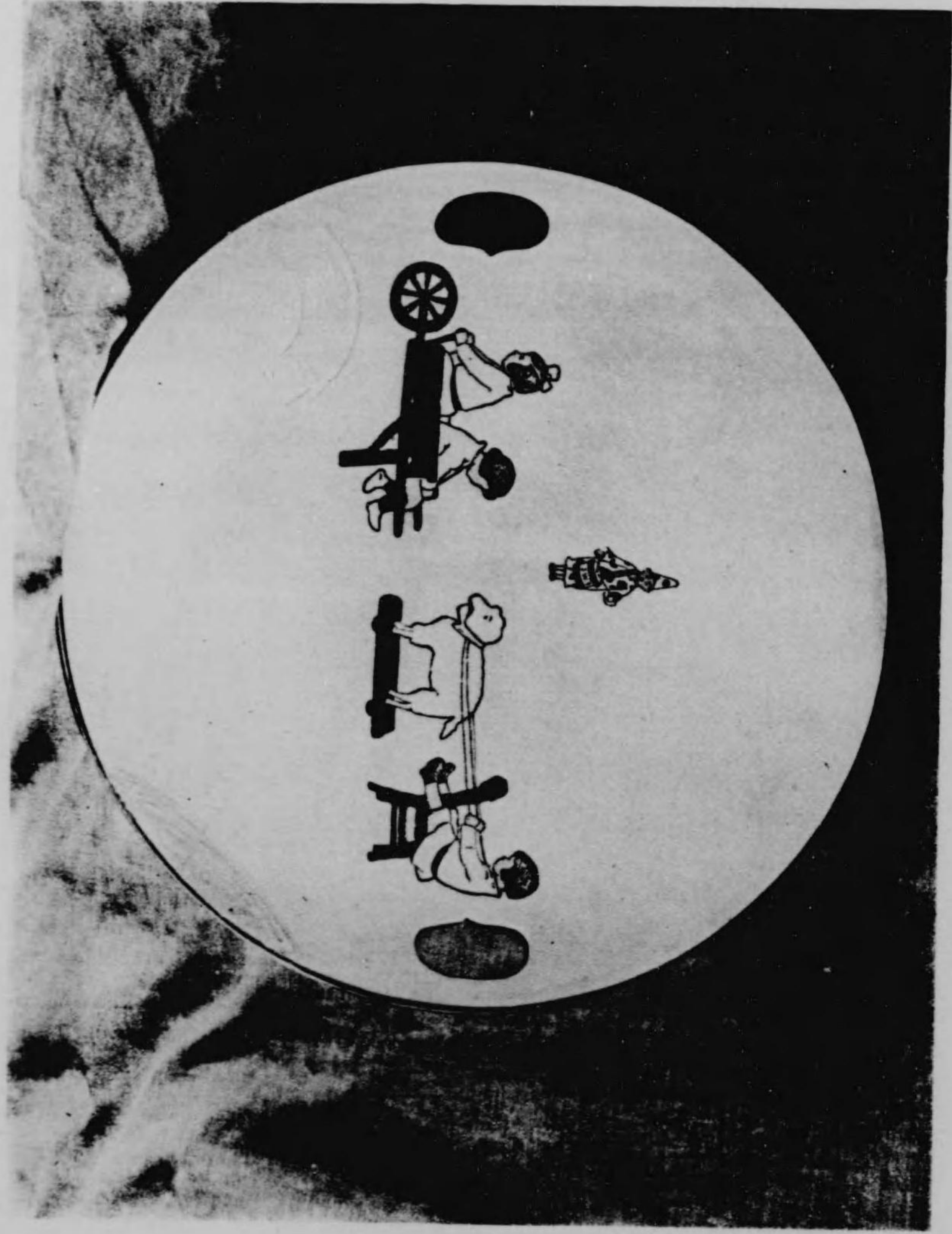
圖

圖

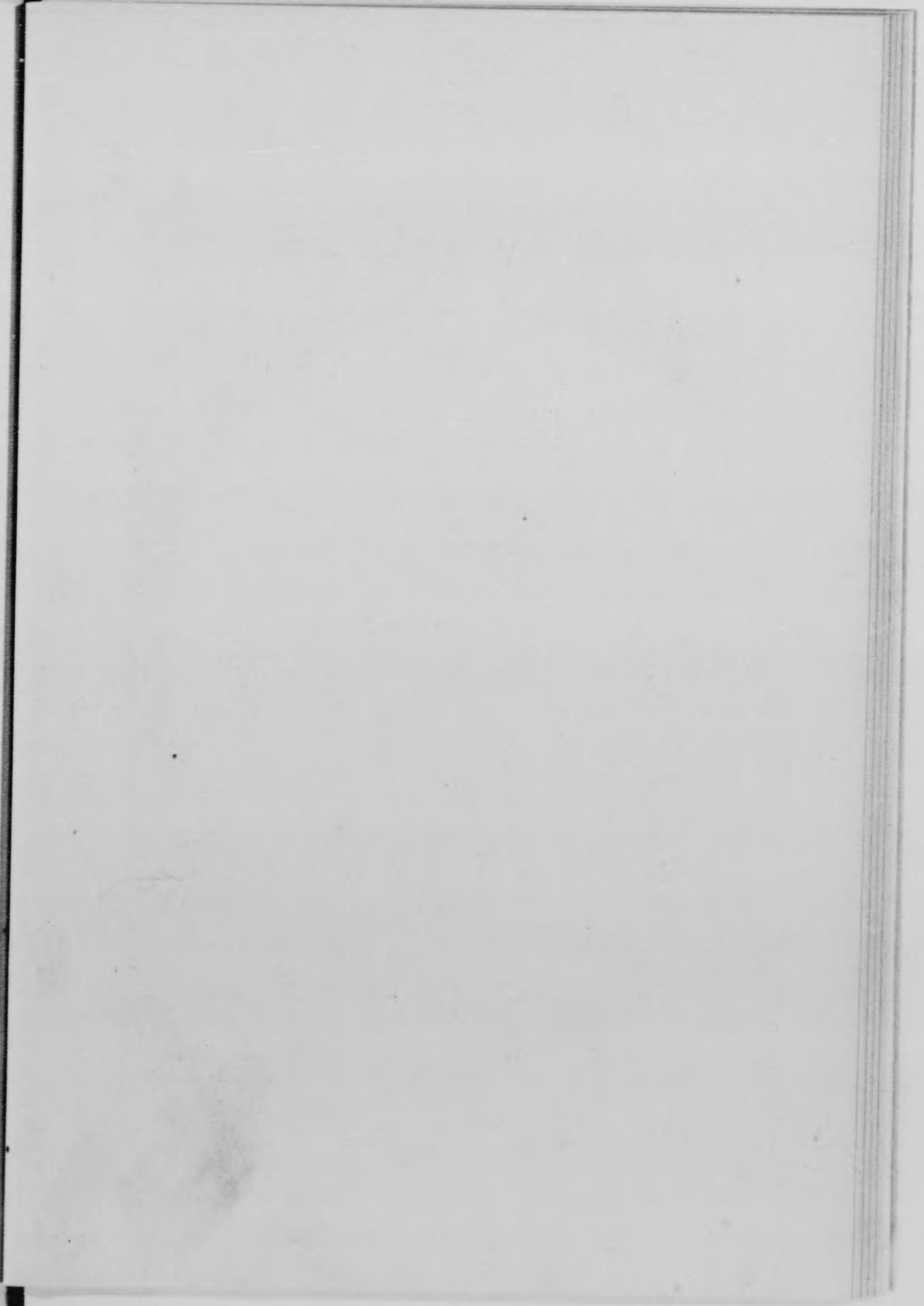
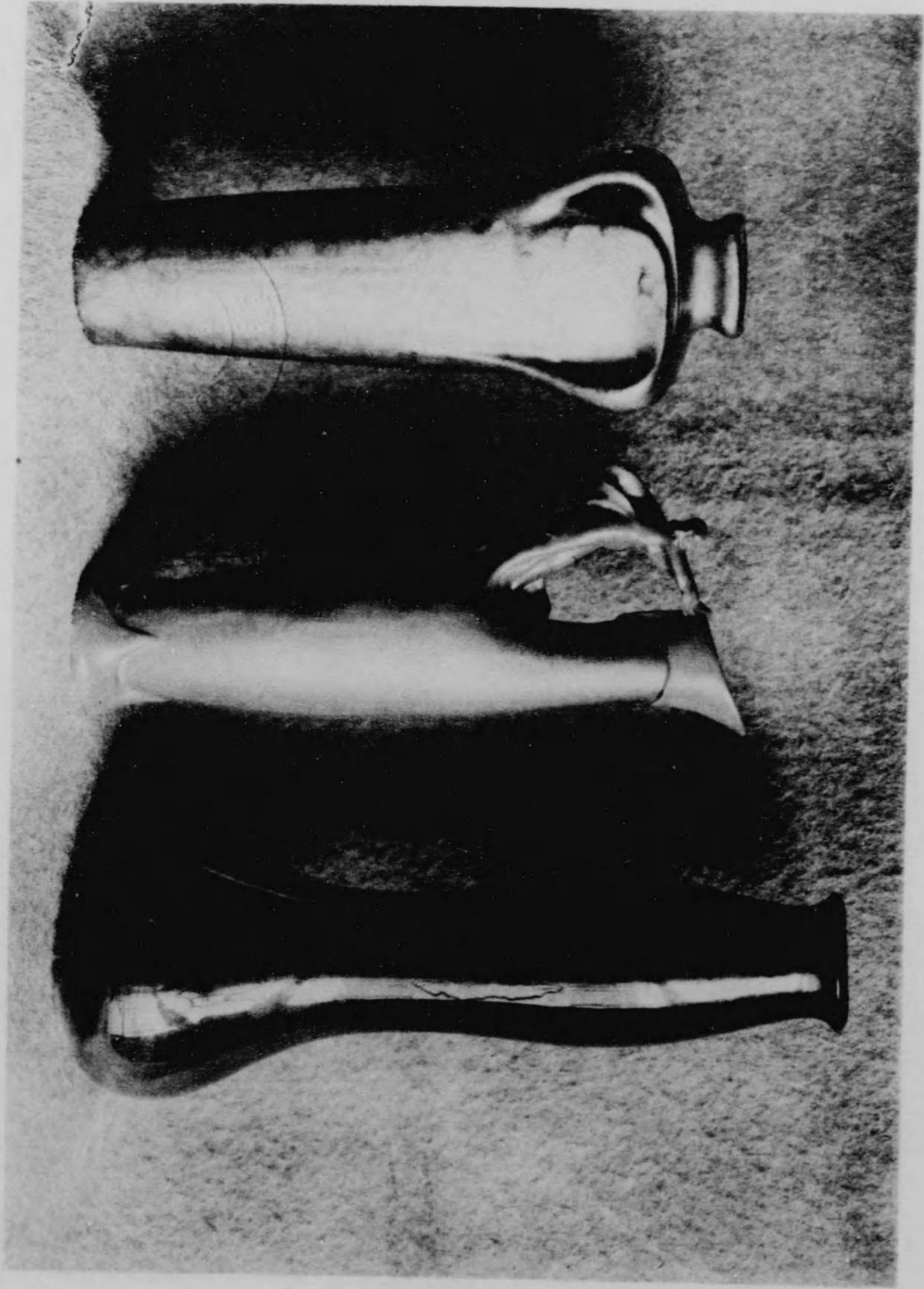


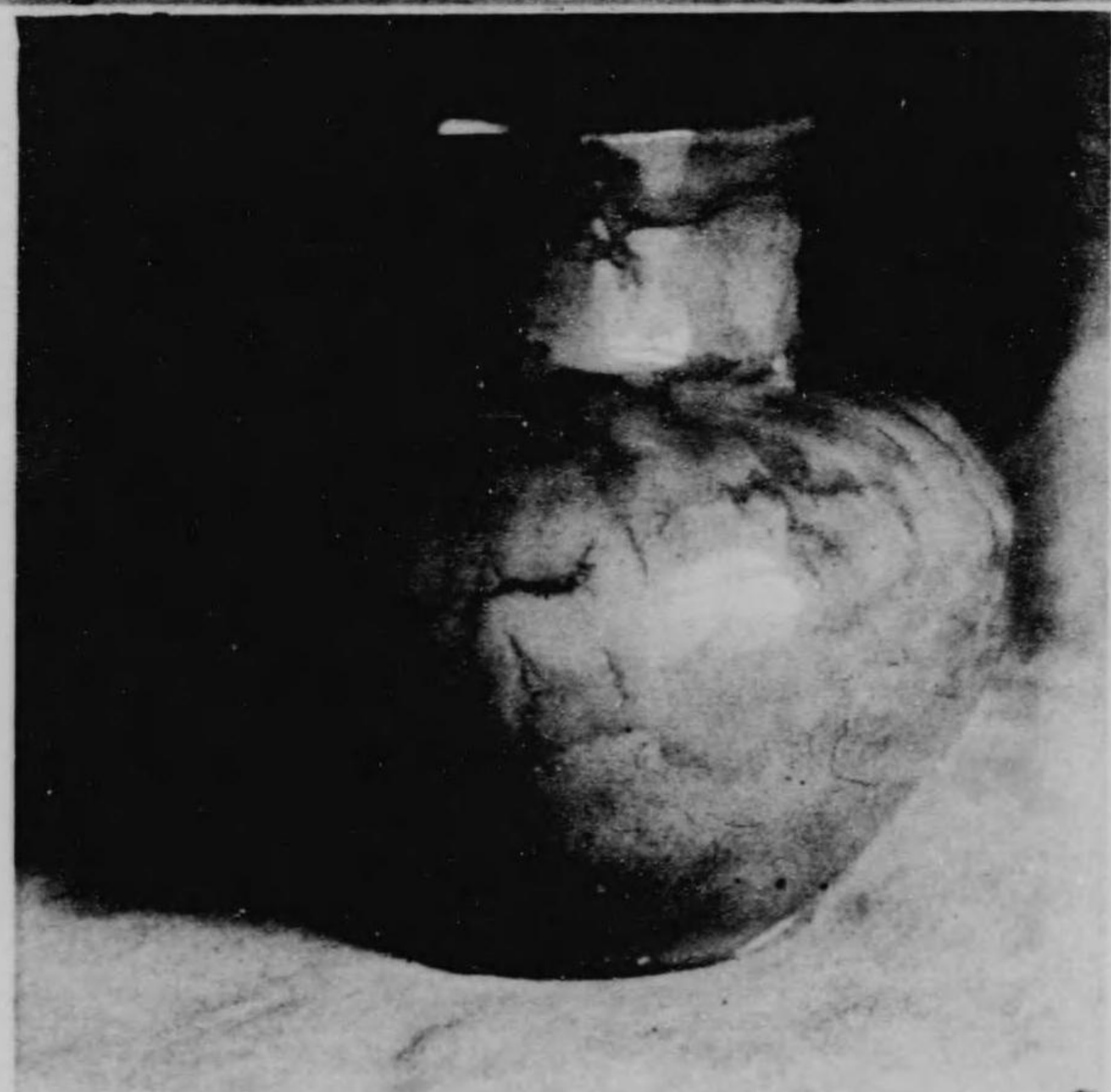


奧 太 利 匈 牙 利



與太師回長師





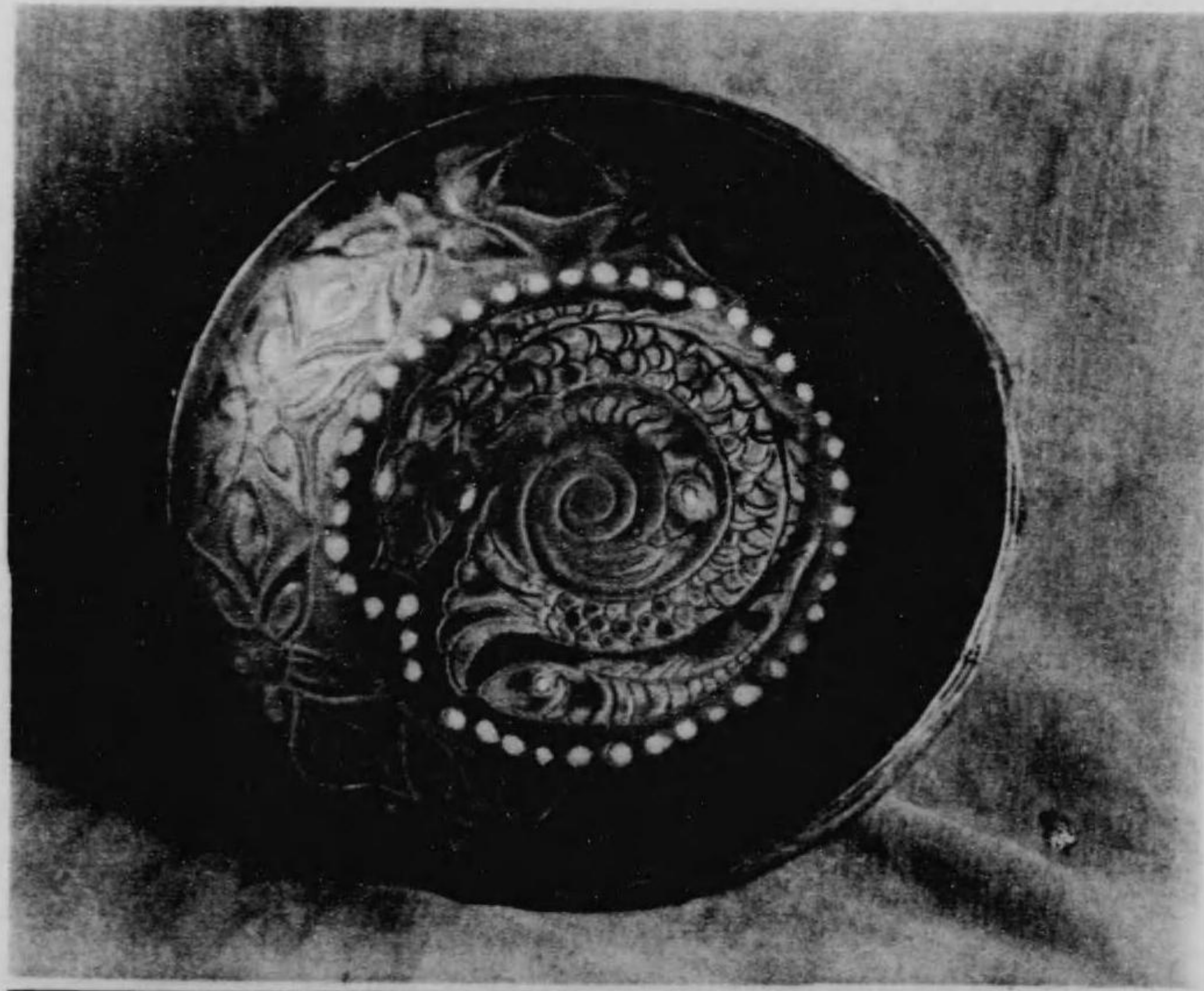
和

蘭

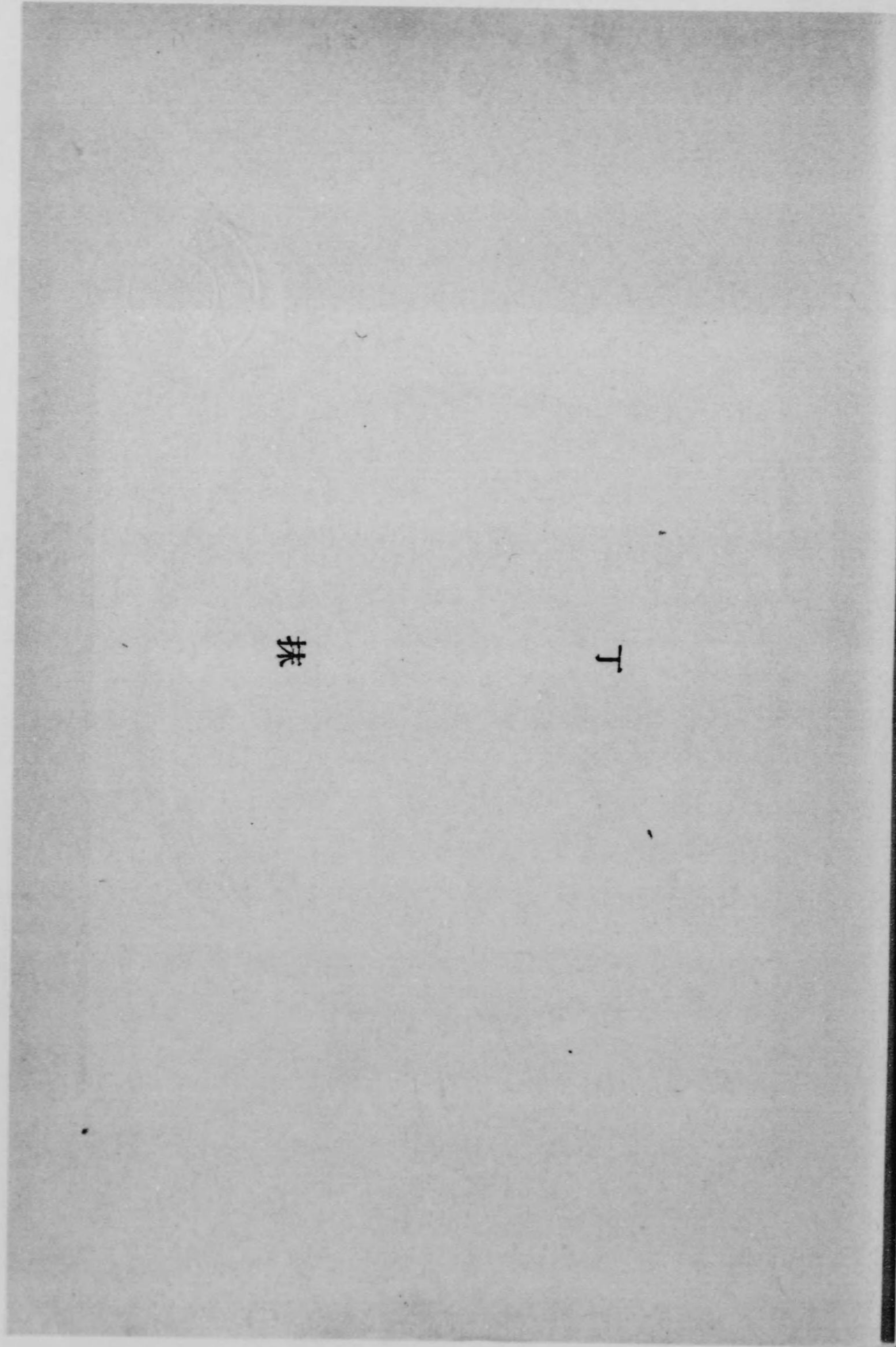


保

蘭

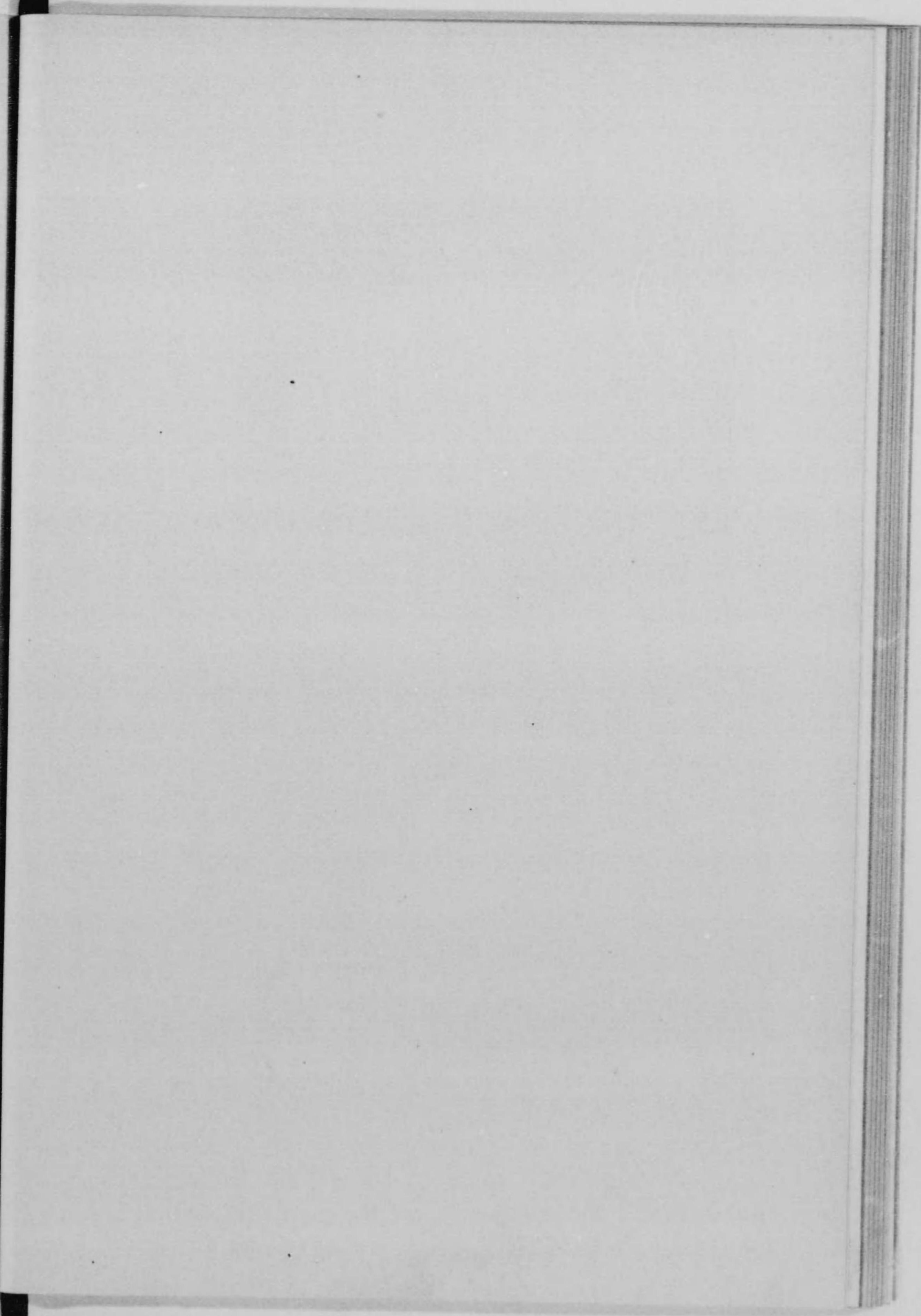


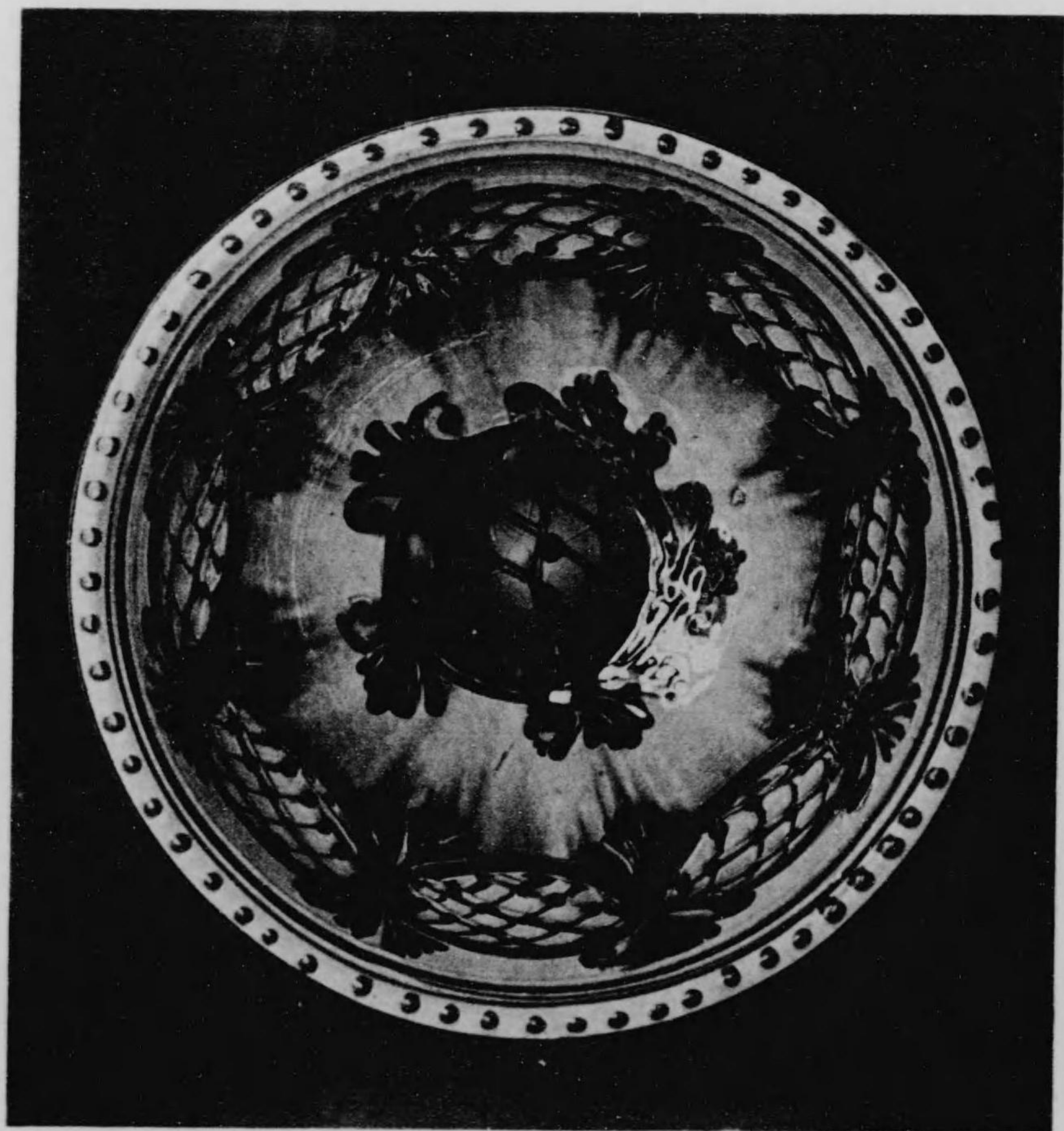




抹

丁

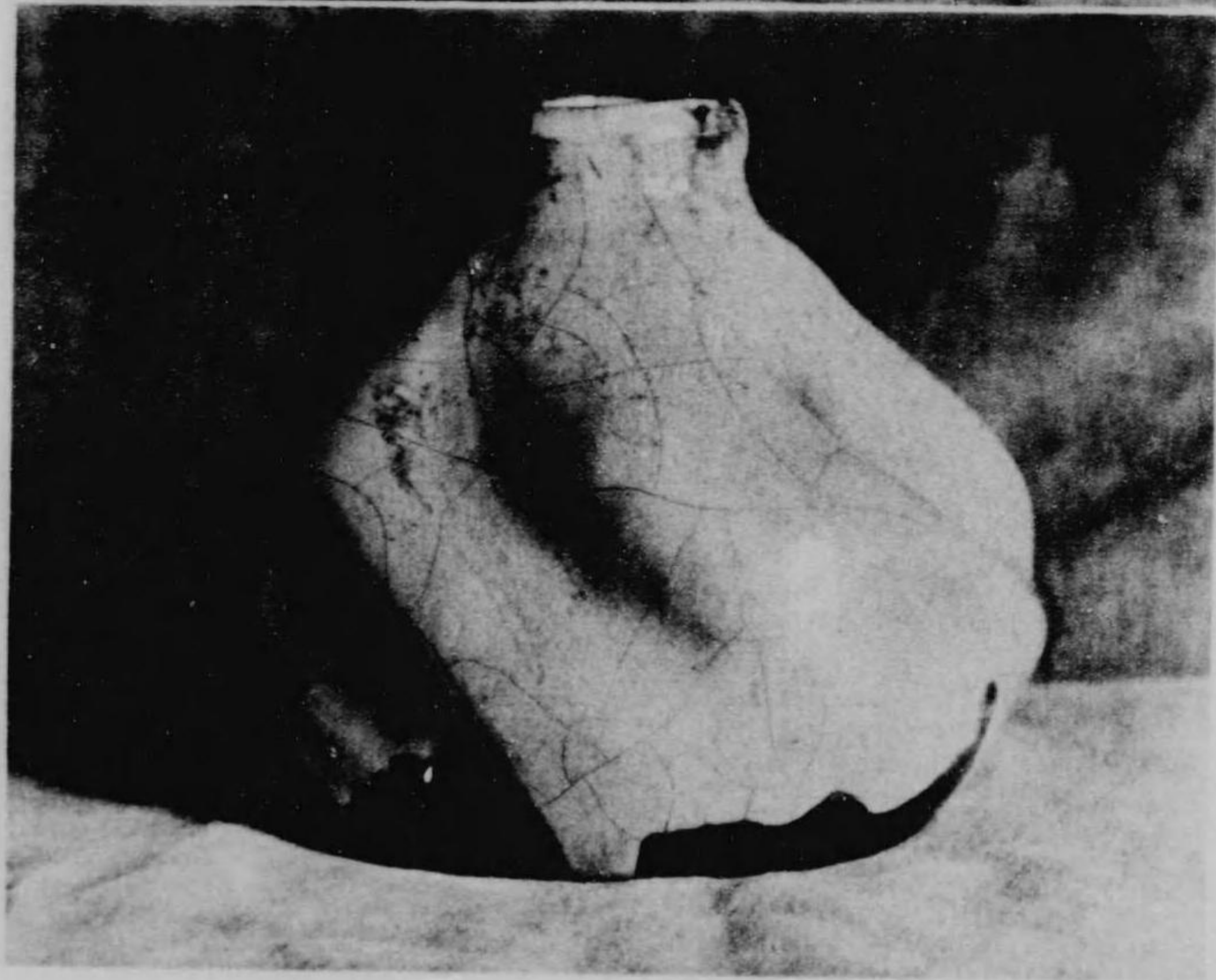


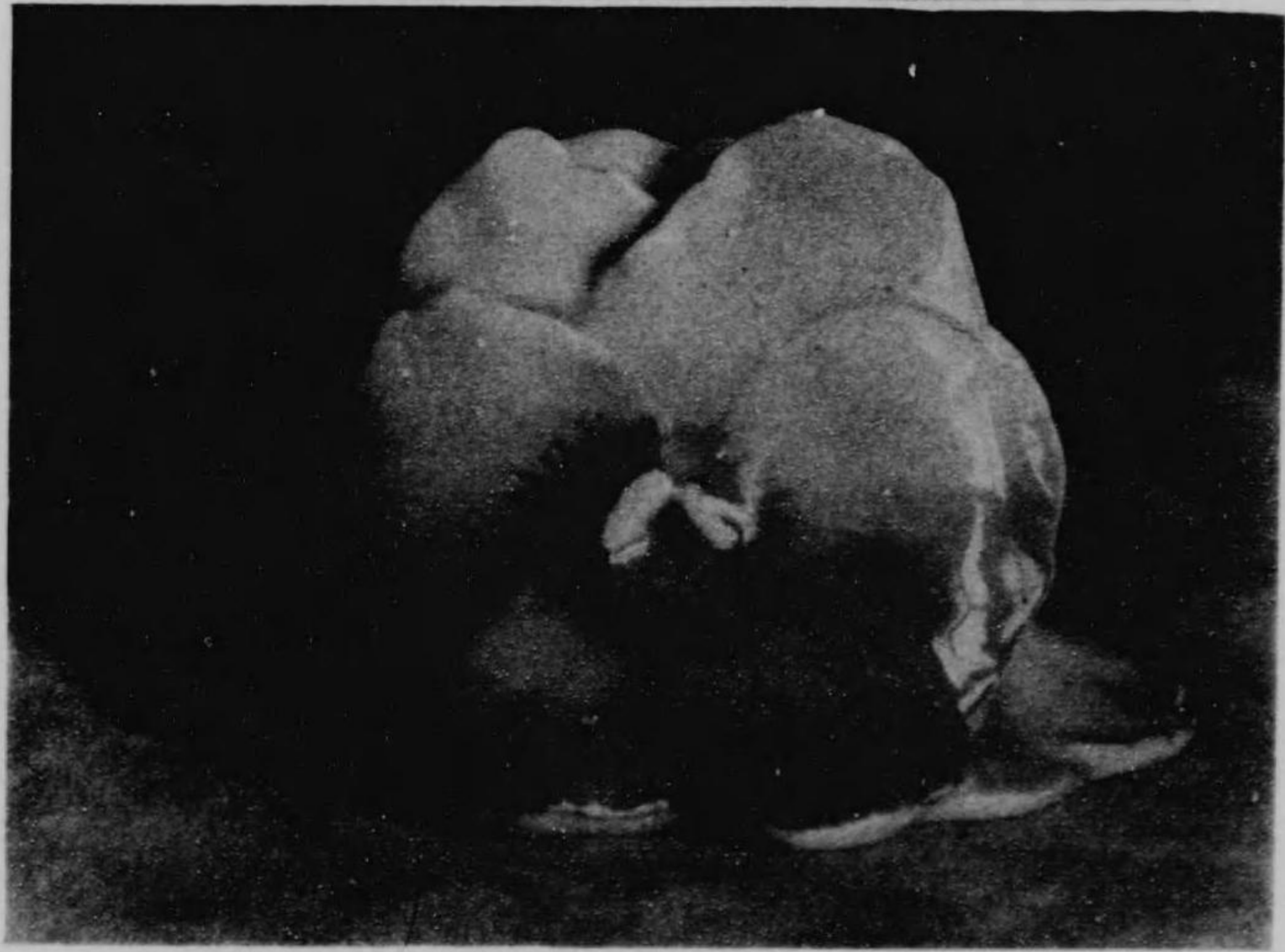


T

林

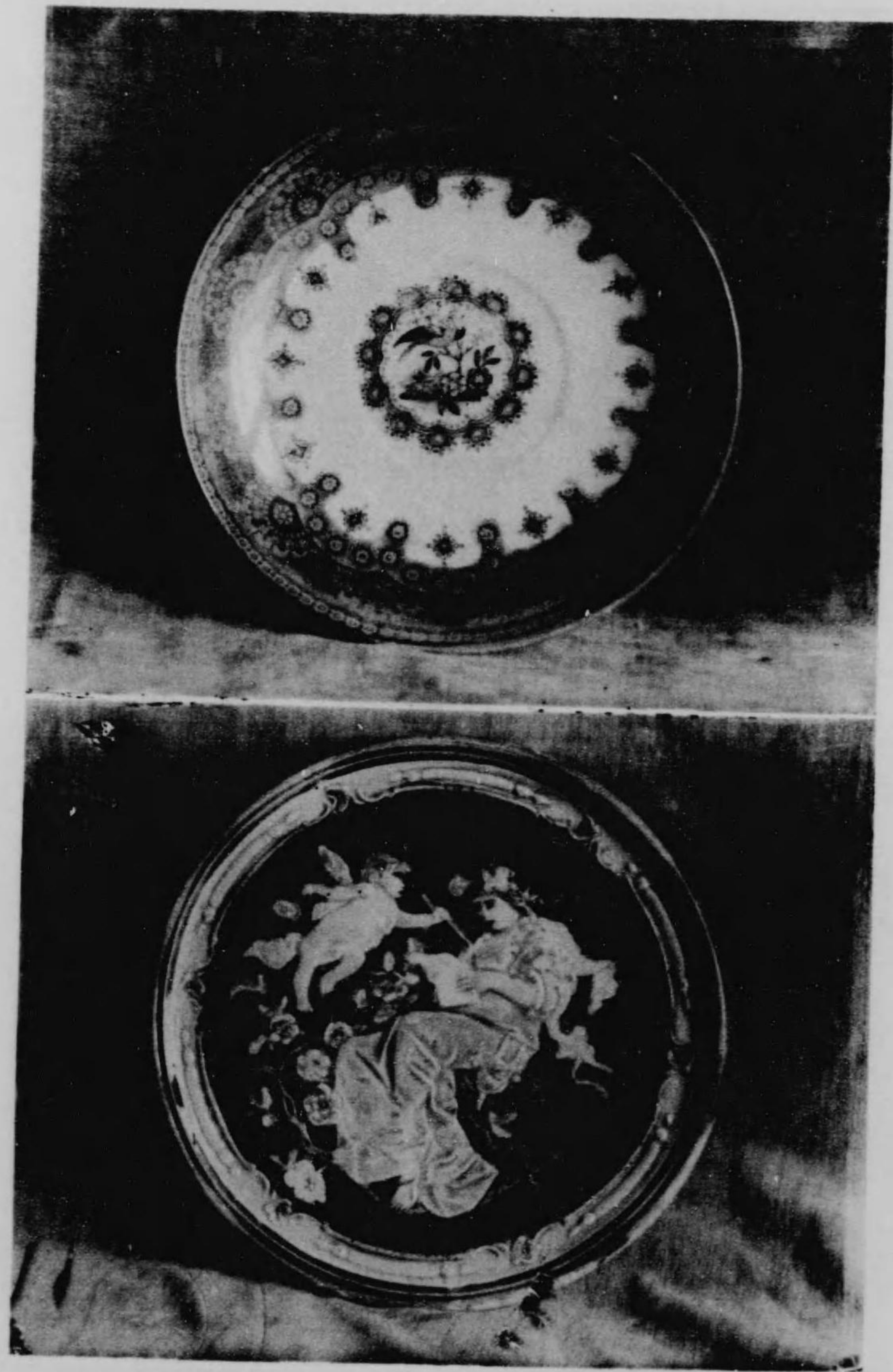






白
耳
義

西
班
牙

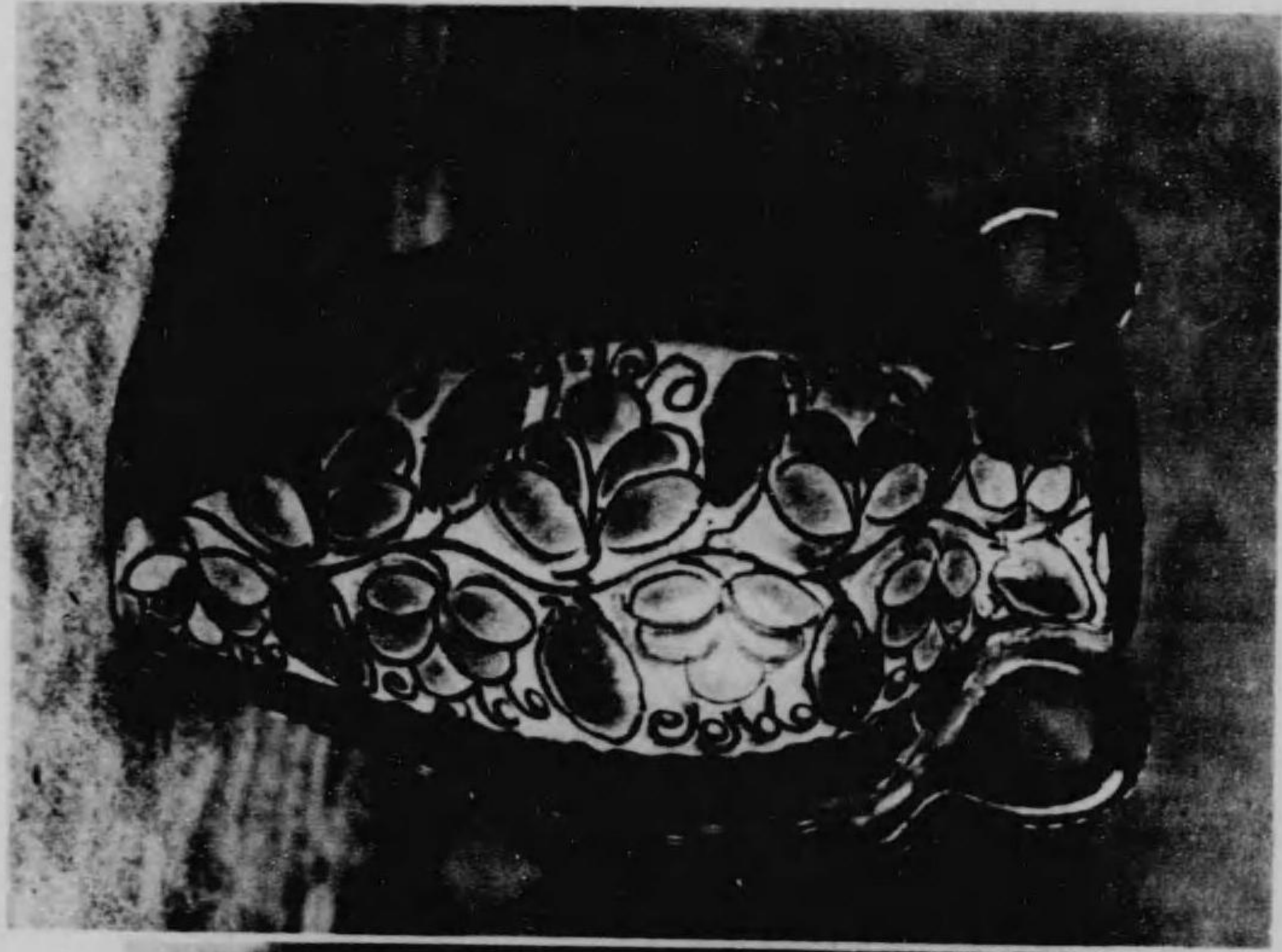


白 耳 瓷

西 耳 平

瑞

西



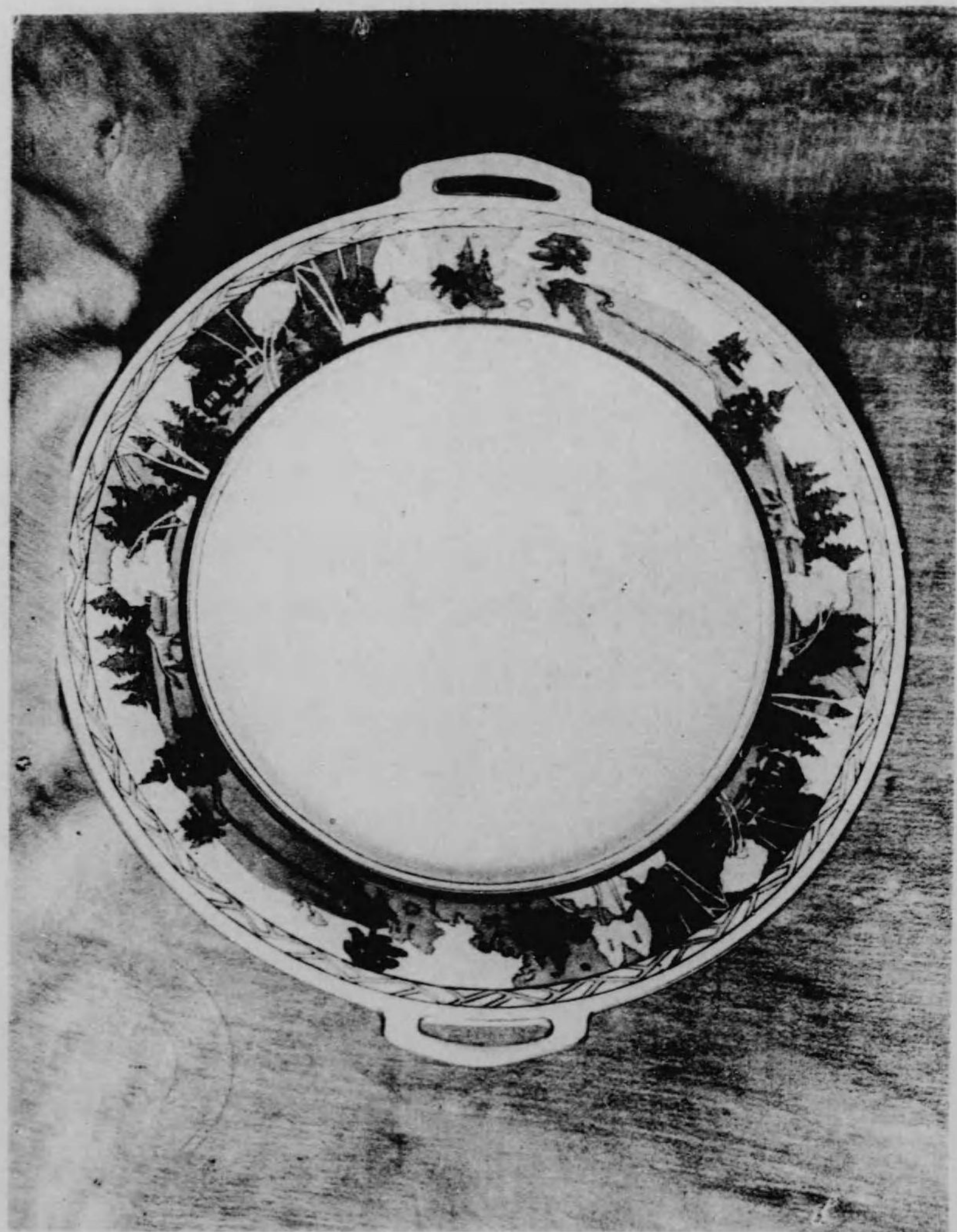
器

西

露

西

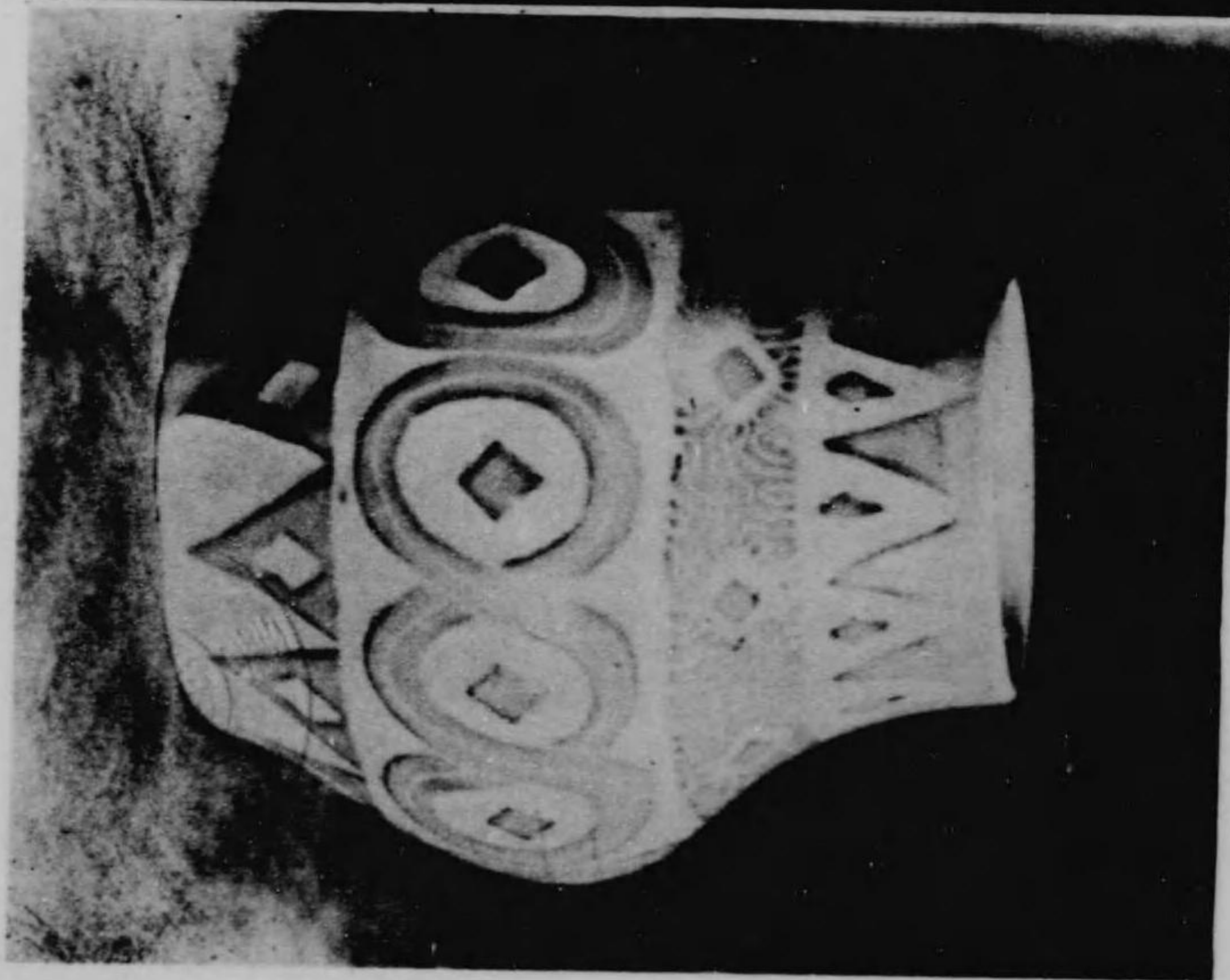
亞



亞 西 亞

土耳其

瑞典

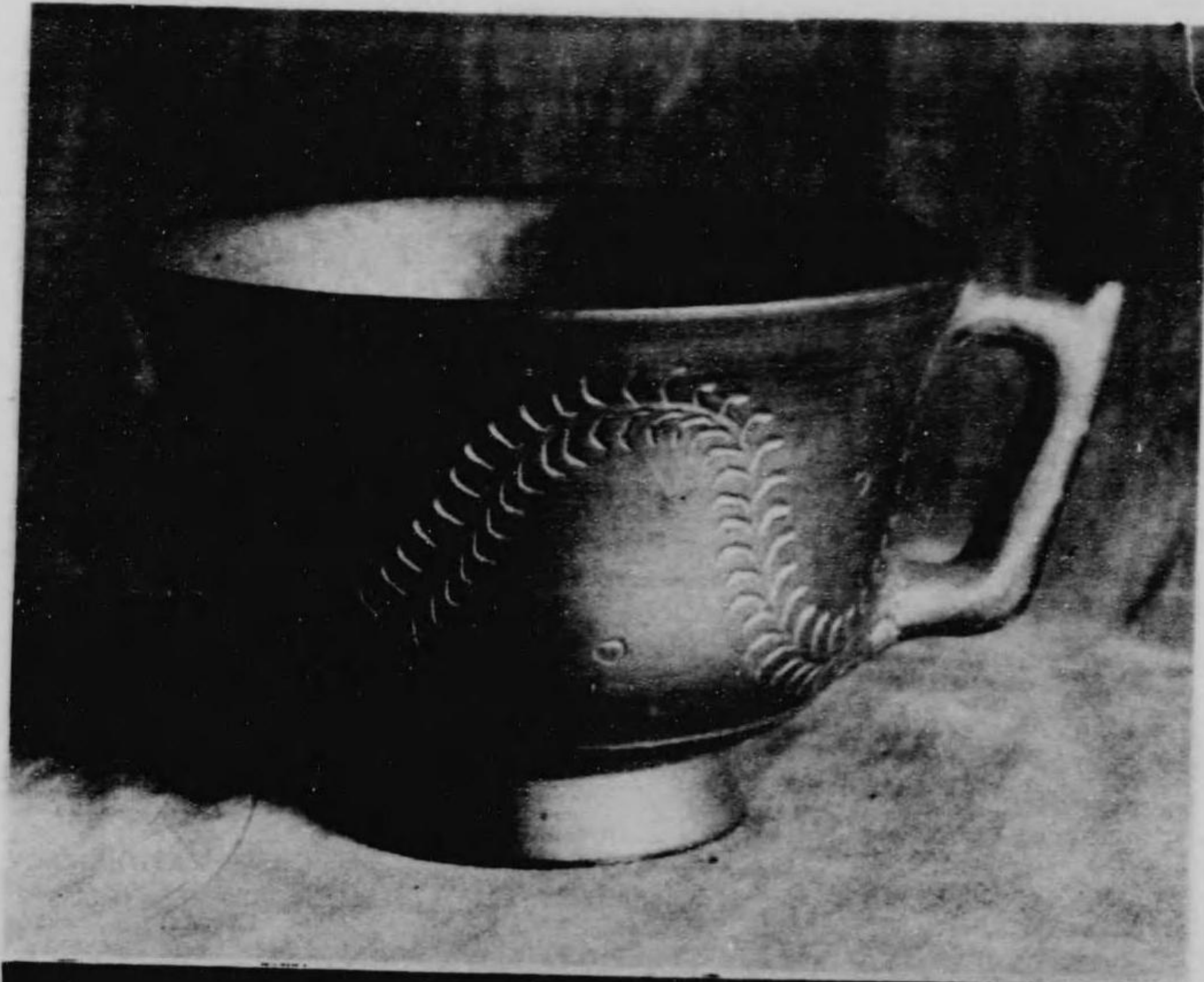


古 耳 土

典 器

葡
葡

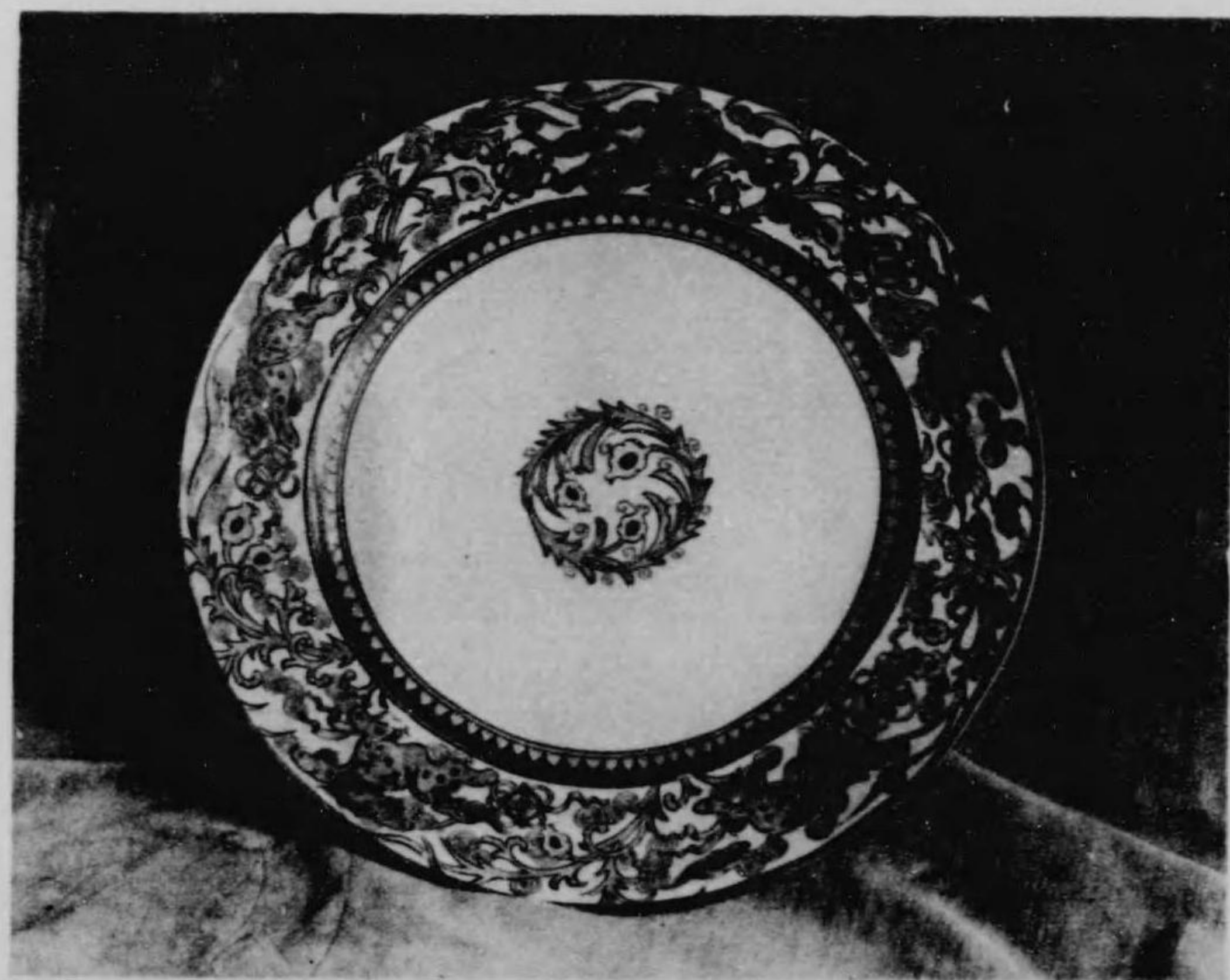
モ
ロ
ツ
コ



通 卷

ハ ロ シ ロ

亞米利加

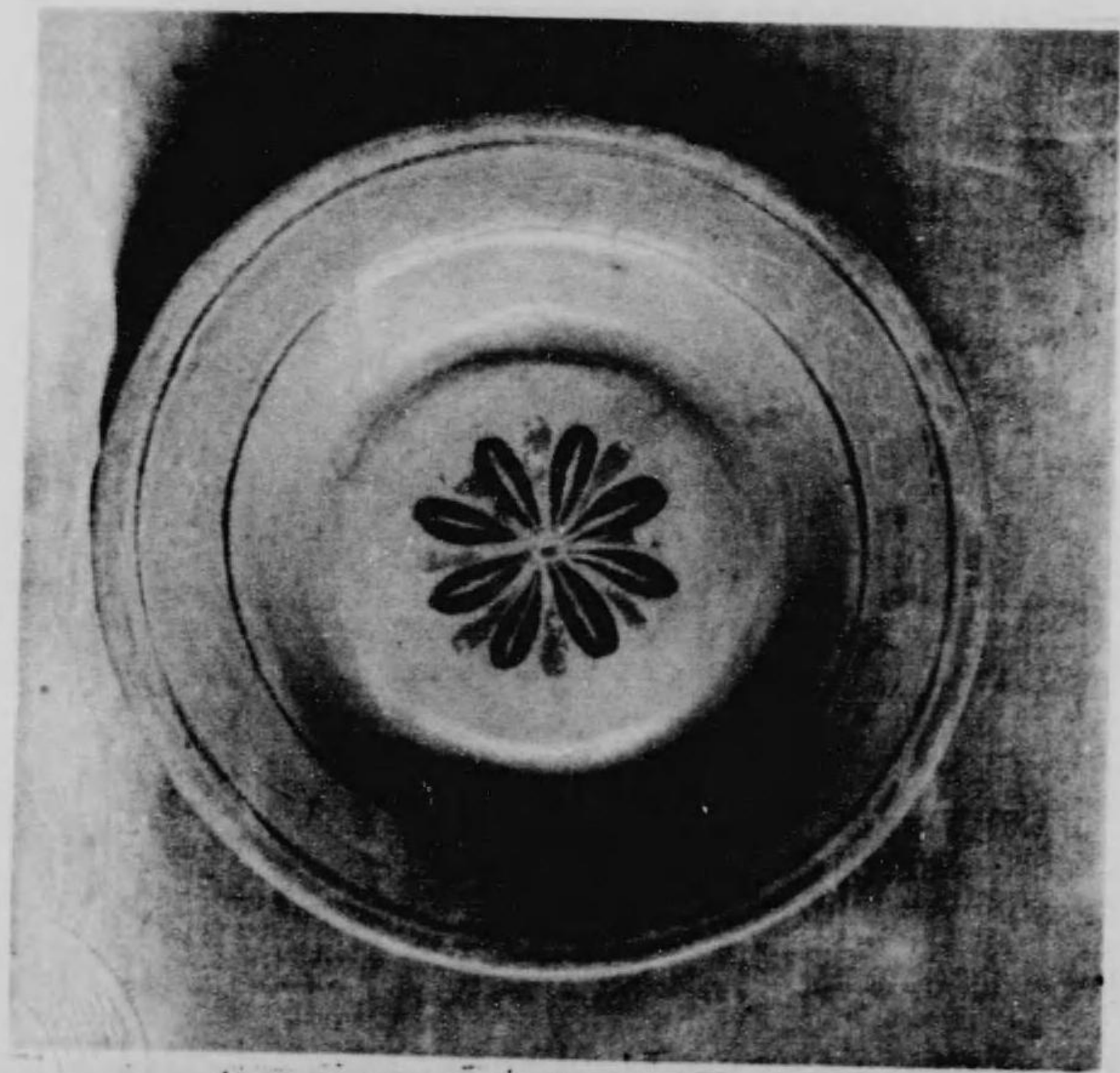


亞米味瓜

墨

其

古



墨 其 古

波

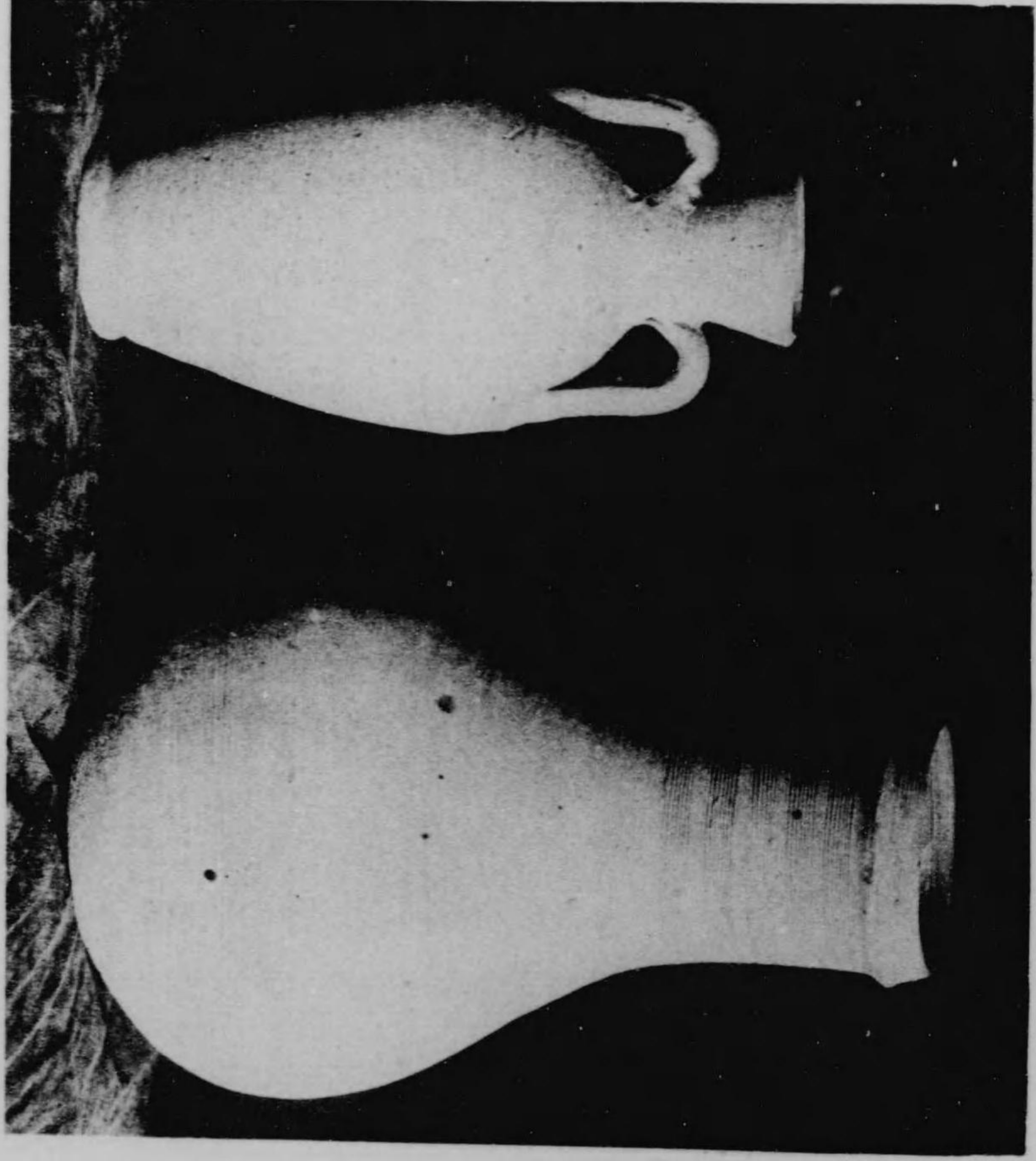
斯



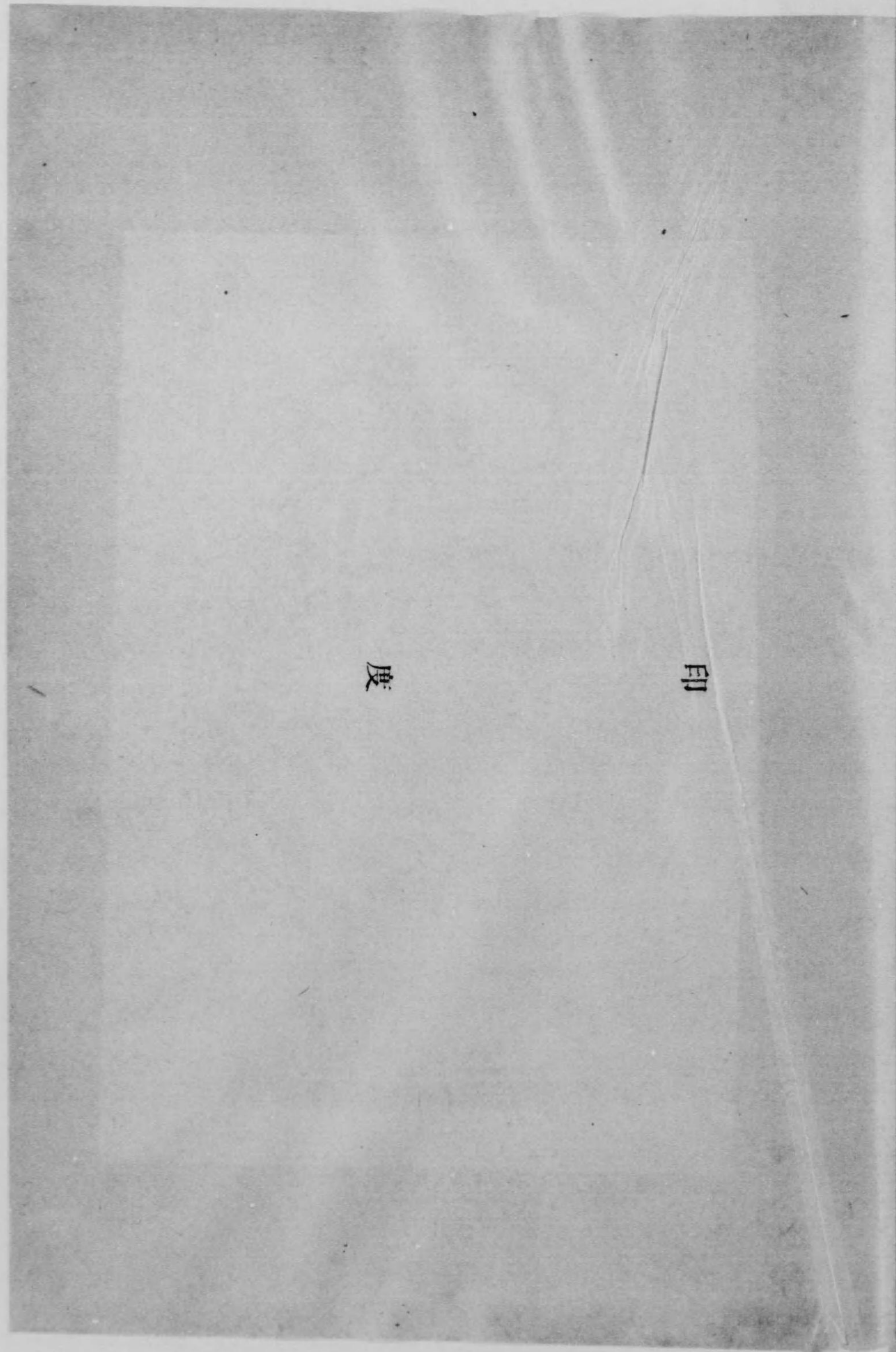
瓶

瓶

亞 刺 比 亞

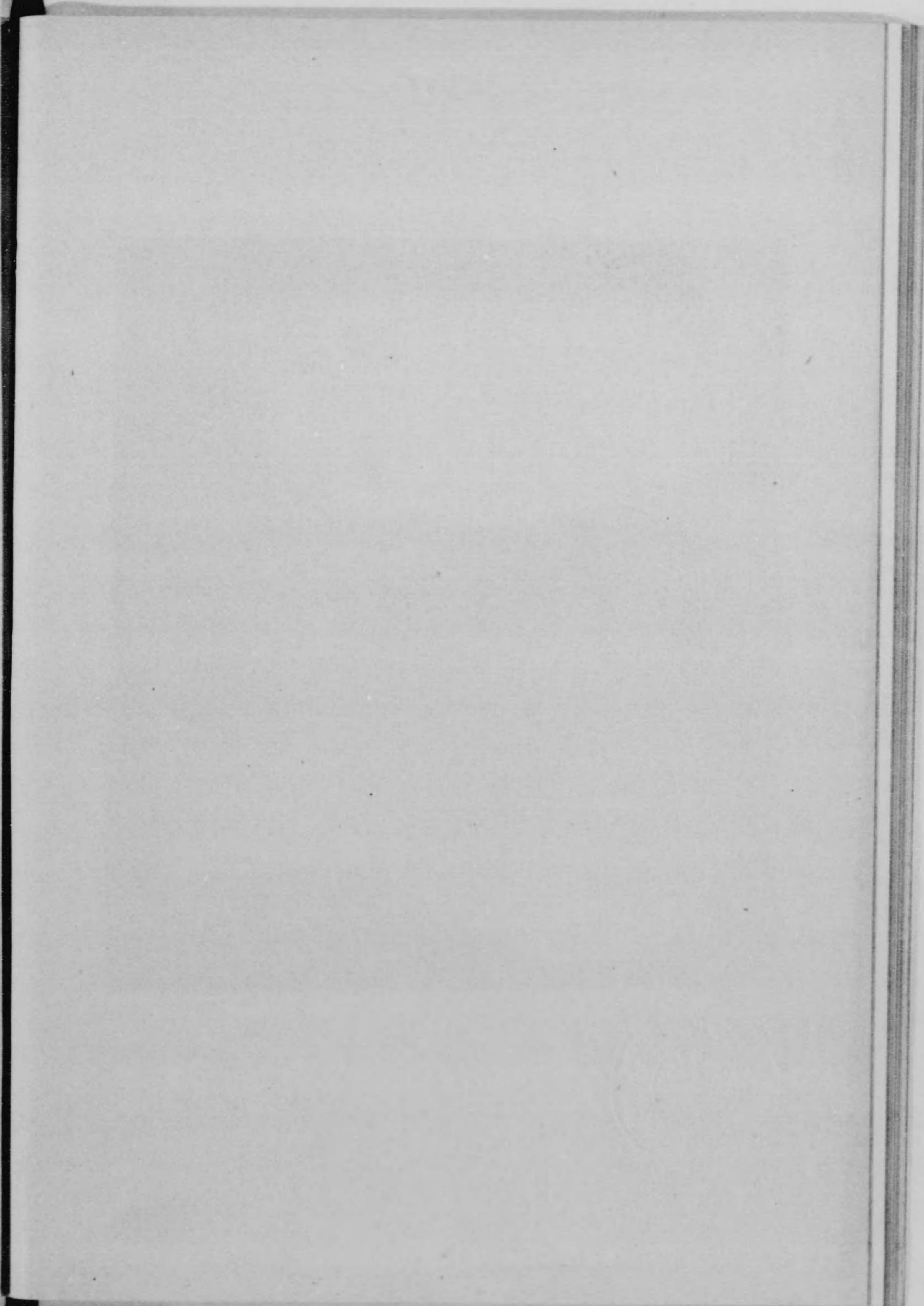


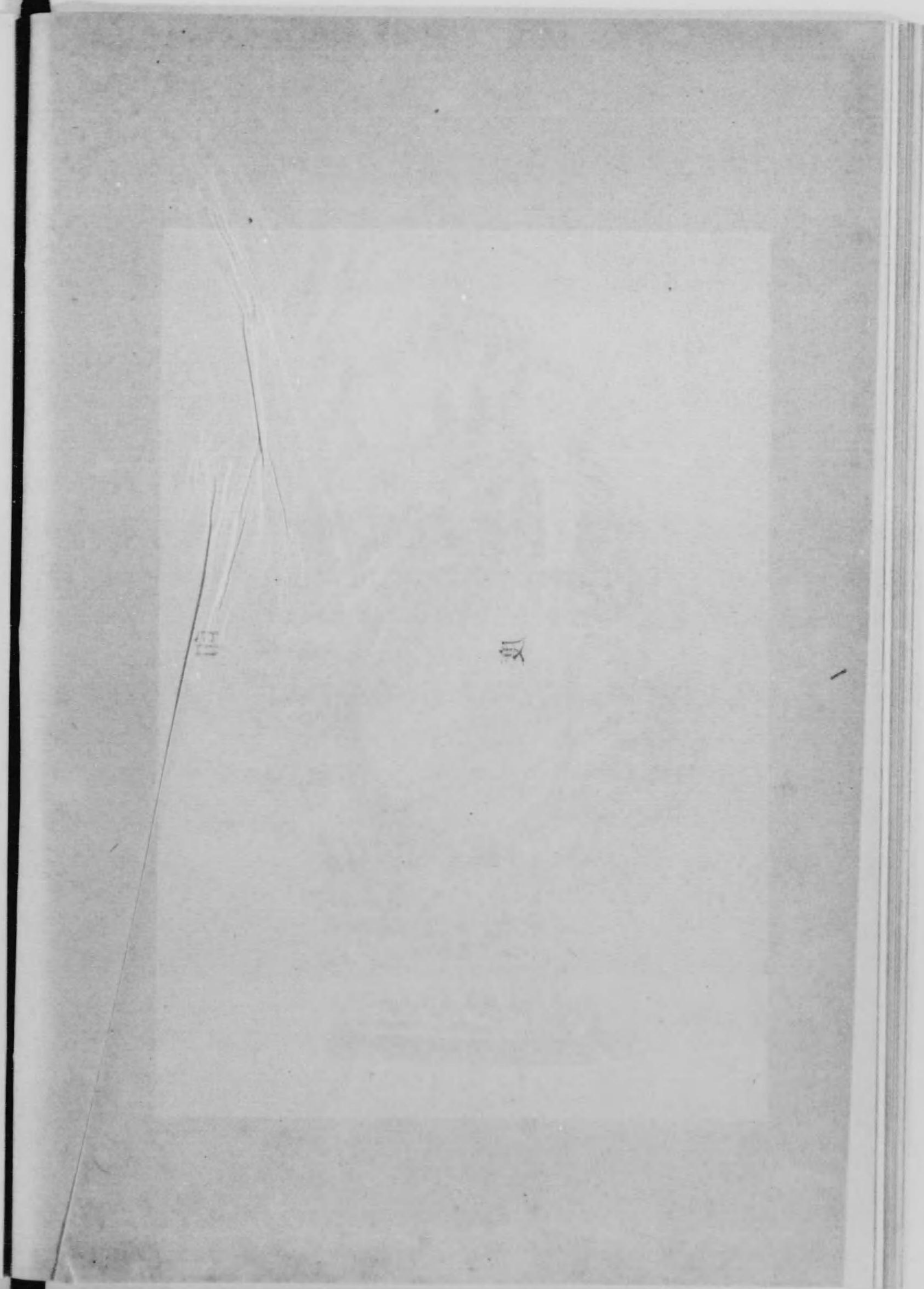
亞 陳 丸 亞

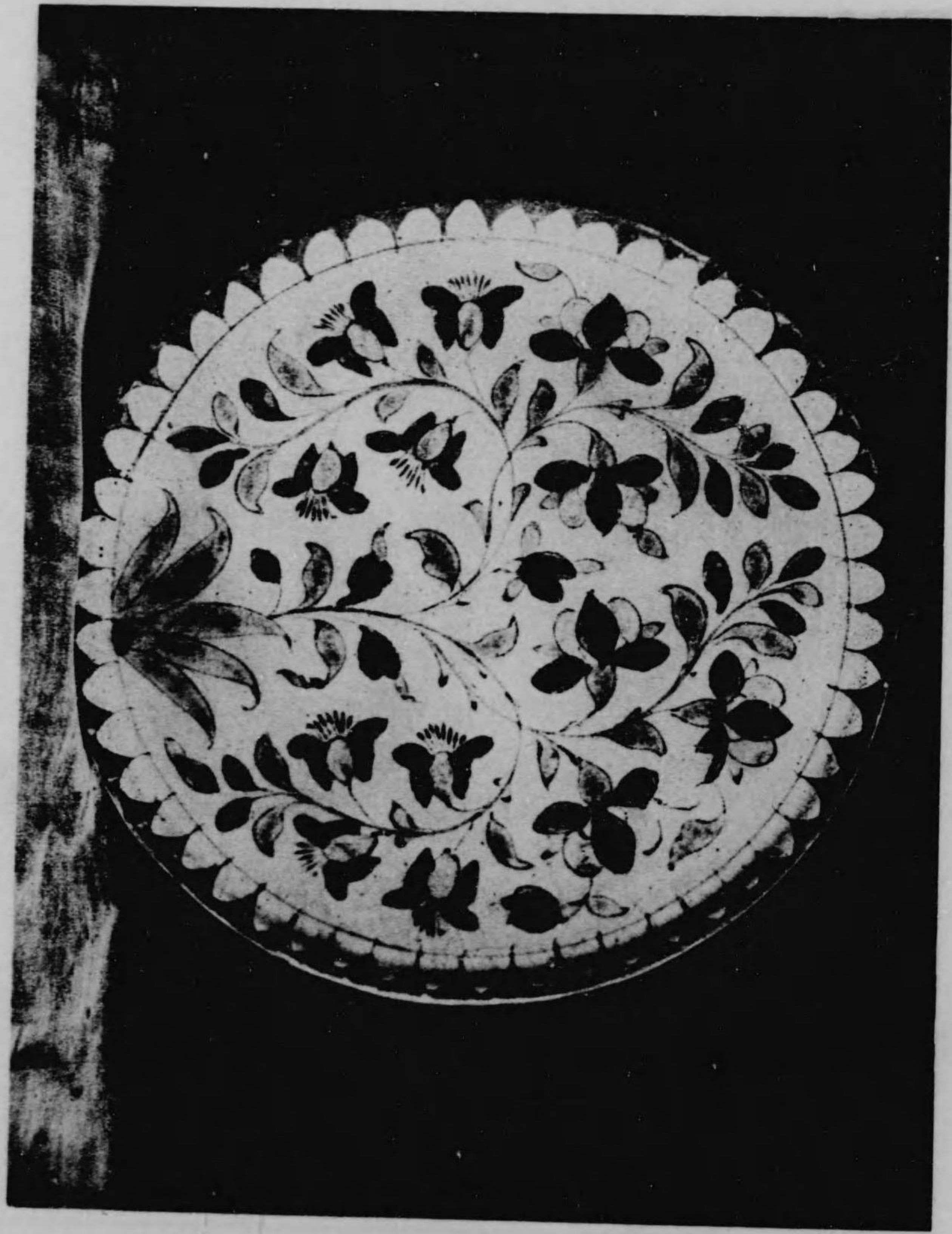


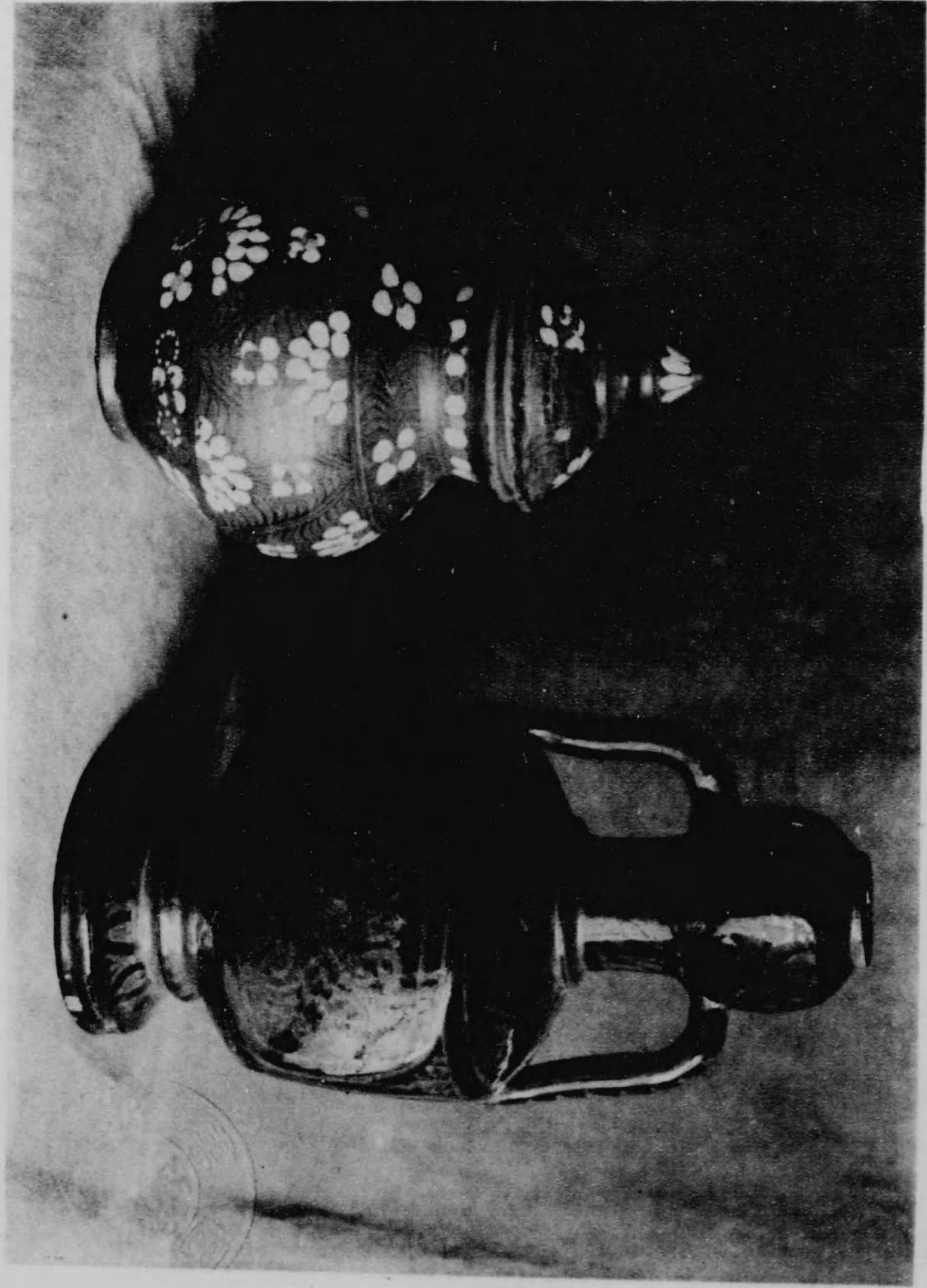
度

印



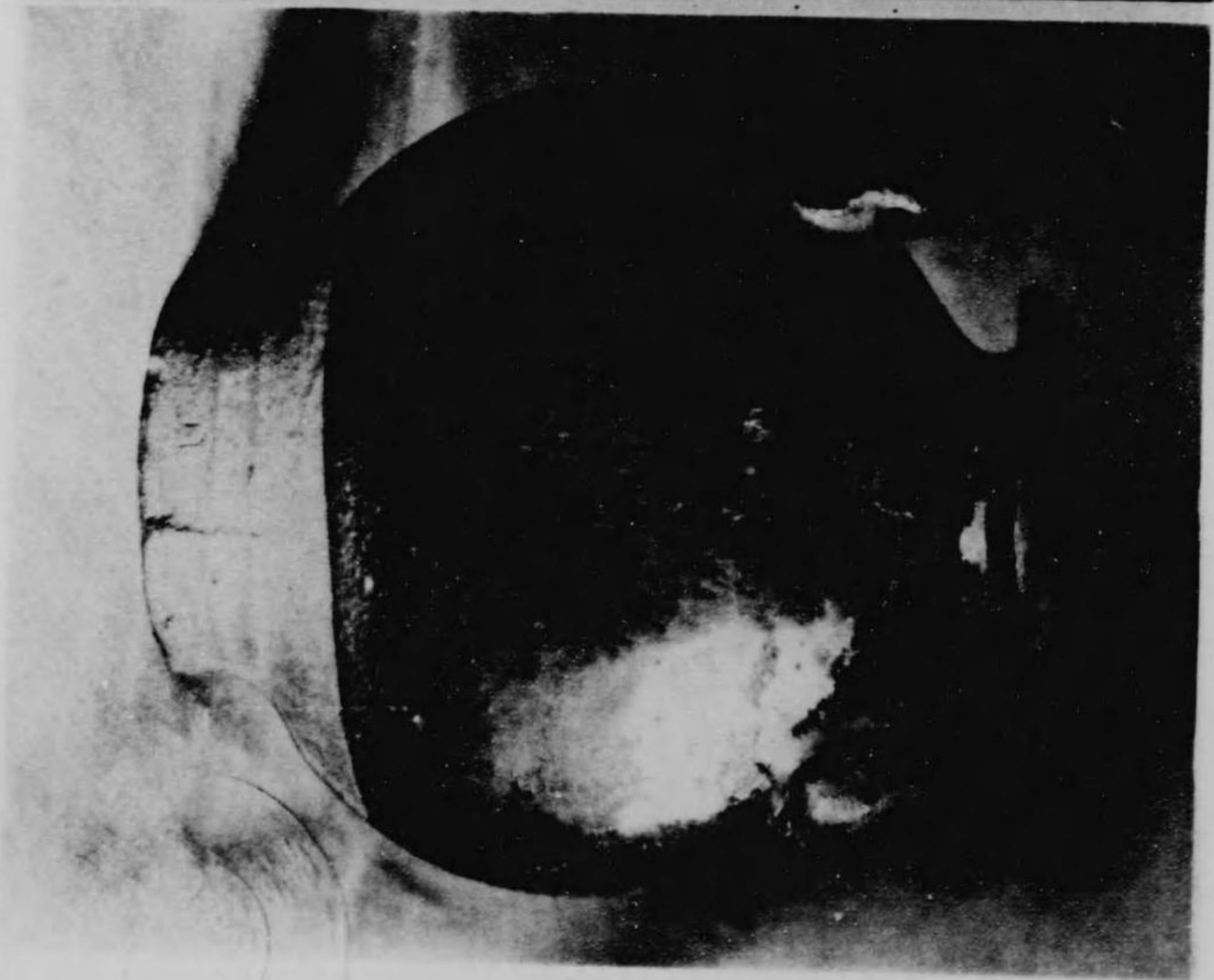
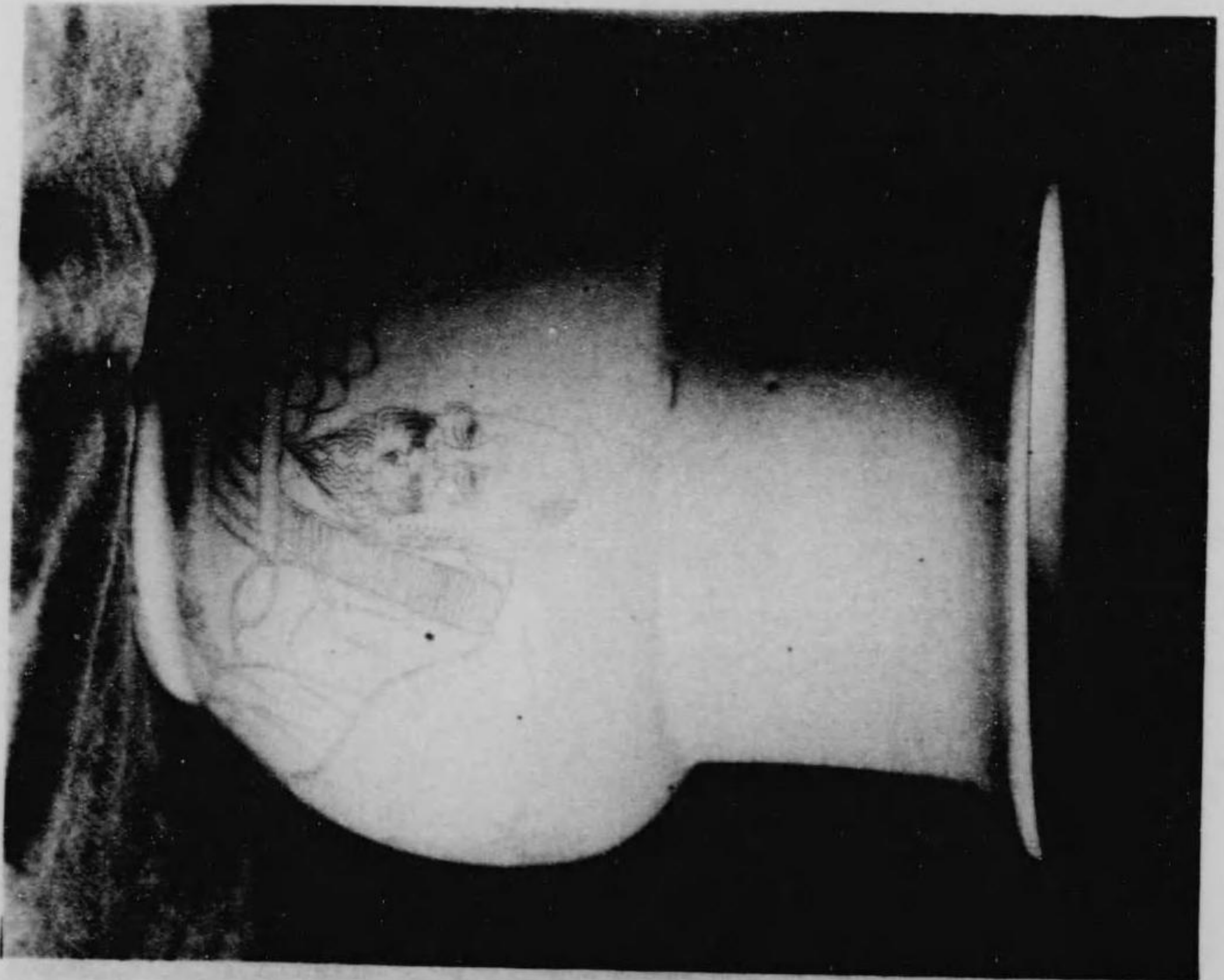






支

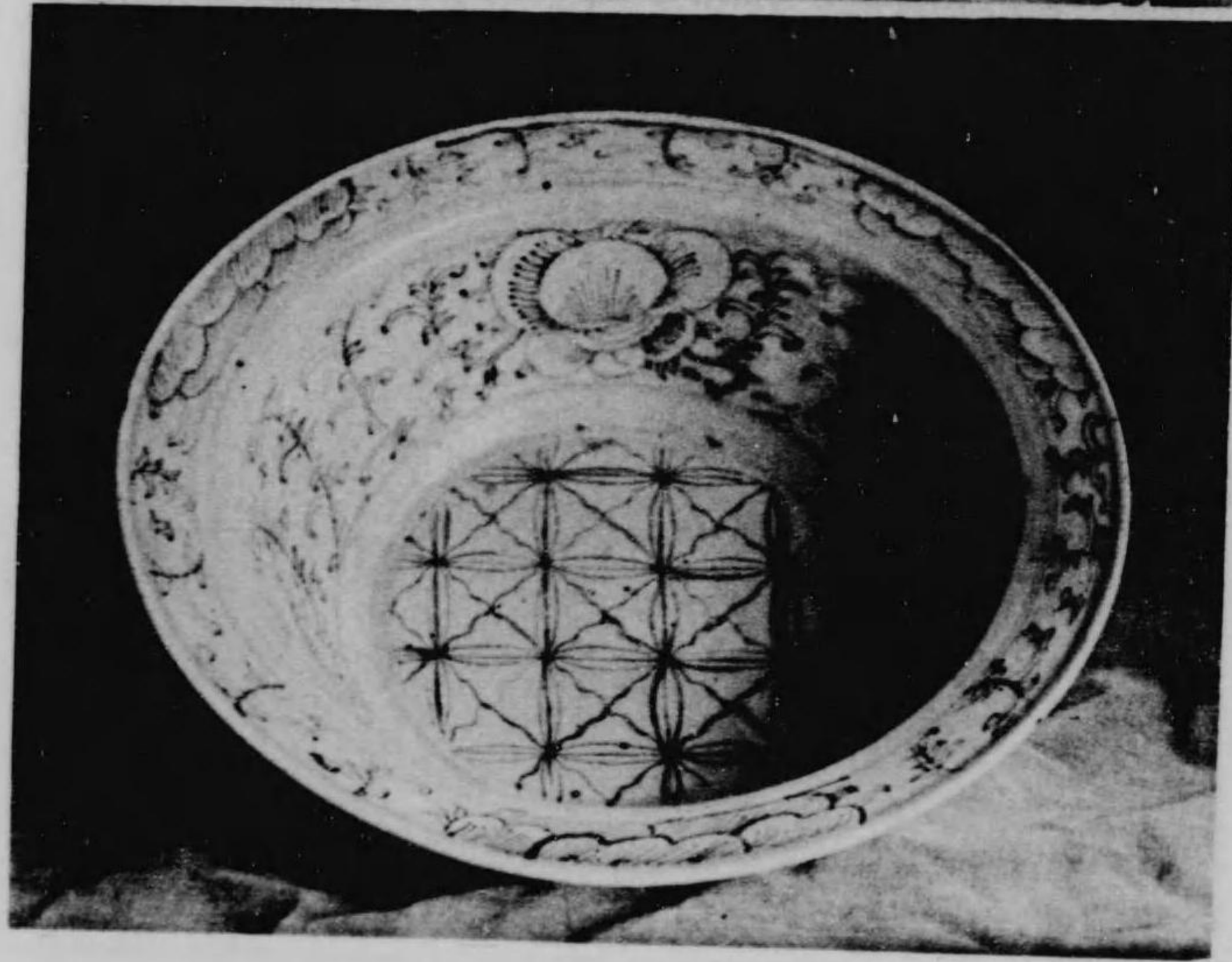
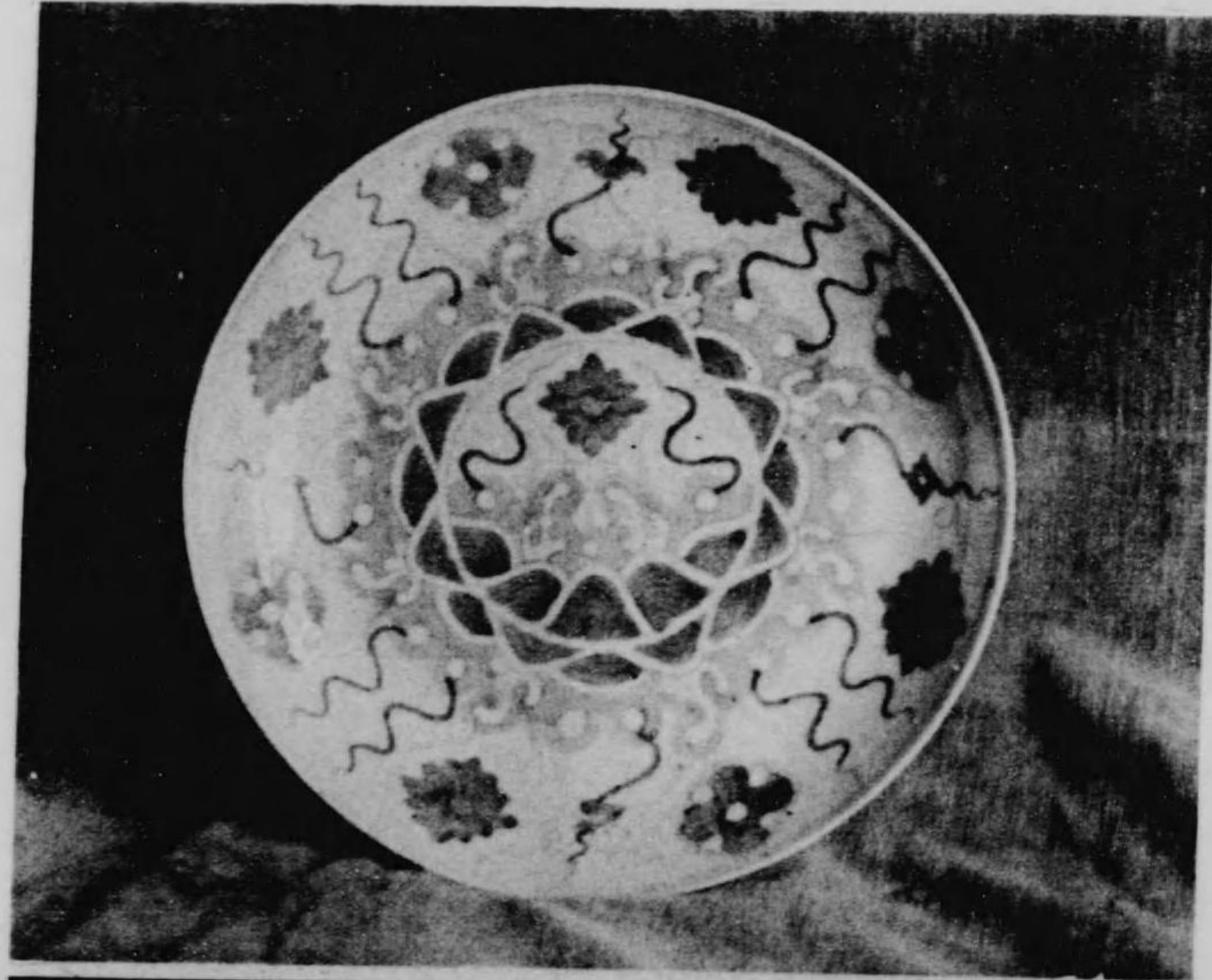
那

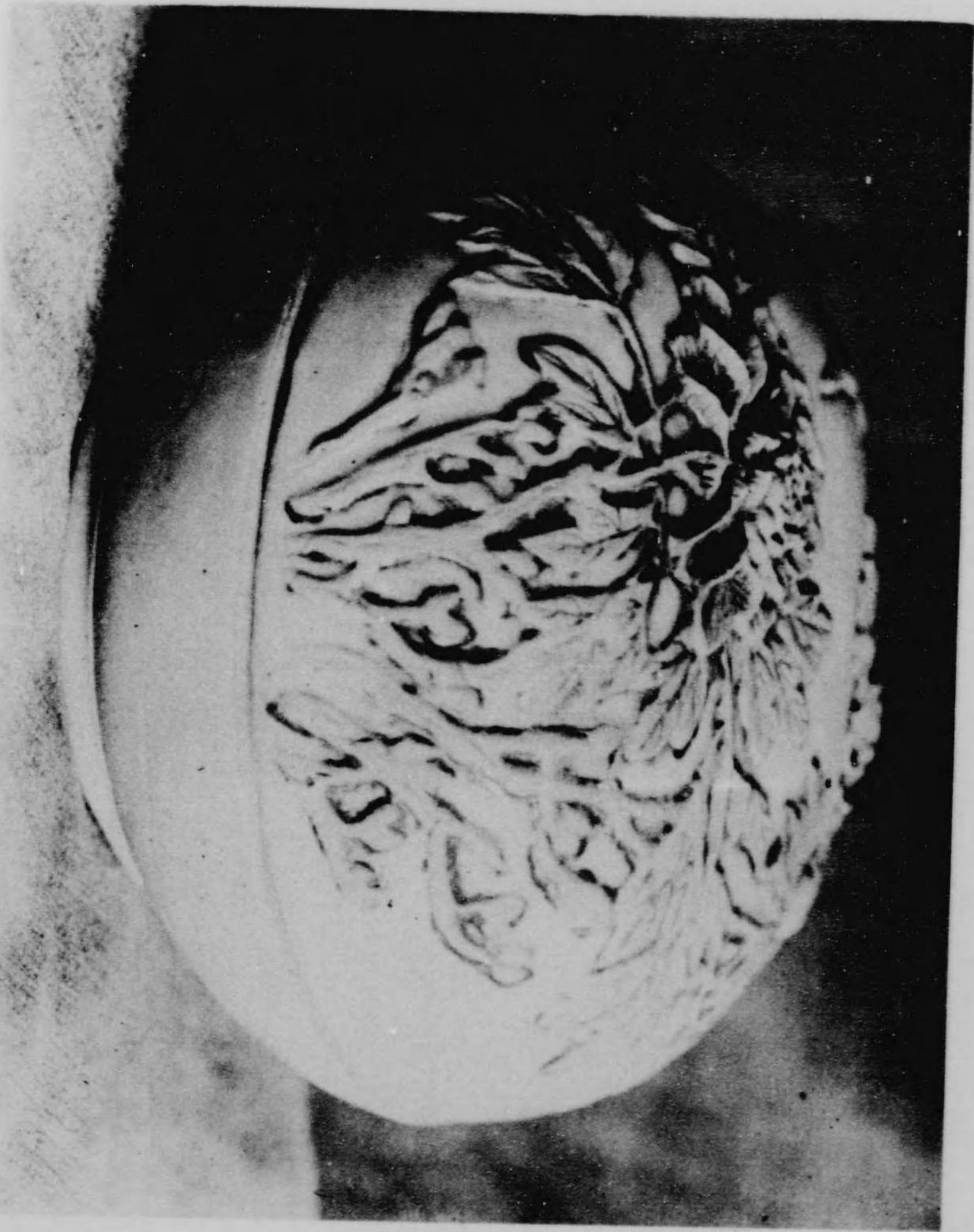


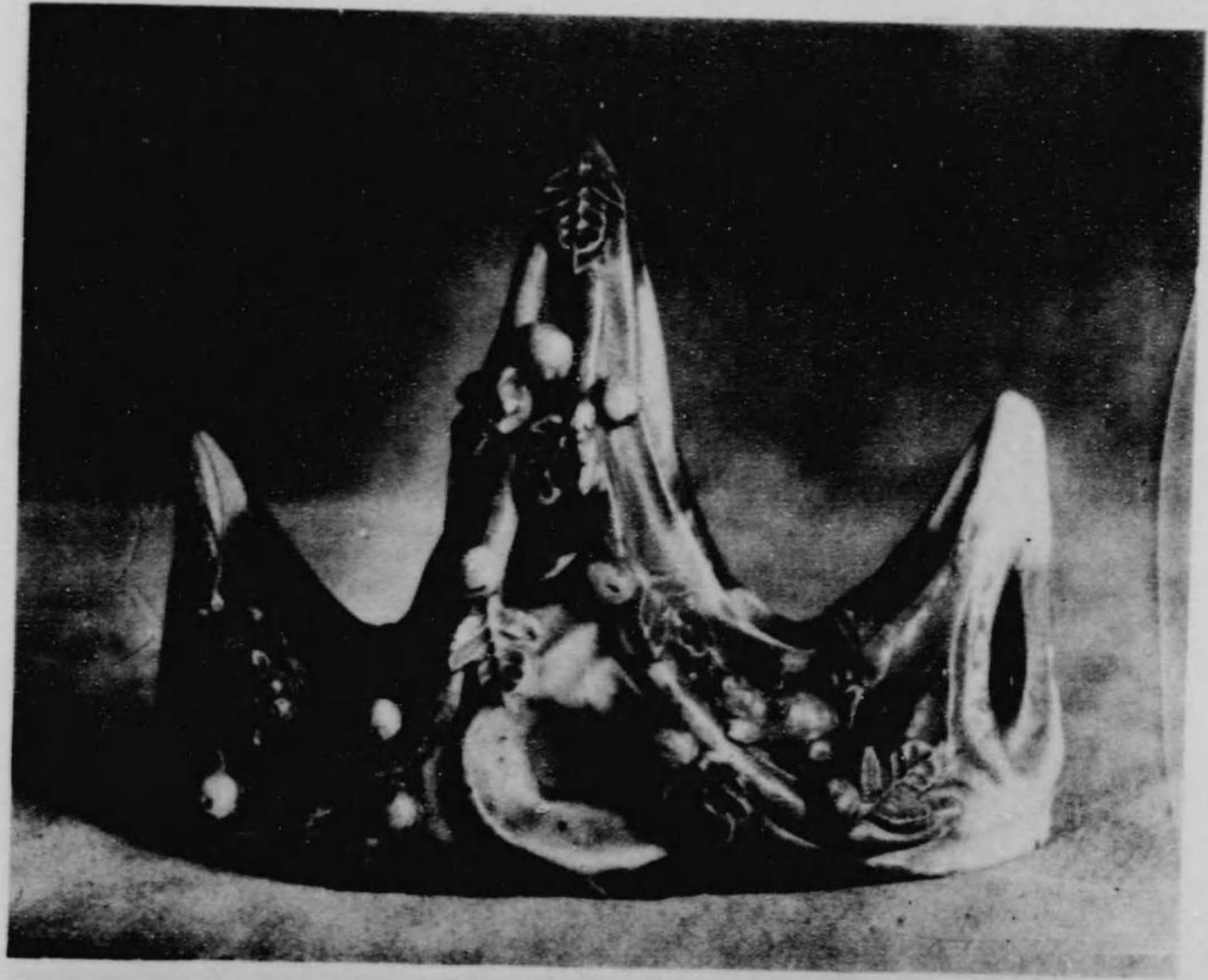
支

罪



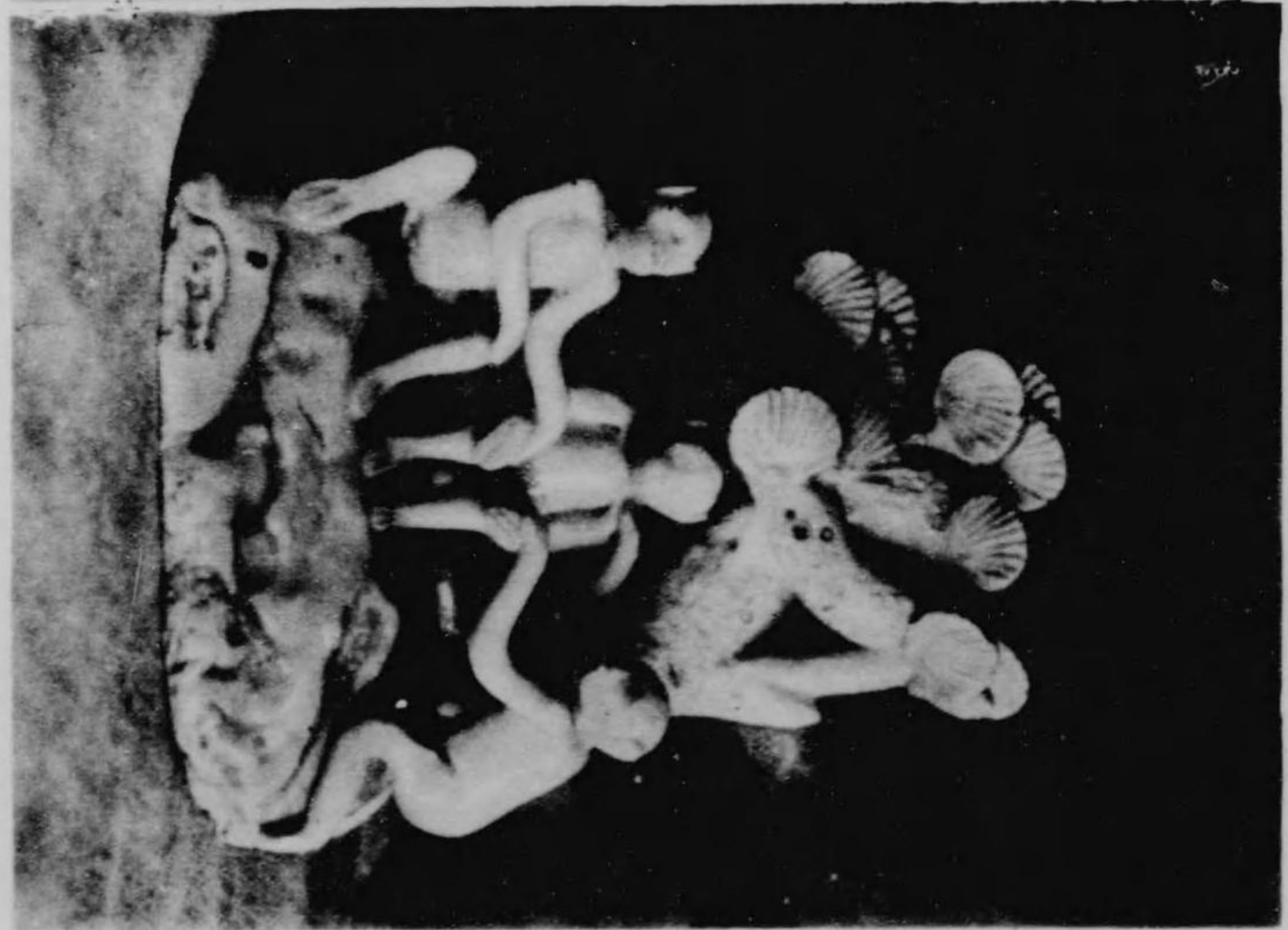
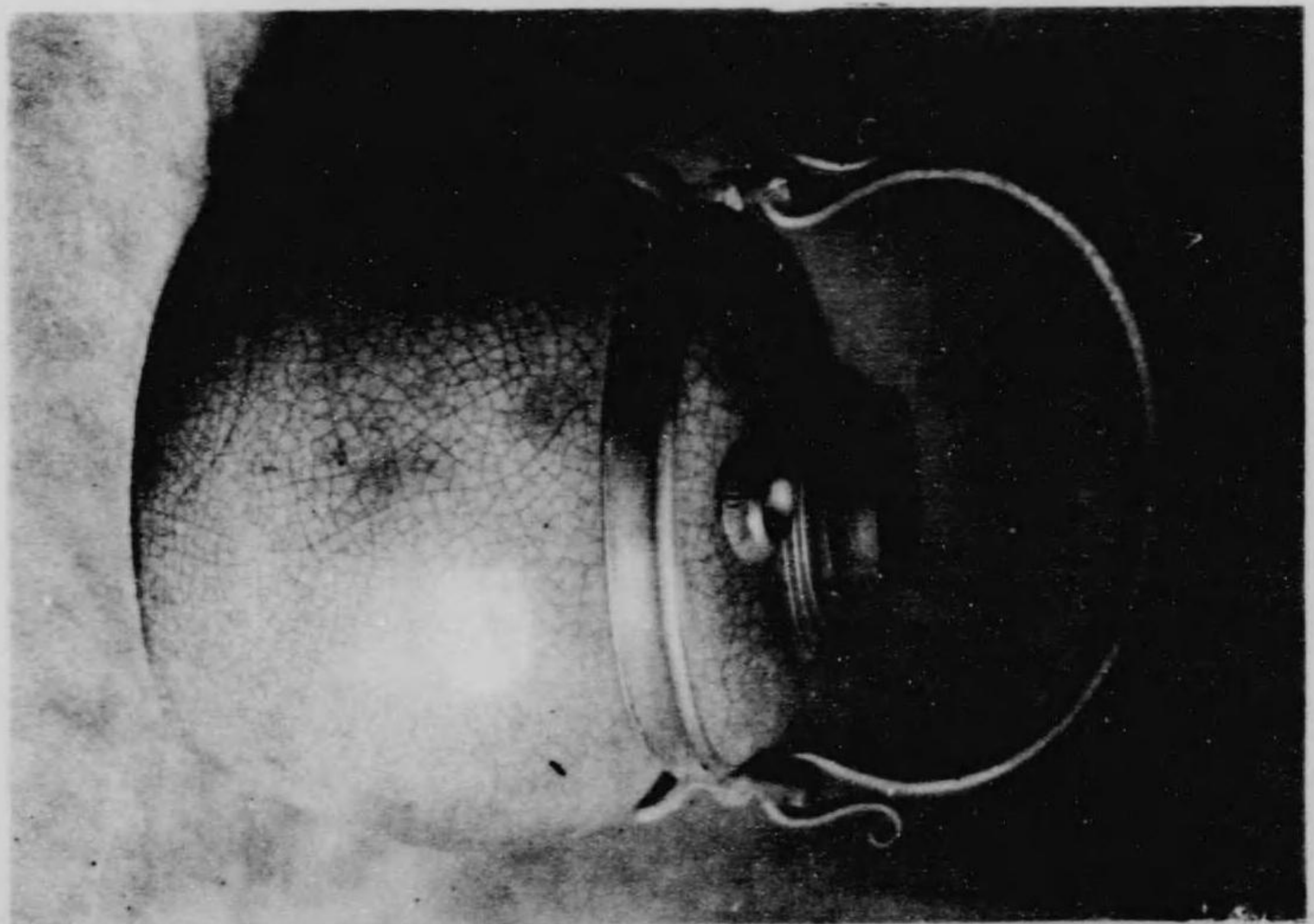






安

南



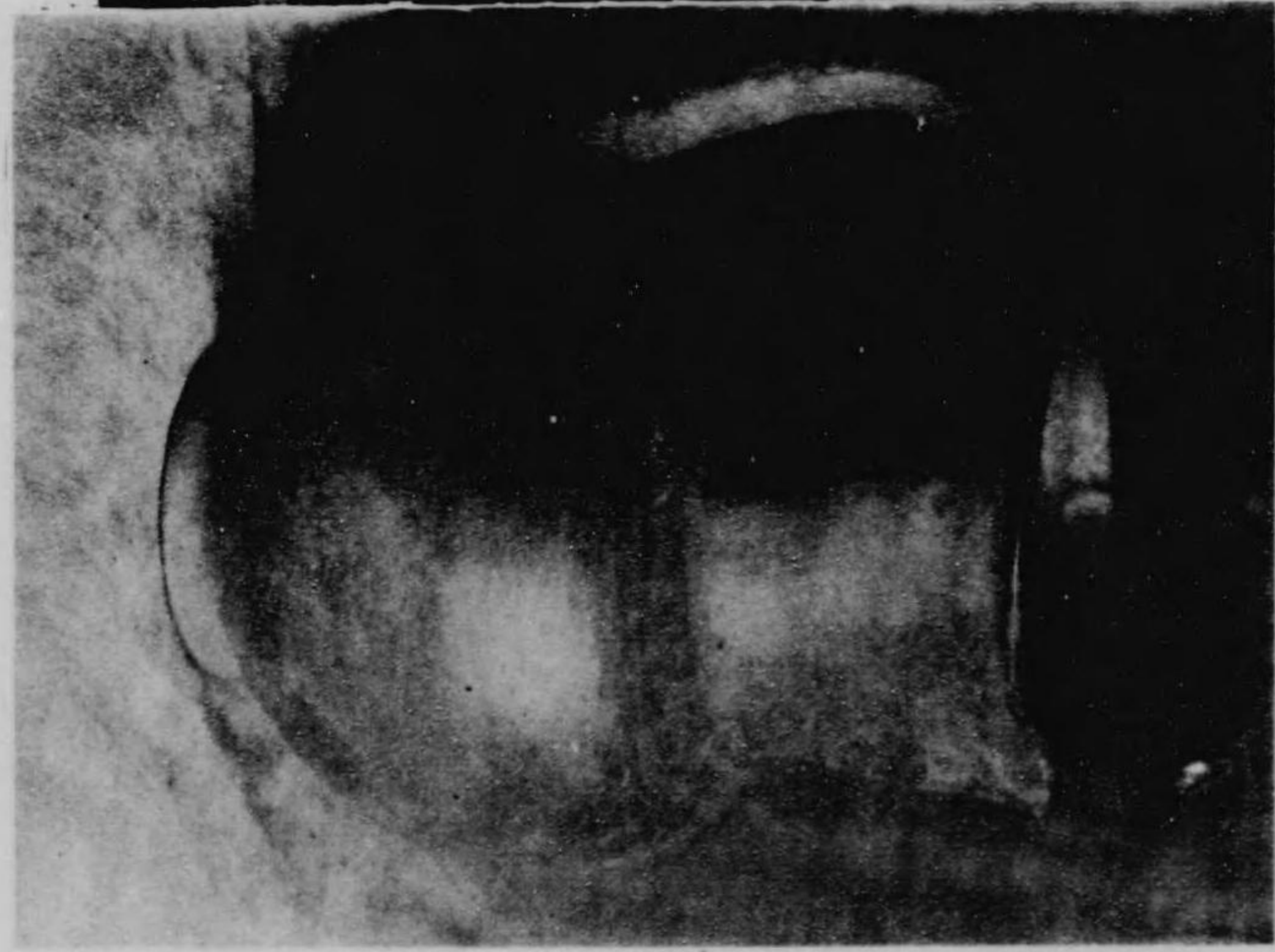
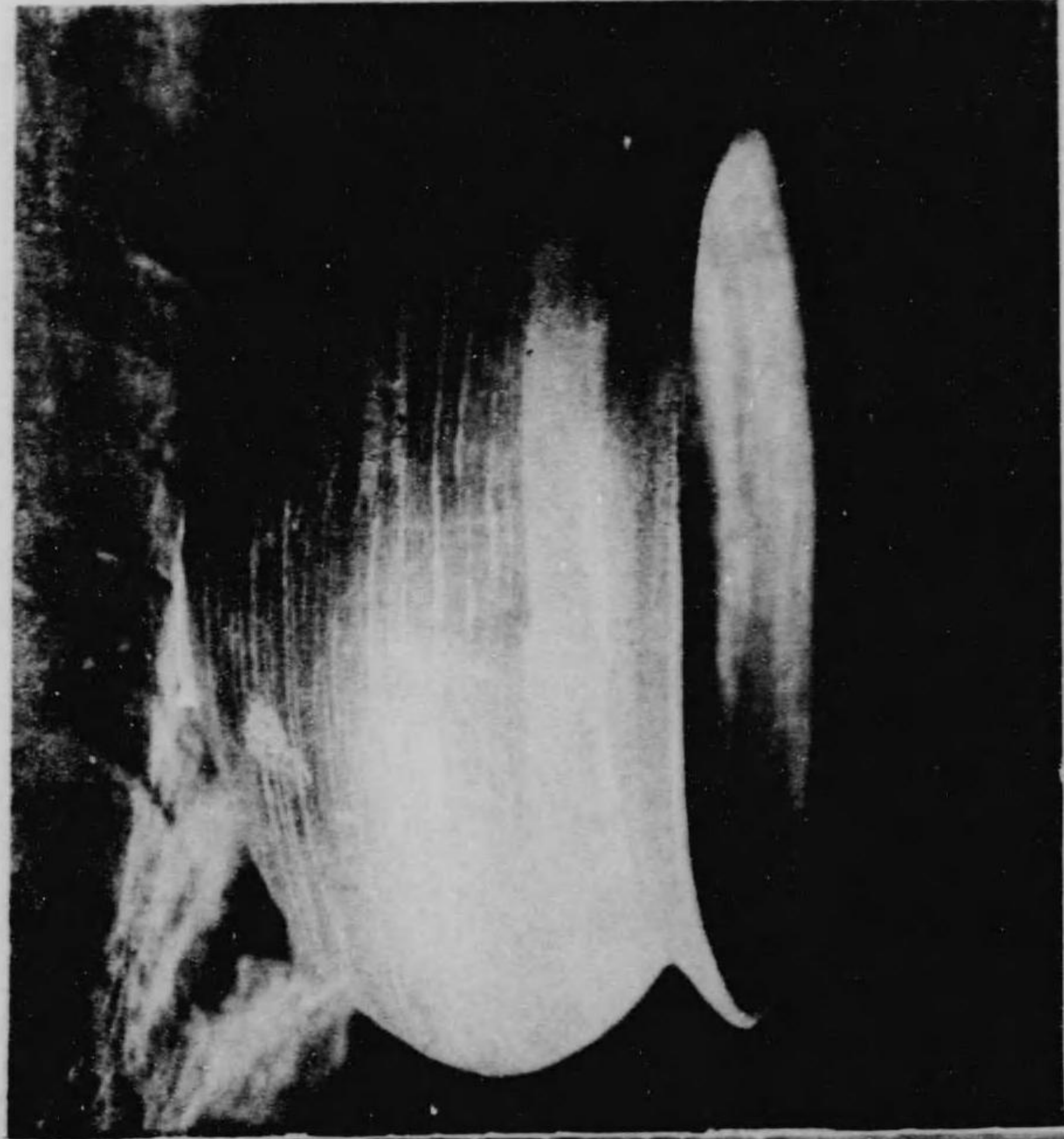
我

南

麻

尼

羅

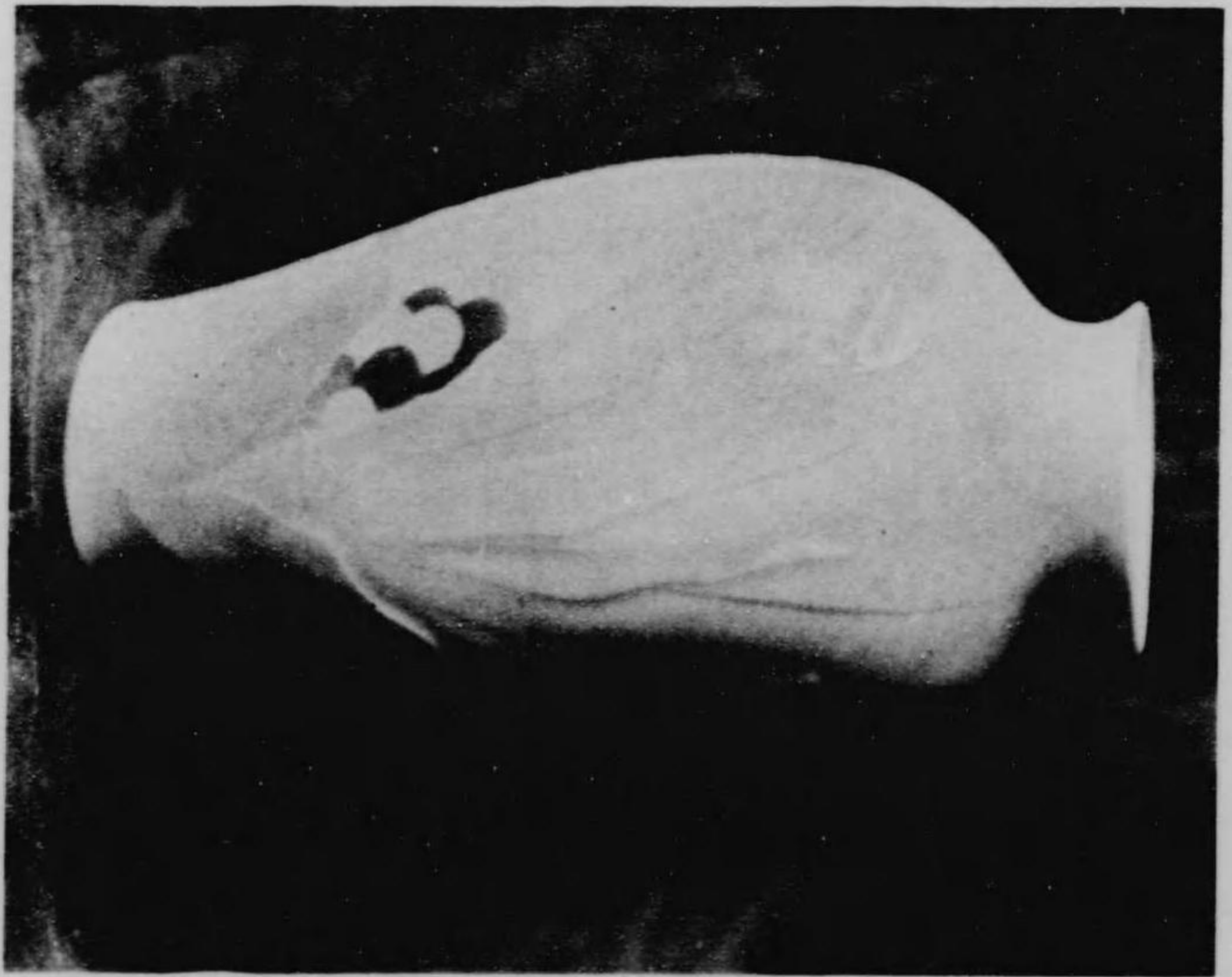
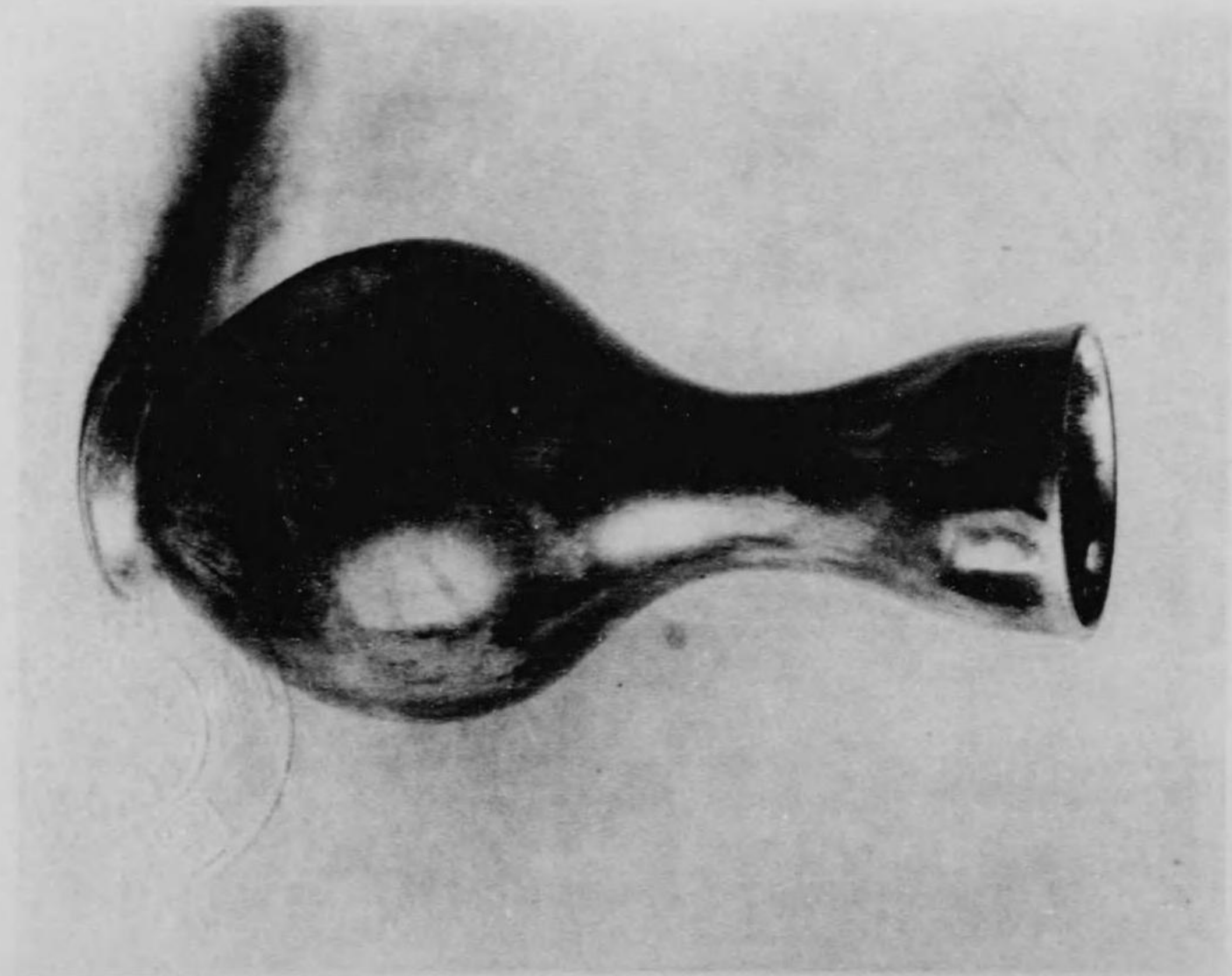


福 瓜 羅

日
本
之
部

京

東



東

京

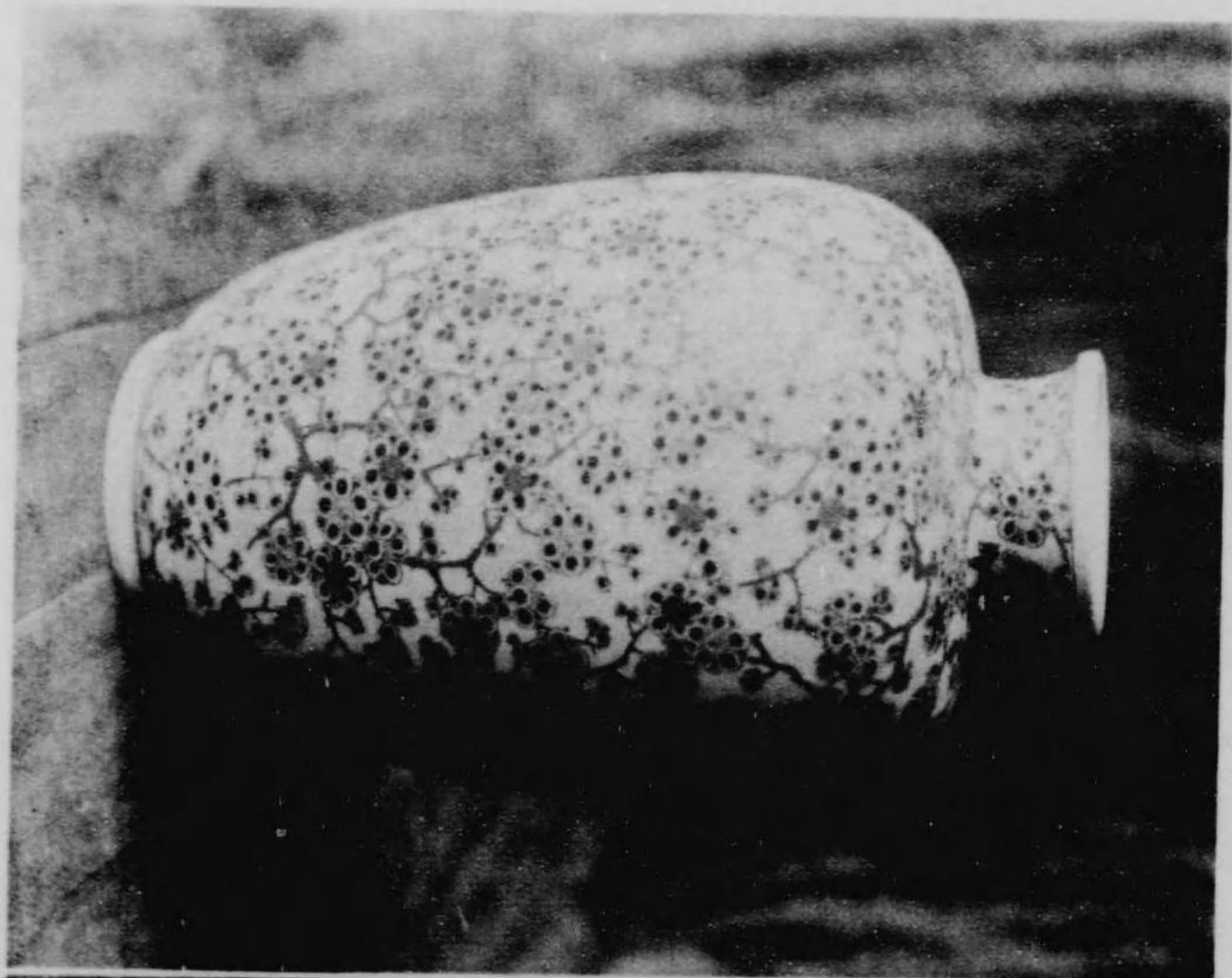
京

都



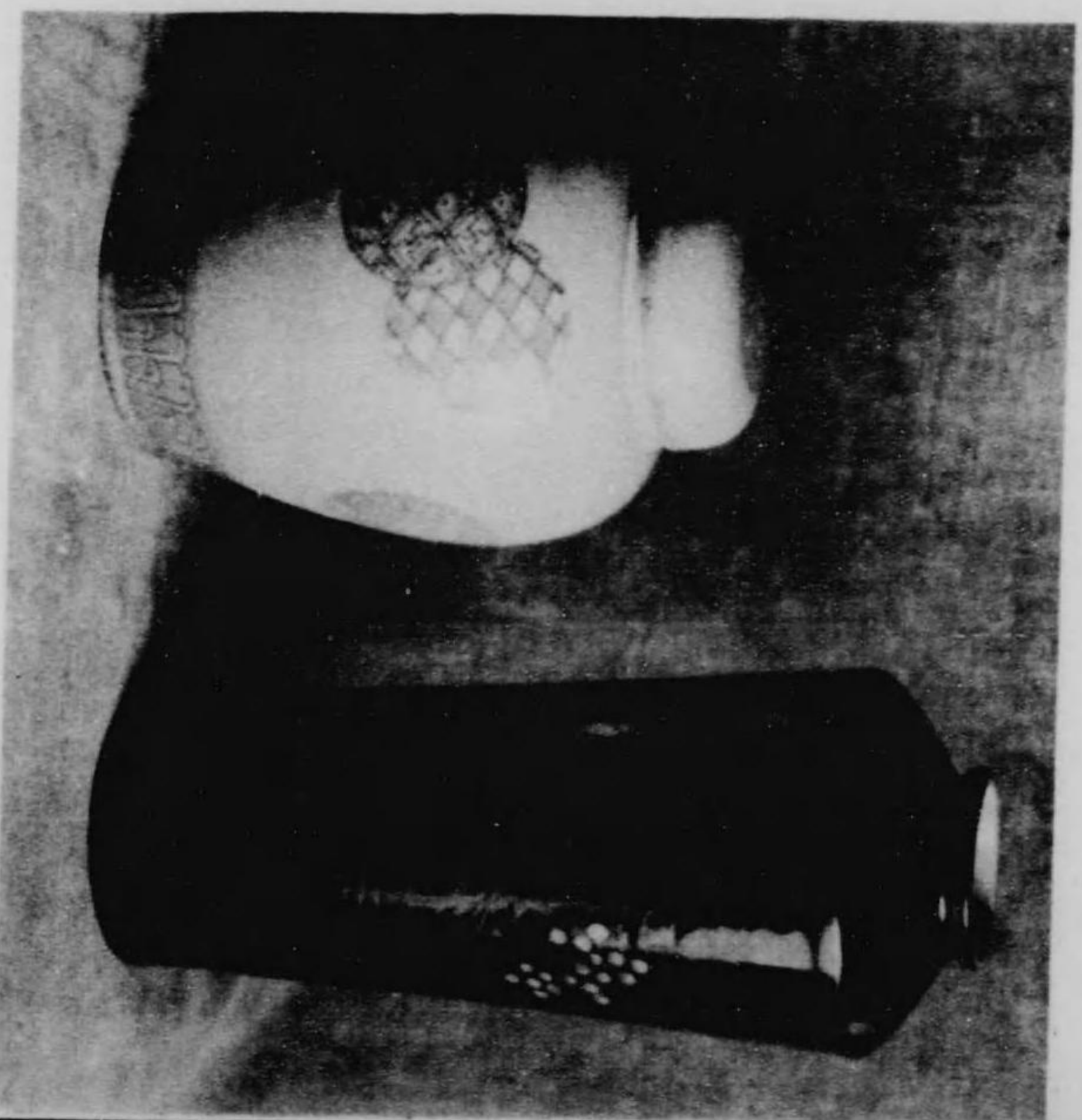
京

猪



紀

伊

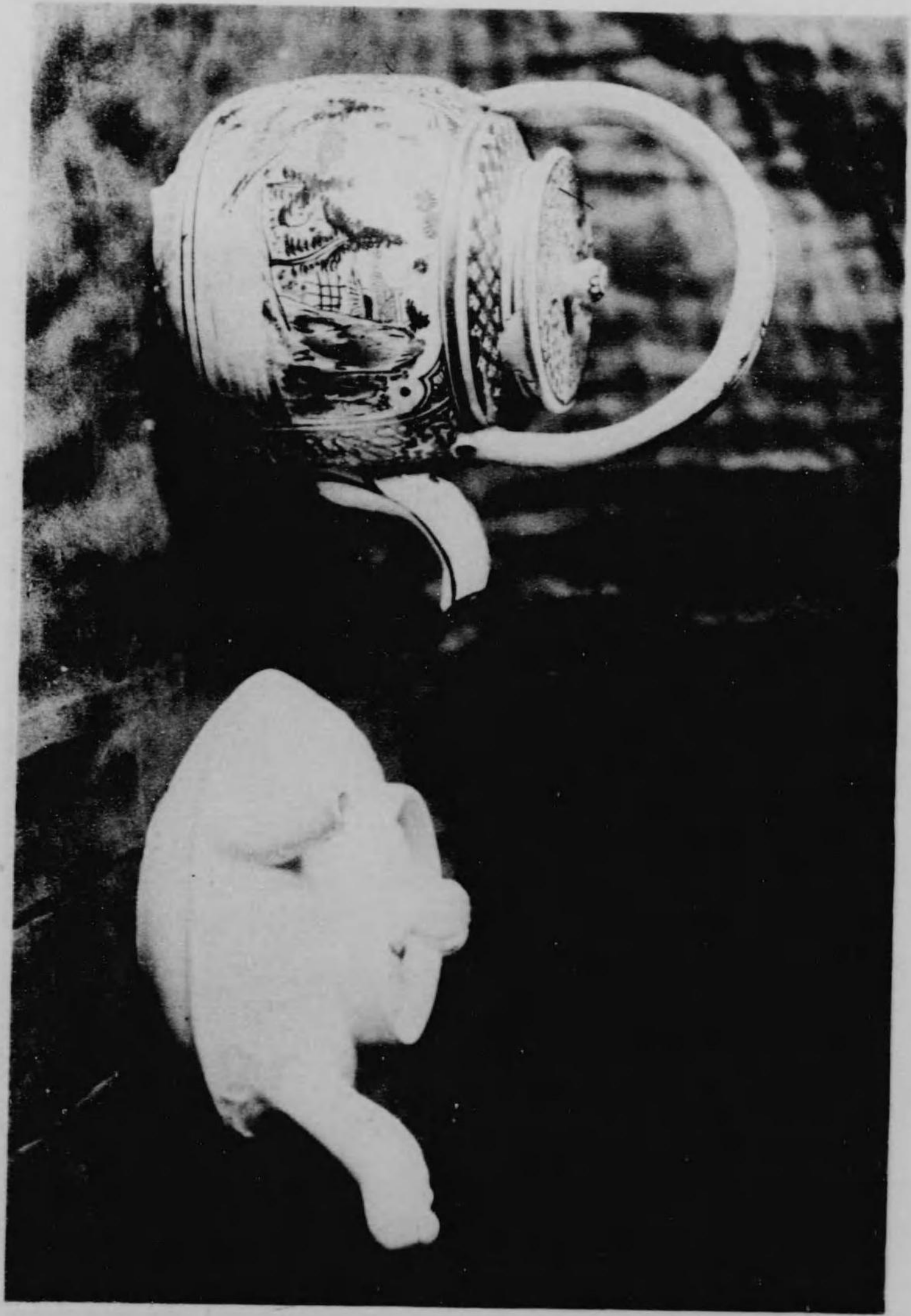


璧

母

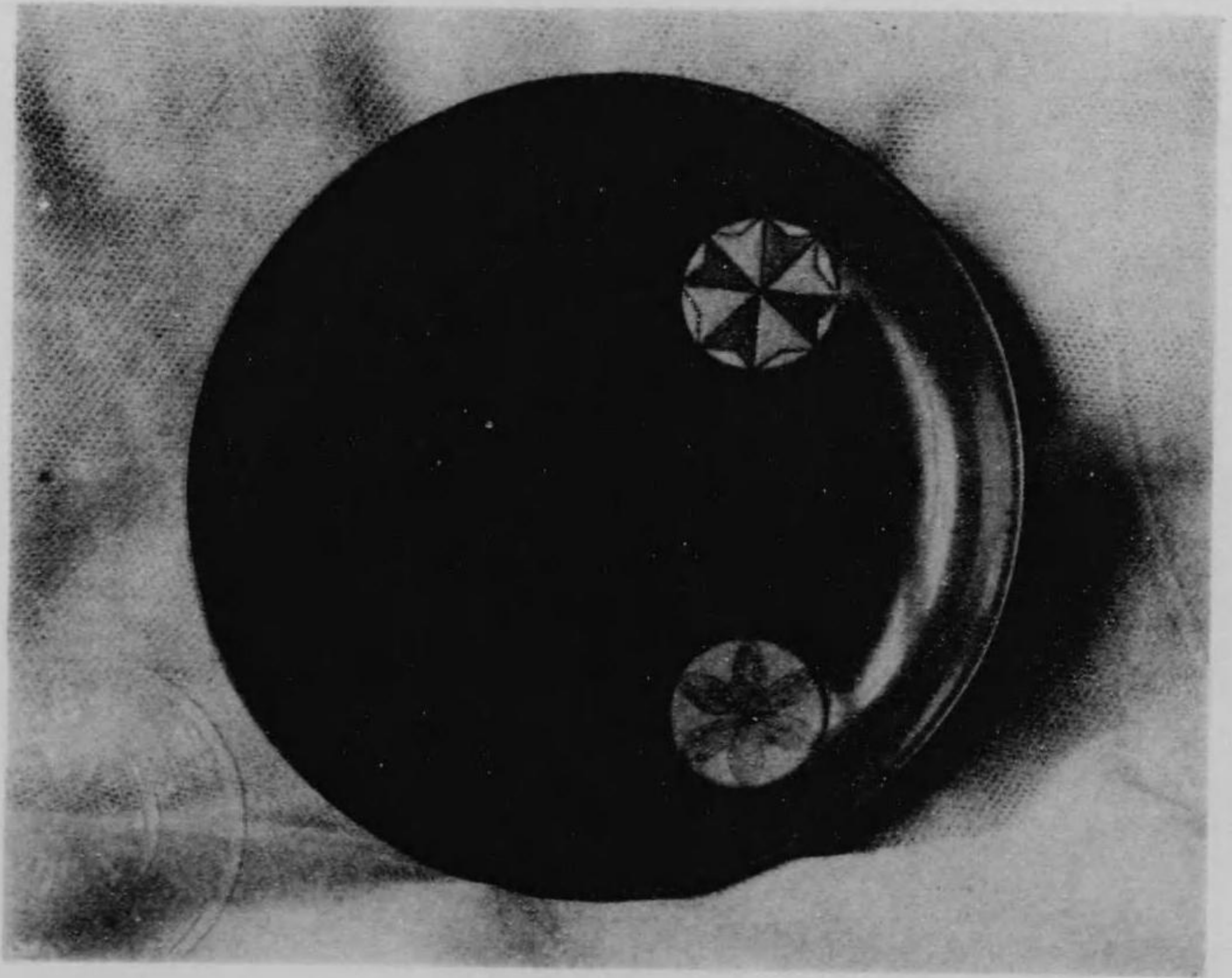
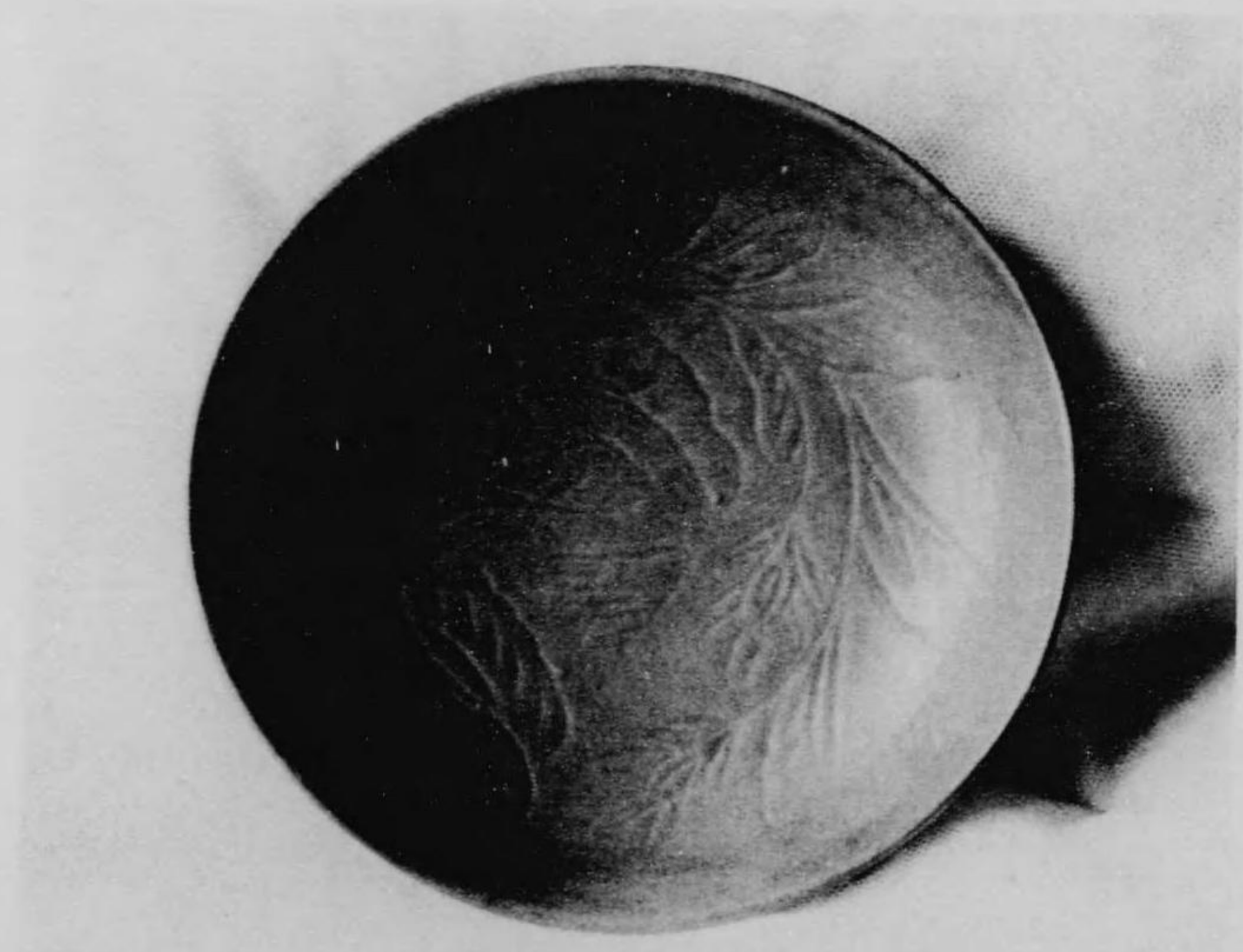
伊

勢



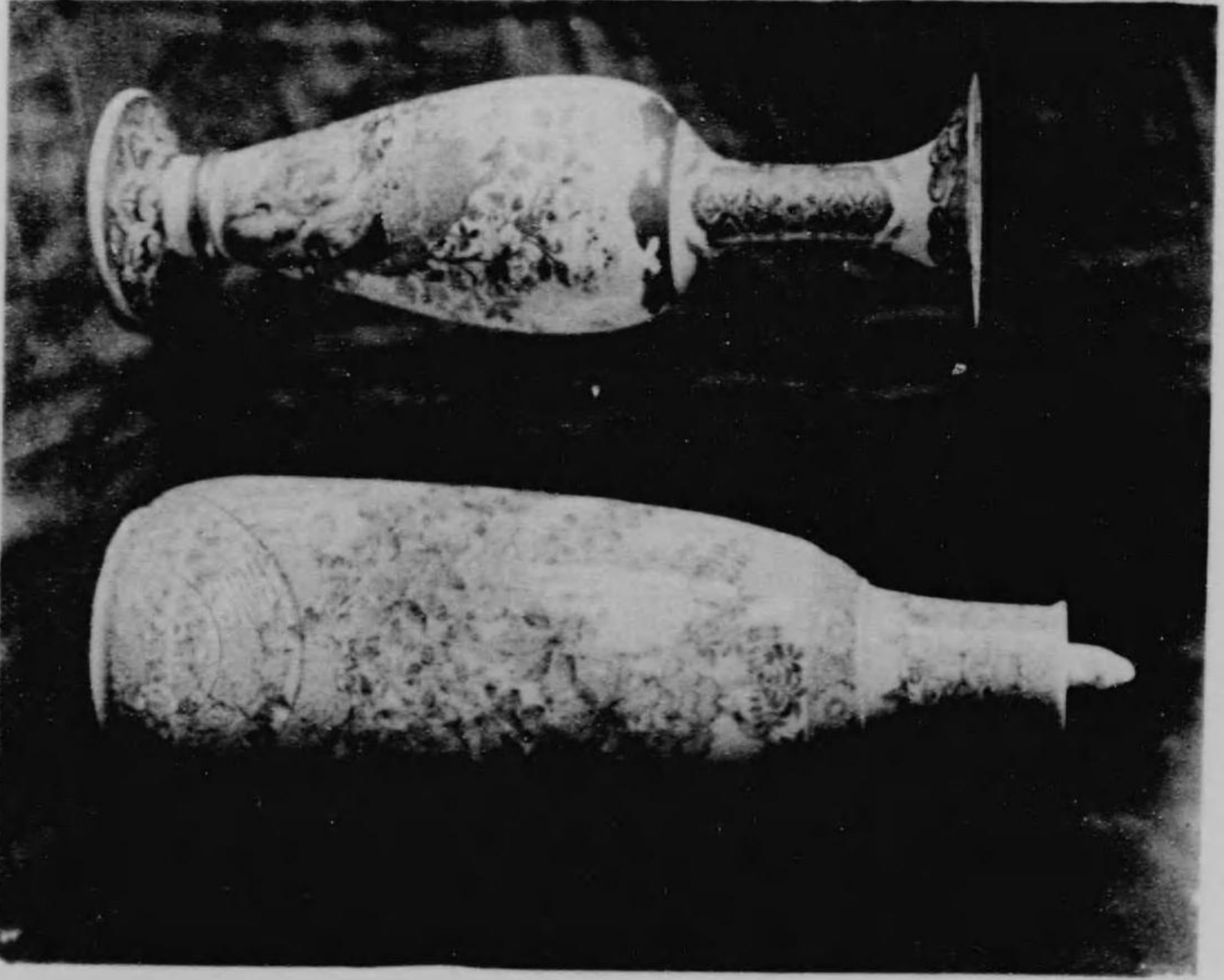
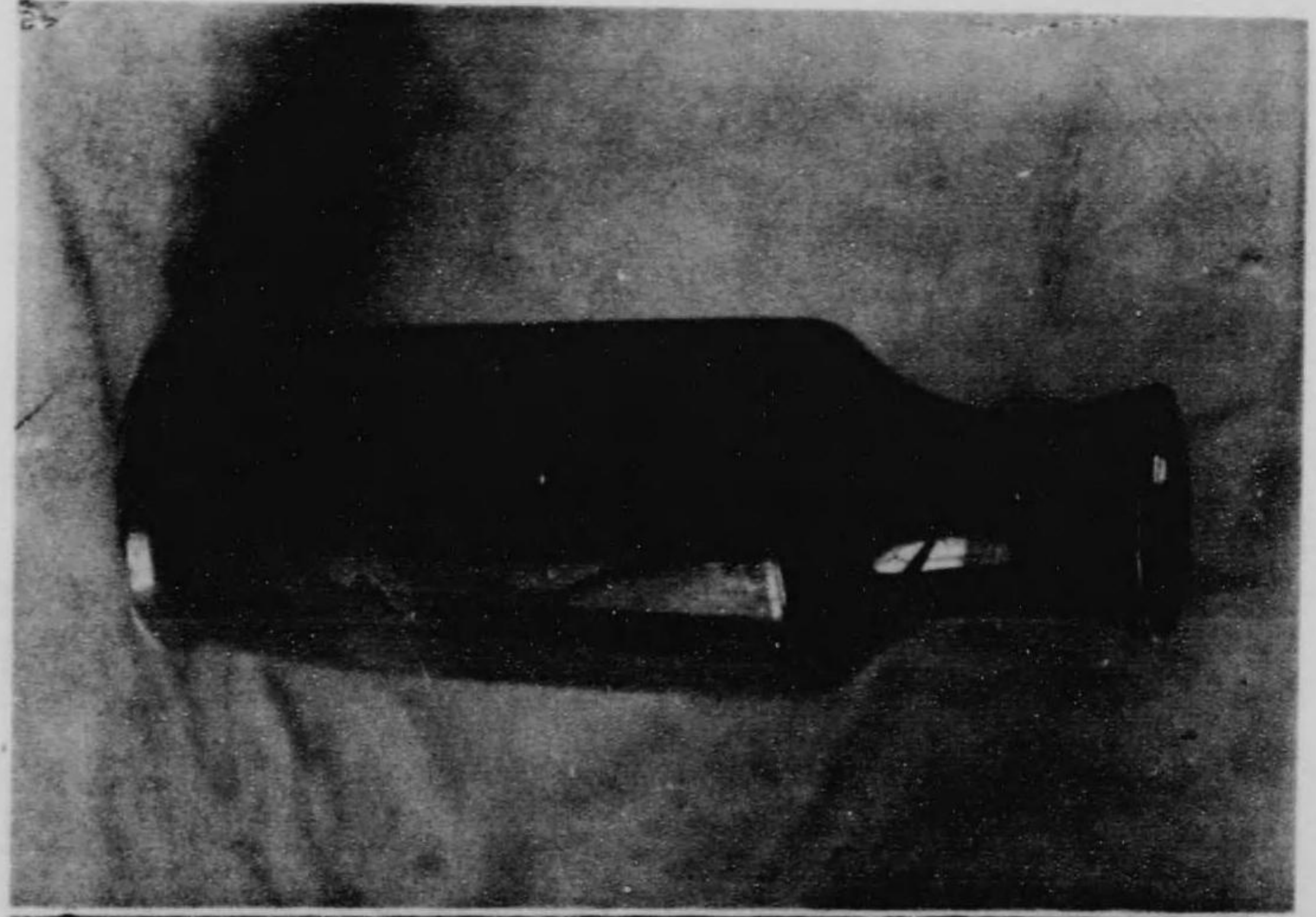
母

嬰



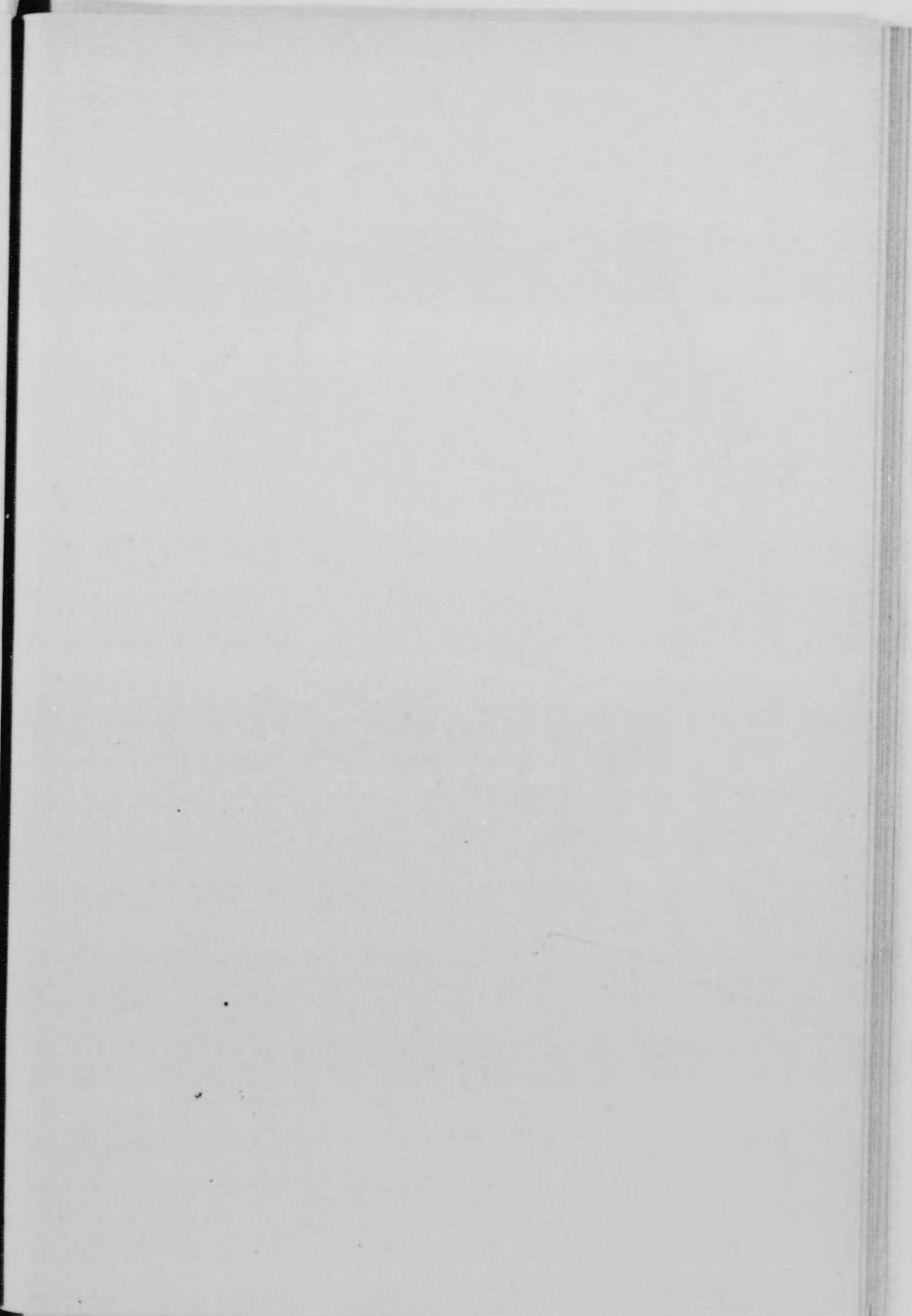
尾

張



承

葉



岐

阜



刻

卓

攝

津

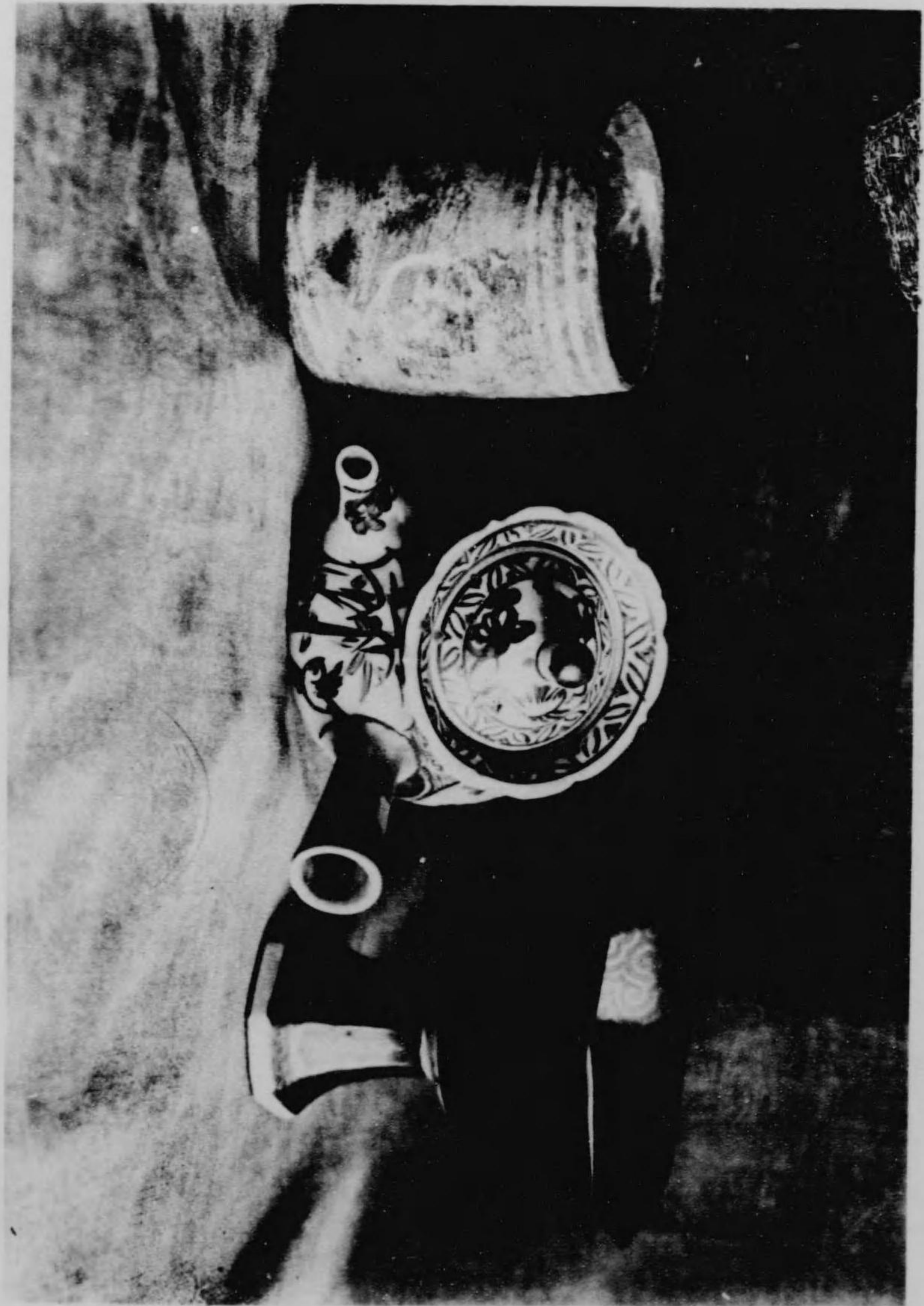


罍

罍

加

賀

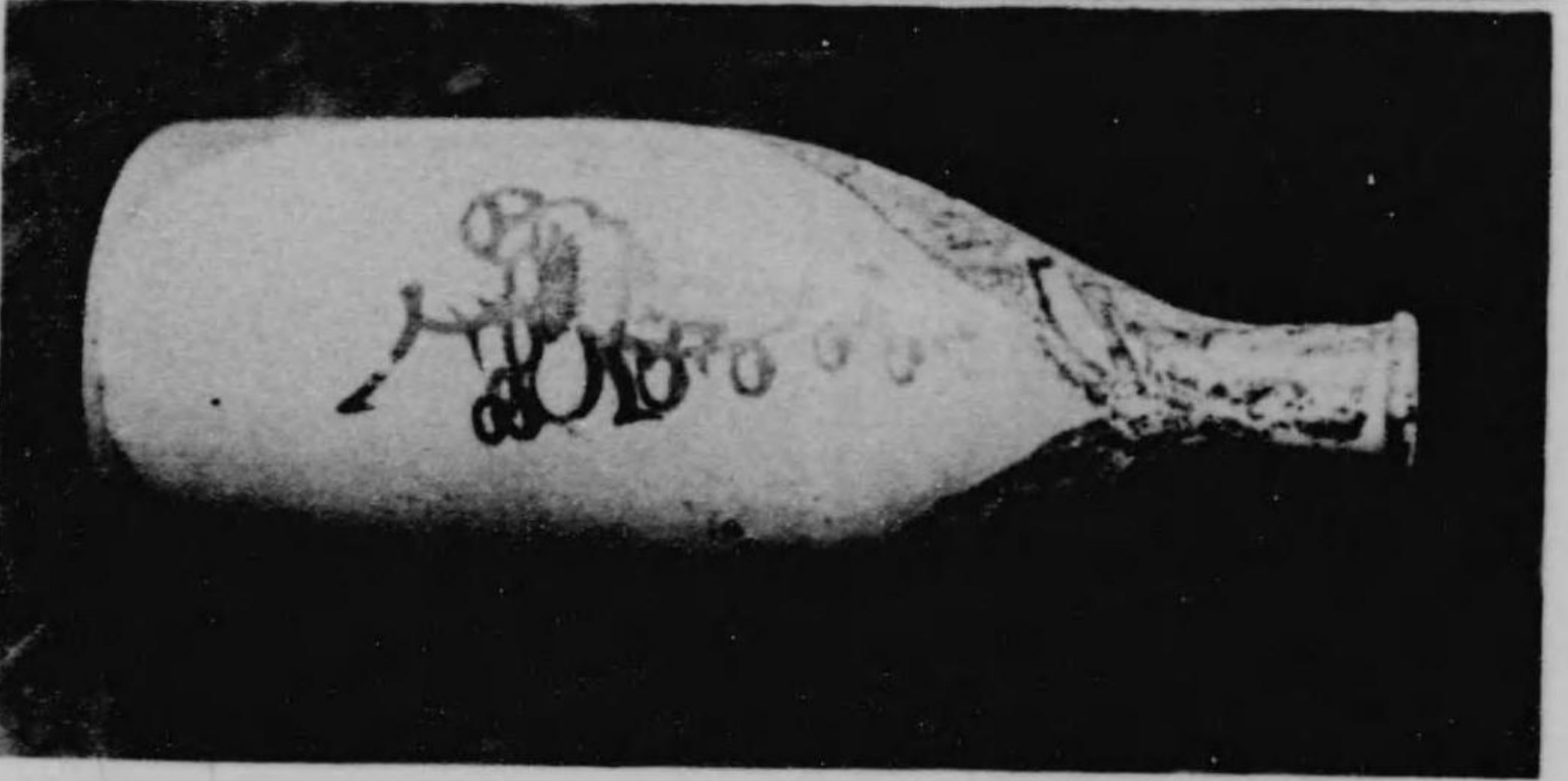
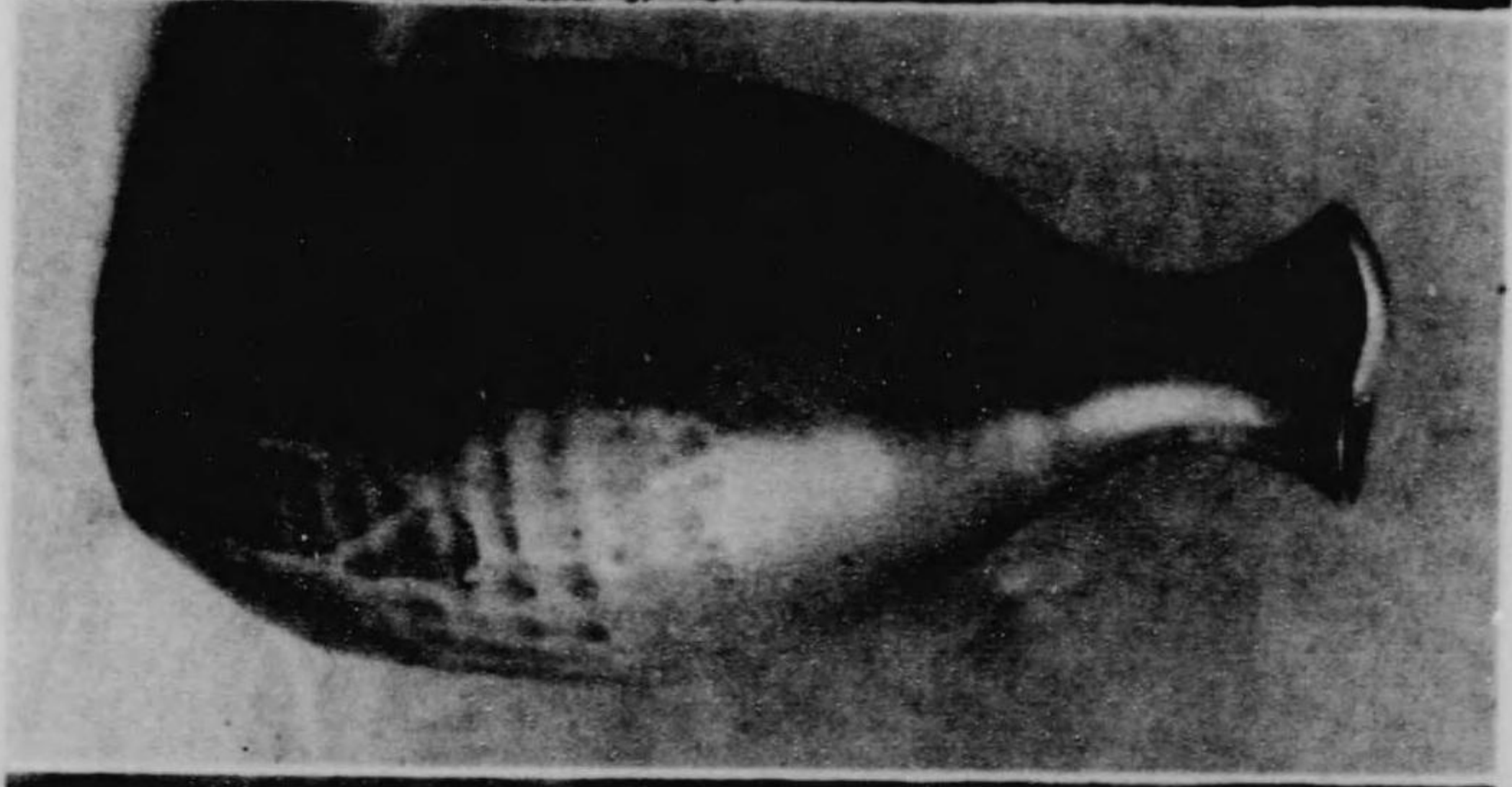


卍

質

備

前

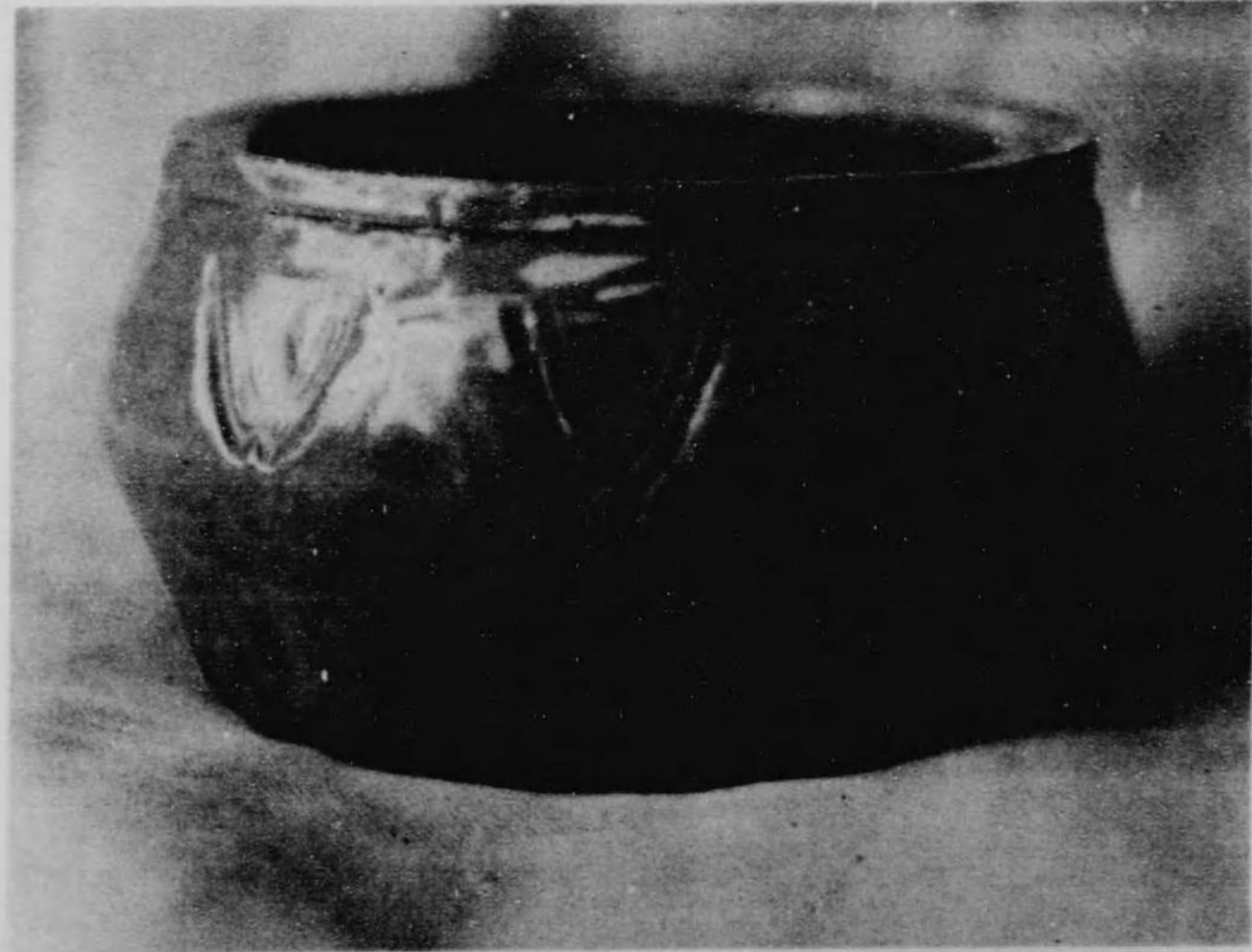


前

前

越

中

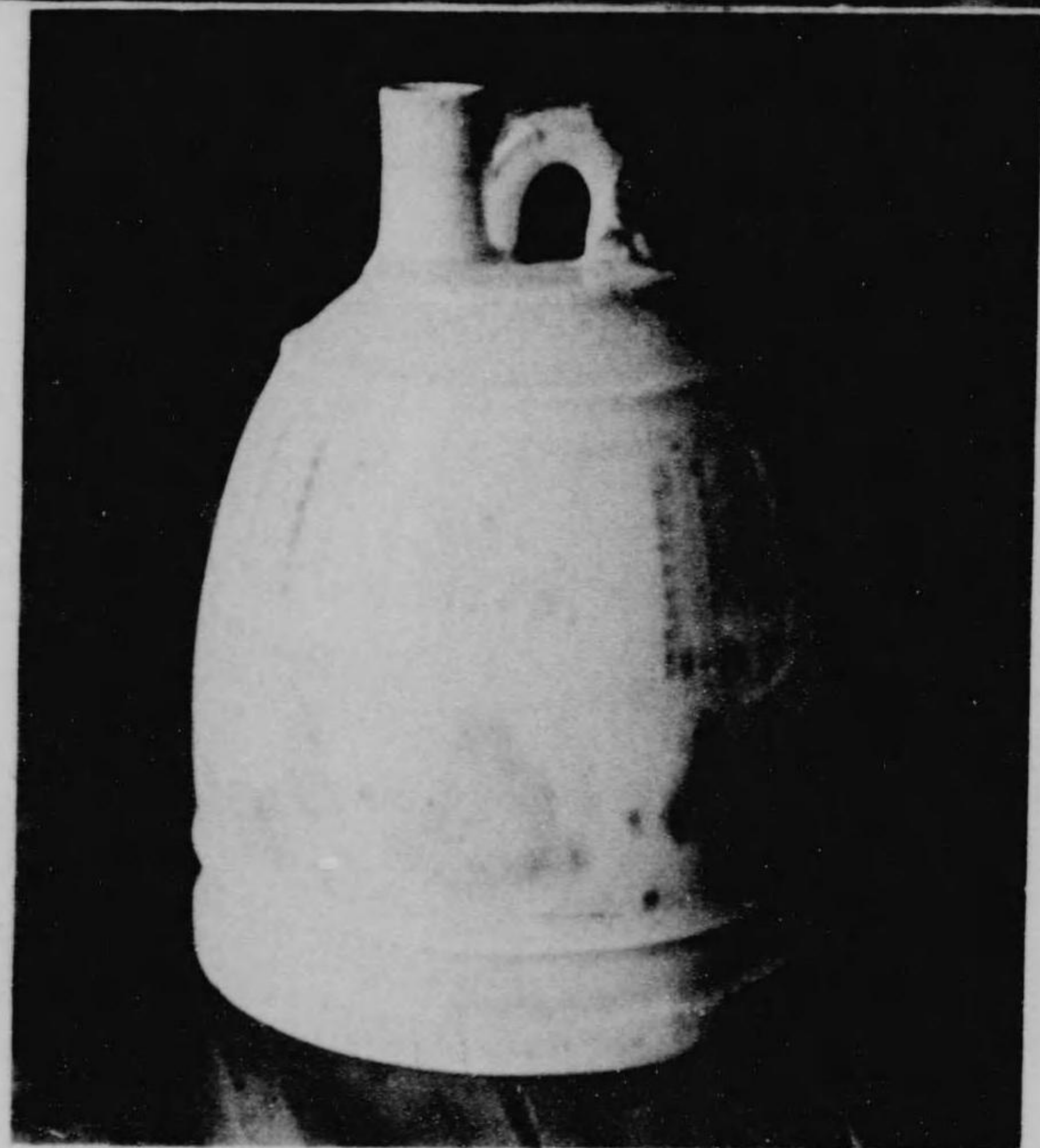
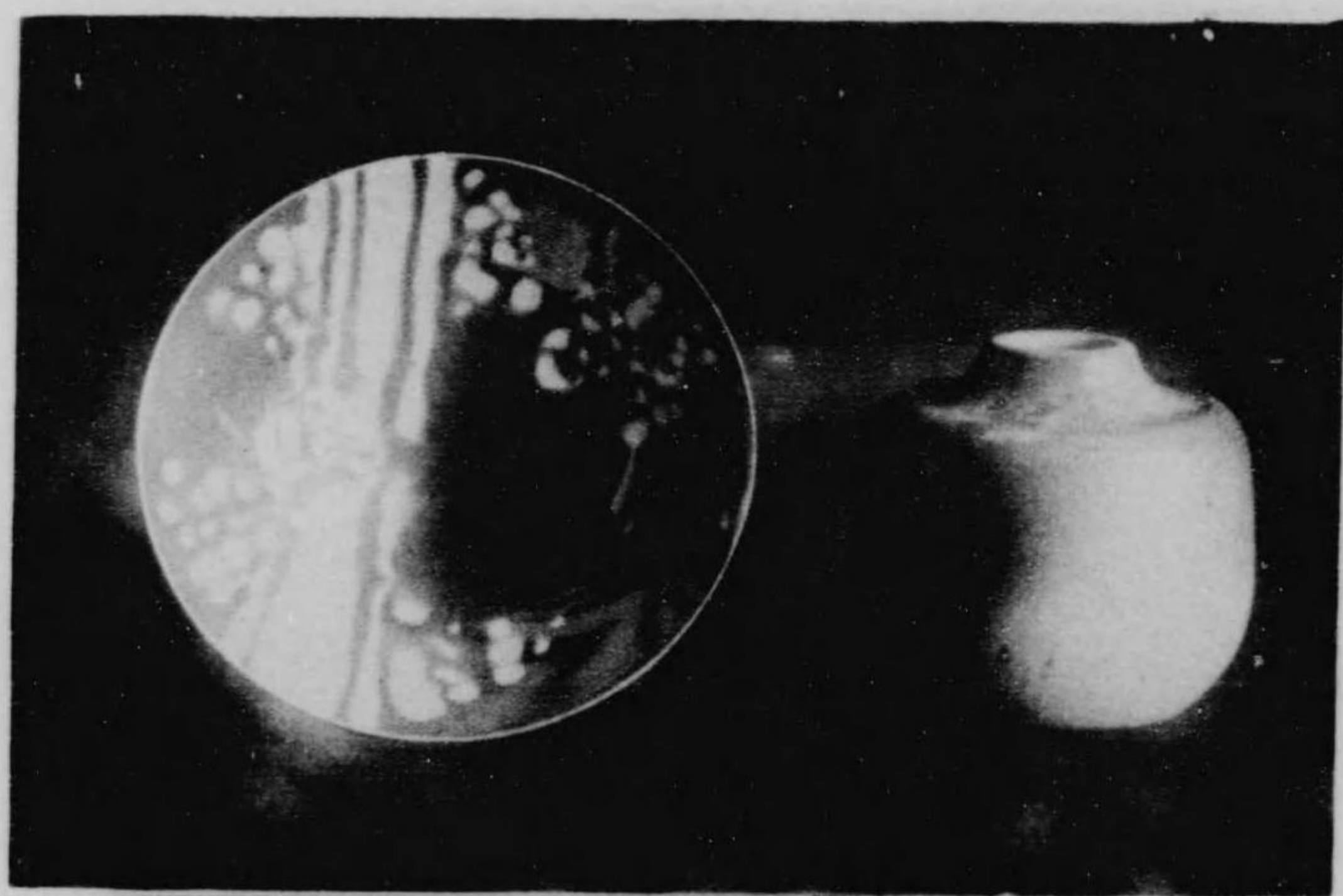


中

中

播

磨



番

番

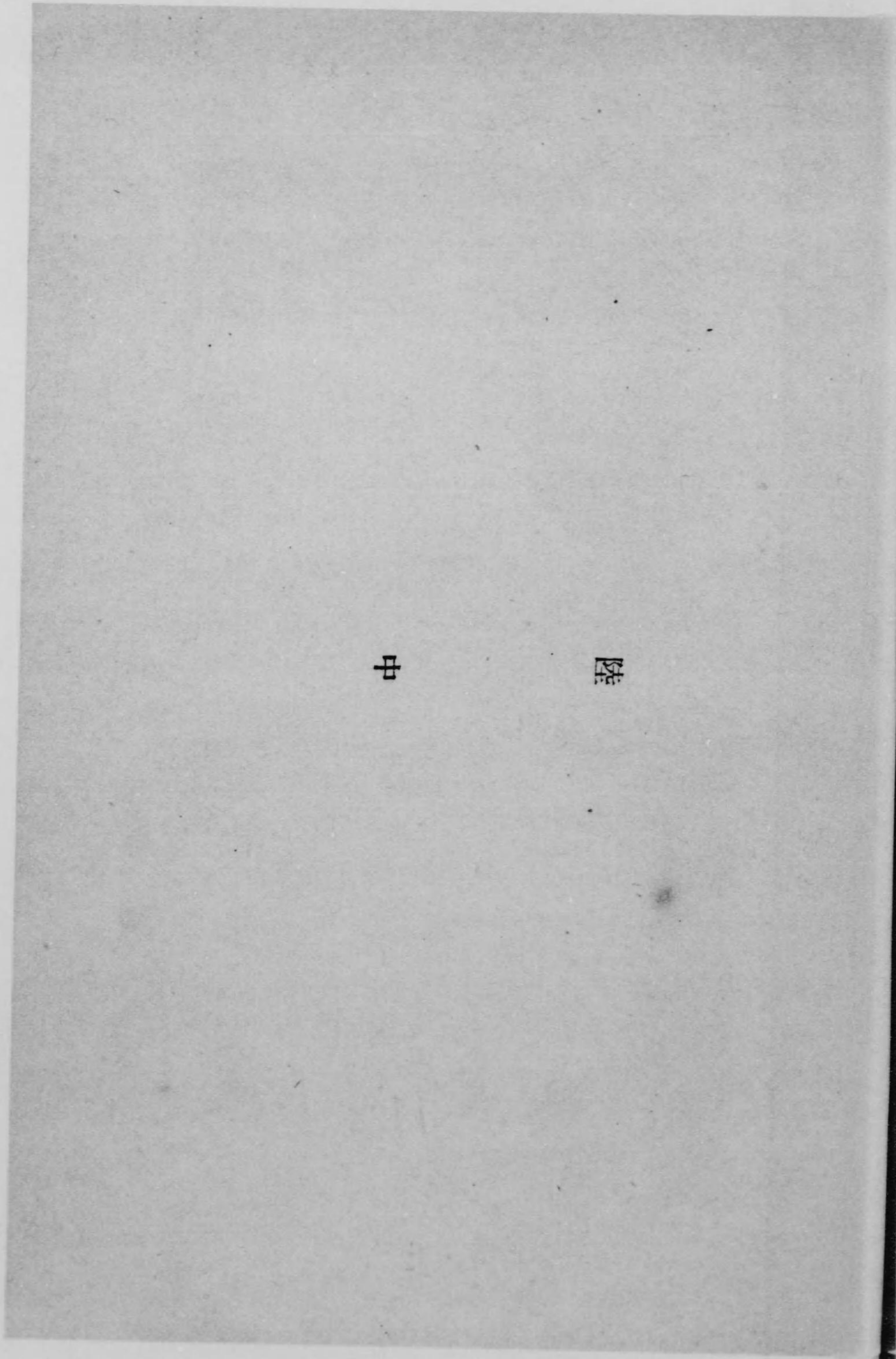
羽

前



茶

前



中

陸

